

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧 version 1.0

地域分析

## 岡山県 | 県南東部医療圏

(医療圏コード：3301)

# 目次

## 1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

## 2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

## 3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

## 4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

# 1/ 地域の概況

---

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、  
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

# 岡山県 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場合に見直しの検討が必要とされています。

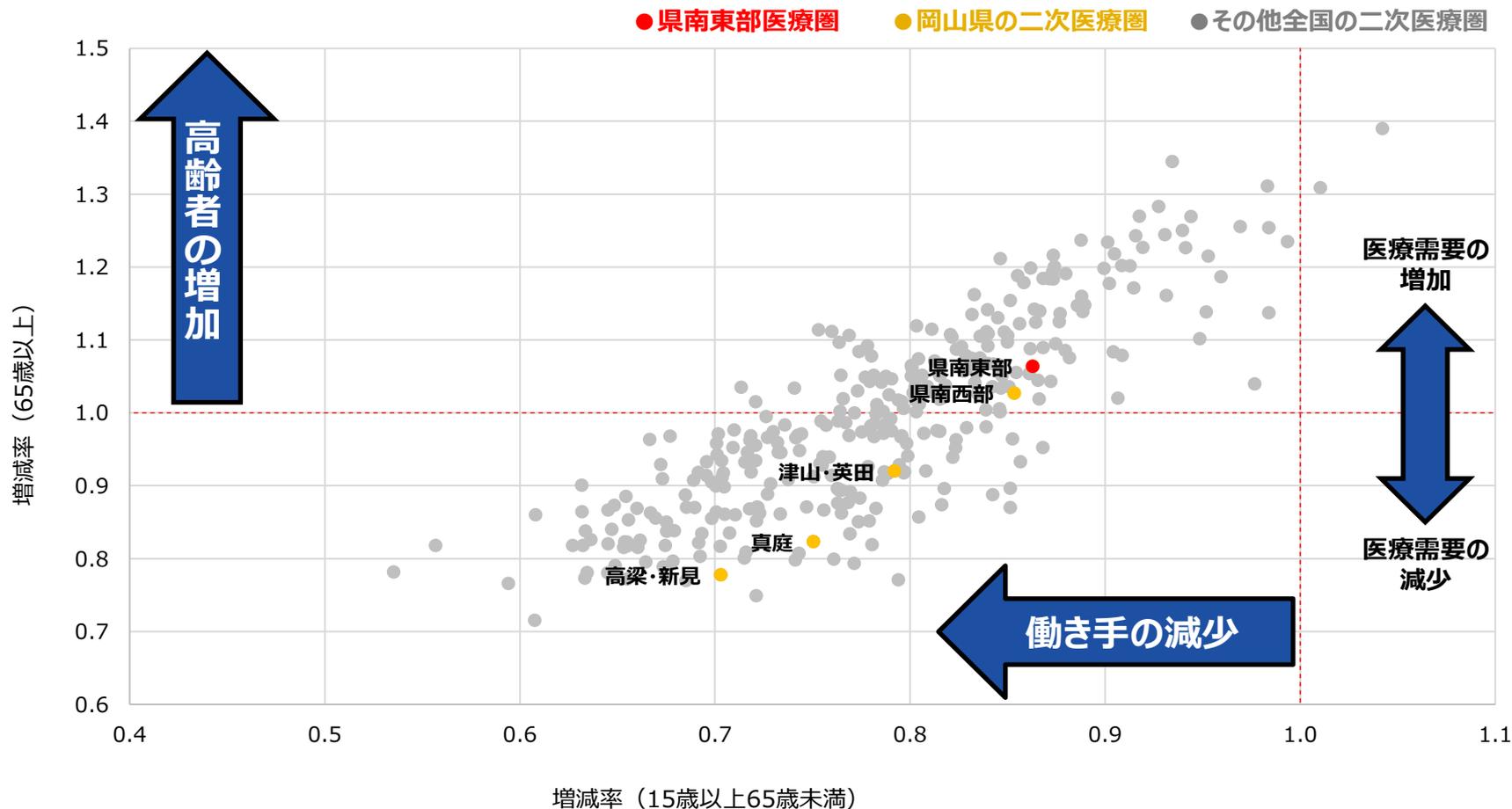
二次医療圏	人口（人）	面積（km <sup>2</sup> ）	人口密度（人/km <sup>2</sup> ）	可住地面積割合（%）
県南東部	916,760	1,899.48	482.6	41%
県南西部	697,598	1,124.24	620.5	53%
高梁・新見	57,151	1,340.28	42.6	16%
真庭	43,538	895.64	48.6	20%
津山・英田	173,385	1,847.66	93.8	25%
岡山県 計	1,888,432	7,107.30	265.7	31%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

\* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの  
出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)  
：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

# 岡山県 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。

需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。



# 県南東部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 県南東部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	岡山大学病院	岡山市北区	733	30			54	817
2	川崎医科大学総合医療センター	岡山市北区	475	18	54		100	647
3	NHO岡山医療センター	岡山市北区	356	253				609
4	岡山赤十字病院	岡山市北区	304	196				500
5	岡山済生会総合病院	岡山市北区	26	447				473
6	旭川荘療育・医療センター	岡山市北区				422		422
7	岡山市立市民病院	岡山市北区	14	373				387
8	岡山労災病院	岡山市南区		358				358
9	岡山協立病院	岡山市中区	8	156	96	58		318
10	心臓病センター榊原病院	岡山市北区	43	203	51			297
11	国立療養所 邑久光明園	瀬戸内市				247		247
12	赤磐医師会病院	赤磐市		103	98	44		245
13	岡山中央病院	岡山市北区	6	153	70	14		243
14	岡山旭東病院	岡山市中区	12	202				214
15	玉野市民病院	玉野市		60	60	54	25	199
16	光生病院	岡山市北区		106	44	48		198
17	重井医学研究所附属病院	岡山市南区		38	78	82		198
18	岡山博愛会病院	岡山市中区			171			171
19	国立療養所 長島愛生園	瀬戸内市				157		157
20	岡村一心堂病院	岡山市東区		34	49	69		152
21	吉備高原医療リハビリテーションセンター	吉備中央町			101		49	150
22	岡山西大寺病院	岡山市東区		145				145
23	岡山リハビリテーション病院	岡山市中区			129			129
24	岡山東中央病院	岡山市中区				128		128
25	長島病院	岡山市東区				128		128
26	岡山西大寺病院附属中野分院	岡山市東区				116		116
27	瀬戸内記念病院	瀬戸内市				114		114
28	竜操整形外科病院	岡山市中区		44	67			111
29	宮本整形外科病院	岡山市中区		60		50		110
30	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	瀬戸内市		50	60			110

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	玉野三井病院	玉野市		60		50		110
32	川崎医科大学高齢者医療センター	岡山市北区			102			102
33	藤田病院	岡山市東区		55	44			99
34	佐藤病院	岡山市南区			51	42		93
35	備前市国民健康保険市立日生病院	備前市		40		52		92
36	備前市国民健康保険市立備前病院	備前市		46	44			90
37	草加病院	備前市		48		36		84
38	岡山赤十字玉野病院	玉野市			41	42		83
39	岡山県健康づくり財団附属病院	岡山市北区		40		40		80
40	岡山済生会外来センター病院	岡山市北区			80			80
41	北川病院	和気町		39	37			76
42	済生会 吉備病院	岡山市北区			75			75
43	岡山水清会病院	岡山市北区			62			62
44	平病院	和気町			33	29		62
45	淳風会ロングライフホスピタル	岡山市北区				60		60
46	岡山第一病院	岡山市中区				60		60
47	セントラルシティ病院	岡山市南区			60			60
48	岡山市立せのお病院	岡山市南区			60			60
49	吉備高原ルミエール病院	吉備中央町				58		58
50	洋友会 中島病院	岡山市南区				56		56
51	国民健康保険福渡病院	岡山市北区			52			52
52	おおもと病院	岡山市北区		51				51
53	同仁病院	岡山市北区				50		50
54	岡山療護センター	岡山市北区			50			50
55	備前市国民健康保険市立吉永病院	備前市		50				50
56	中谷外科病院	玉野市		45				45
57	岡山光南病院	岡山市南区			44			44
58	林病院	岡山市東区				44		44
59	大西病院	玉野市			44			44
60	由良病院	玉野市		42				42

# 県南東部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
61	玉野中央病院	玉野市				42		42
62	岡山記念病院	岡山市北区			40			40
63	岡山東部脳神経外科病院	岡山市北区		38				38
64	ペリネイト母と子の病院	岡山市中区		37				37
65	幸町記念病院	岡山市北区			35			35
66	岡山市立金川病院	岡山市北区			30			30
67	丹羽病院	岡山市東区		29				29
68	産科婦人科 浮田病院	岡山市東区		20				20
69	喜多村病院	岡山市北区				20		20
70	山陽病院	岡山市中区					15	15
	総計		1,977	3,669	2,112	2,412	243	10,413

# 県南東部医療圏 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	岡山大学病院	853	大学		高度	地域	地域	都道府県拠点	PSC	
2	川崎医科大学総合医療センター	647	標準	○		地域		地域拠点	PSC	
3	河田病院	640								
4	NHO岡山医療センター	609	特定	○		地域	総合	地域拠点	PSC	
5	慈圭病院	570								
6	万成病院	500								
7	岡山赤十字病院	500	特定	○	○	基幹	地域	地域拠点	PSC	
8	岡山済生会総合病院	473	標準	○		地域		地域拠点		
9	旭川荘療育・医療センター	422								
10	岡山市立市民病院	400	標準	○		地域			PSCコア	在後病
11	岡山労災病院	358	標準	○					PSC	
12	岡山協立病院	318	標準							在後病
13	心臓病センター神原病院	297	標準	○						在後病
14	林道倫精神科神経科病院	278								
15	岡山県精神科医療センター	255								
16	国立療養所 邑久光明園	247								
17	赤磐医師会病院	245		○						在後病
18	岡山中央病院	243	標準	○					PSC	
19	瀬戸内記念病院	234								
20	山陽病院	219								
21	岡山旭東病院	214	標準	○					PSC	在後病
22	光生病院	198	標準							支援病 1
23	重井医学研究所附属病院	198								支援病 3
24	たまの病院	190								
25	岡山ひだまりの里病院	180								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 県南東部医療圏 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	由良病院	177								支援病3
27	岡山博愛会病院	171								支援病3
28	国立療養所 長島愛生園	157								
29	岡村一心堂病院	152	標準							支援病3
30	吉備高原医療リハビリテーションセンター	150								
31	岡山西大寺病院	145	標準			地域				
32	岡山里ハビリテーション病院	129								
33	岡山東中央病院	128								支援病2
34	長島病院	128								支援病3
35	岡山県健康づくり財団附属病院	126								支援病3
36	岡山西大寺病院附属中野分院	116								
37	竜操整形外科病院	111	標準							
38	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	110								
39	宮本整形外科病院	110								支援病3
40	川崎医科大学高齢者医療センター	102								
41	藤田病院	99								支援病3
42	佐藤病院	93								支援病1
43	玉野中央病院	93								
44	備前市国民健康保険市立日生病院	92								支援病3
45	備前市国民健康保険市立備前病院	90								
46	平病院	89								支援病3
47	草加病院	84								
48	岡山赤十字玉野病院	83								支援病3
49	岡山済生会外来センター病院	80								支援病3
50	北川病院	76								支援病3

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 県南東部医療圏 | 医療機関の指定状況③

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
51	済生会 吉備病院	75								支援病 3
52	岡山水清会病院	62								支援病 3
53	岡山市立せのお病院	60								支援病 3
54	淳風会ロングライフホスピタル	60								
55	岡山第一病院	60								
56	セントラルシティ病院	60								支援病 3
57	吉備高原ルミエール病院	58								
58	洋友会 中島病院	56								
59	国民健康保険福渡病院	52								
60	おおもと病院	51								
61	岡山療護センター	50								
62	備前市国民健康保険市立吉永病院	50								支援病 3
63	同仁病院	50								支援病 1
64	中谷外科病院	45								支援病 3
65	大西病院	44								支援病 3
66	林病院	44								
67	岡山光南病院	44								支援病 2
68	岡山記念病院	40								
69	岡山東部脳神経外科病院	38							PSC	
70	ペリネイト母と子の病院	37								
71	幸町記念病院	35								
72	岡山市立金川病院	30								支援病 2
73	丹羽病院	29								
74	喜多村病院	20								
75	産科婦人科 浮田病院	20								

出典：  
「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）  
「厚生労働省 令和7年告示第166号」  
「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）  
「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）  
「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）  
「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）  
「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）  
「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）  
「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

## 2/ 医療提供体制の概況

---

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

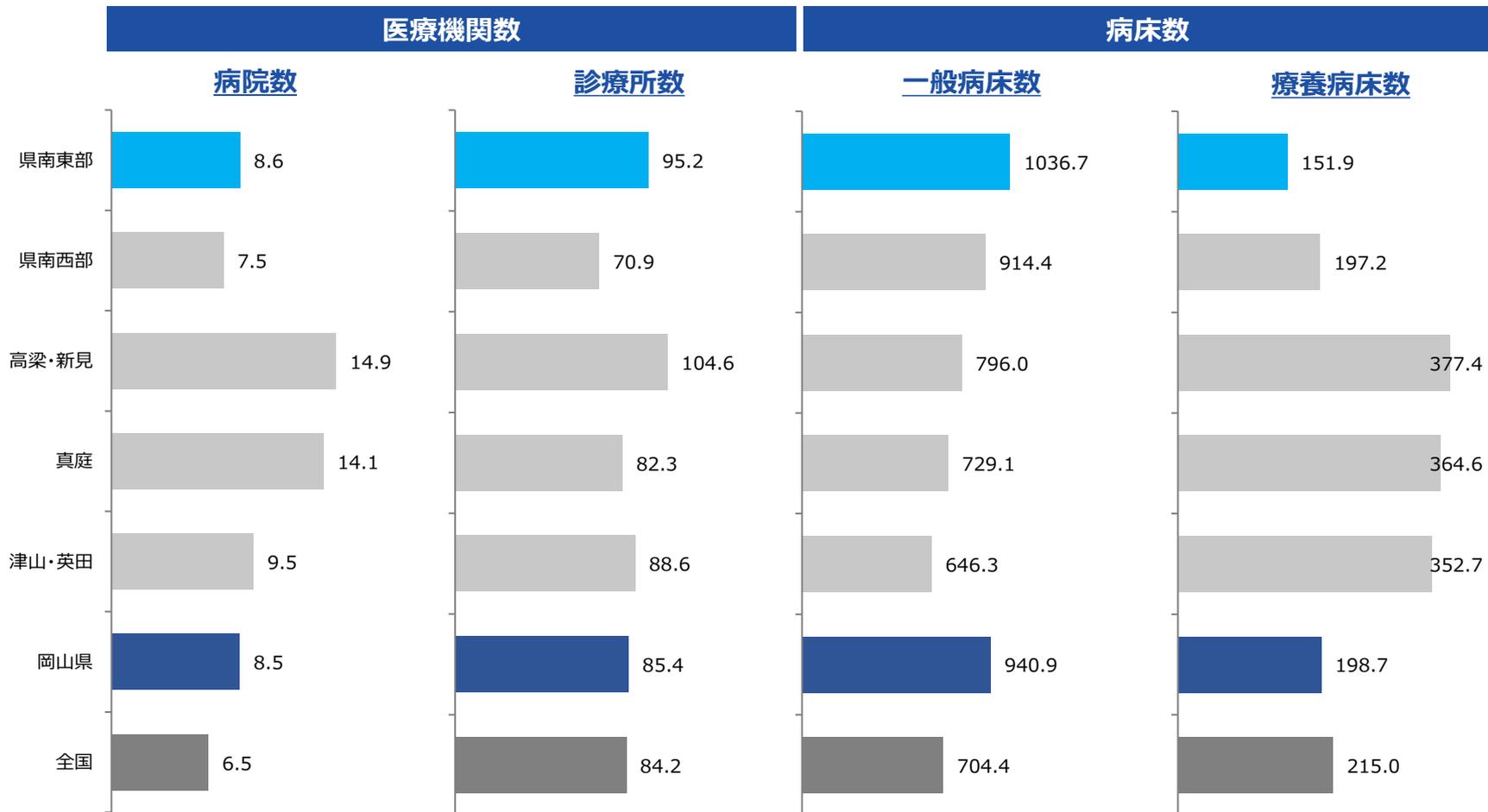
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

# 岡山県 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

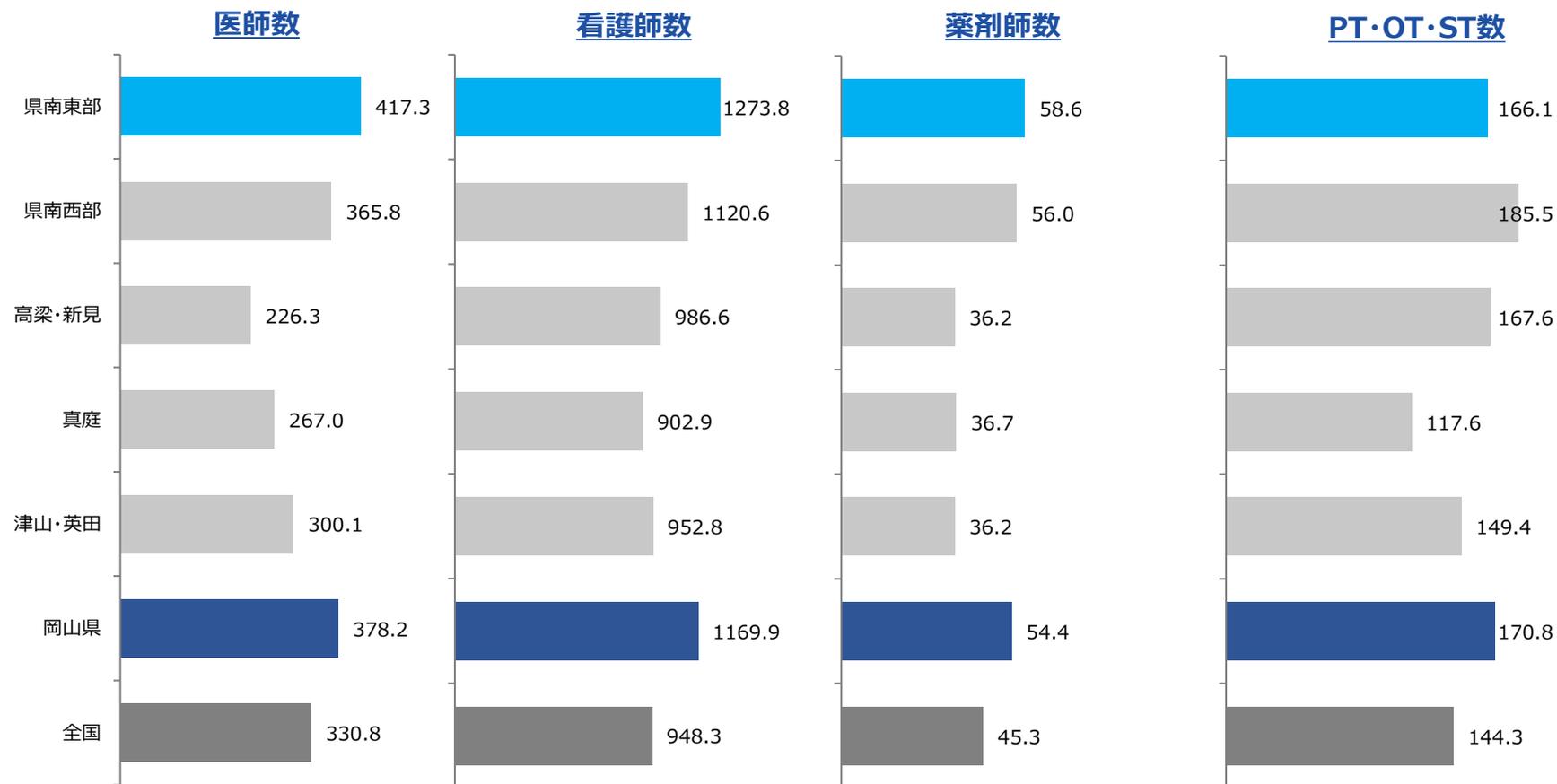
都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。  
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。  
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。



# 岡山県 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

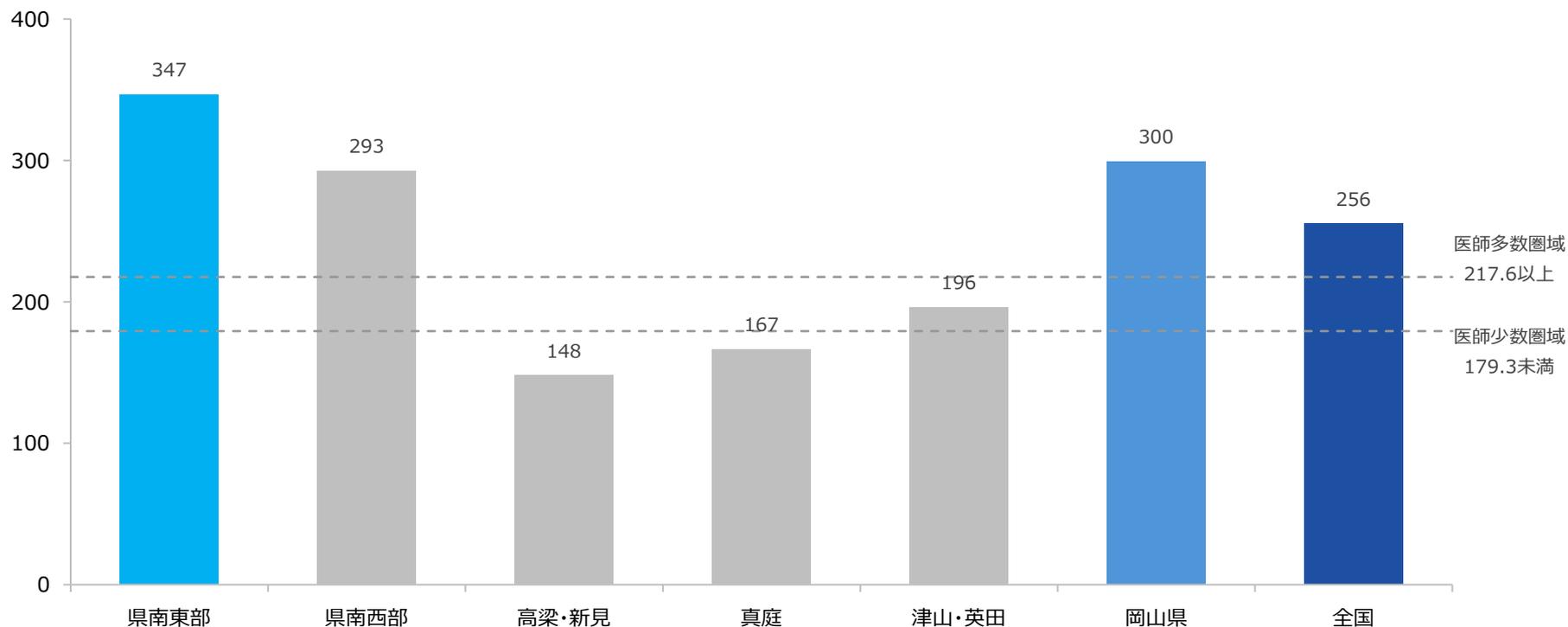
地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。



# 岡山県 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

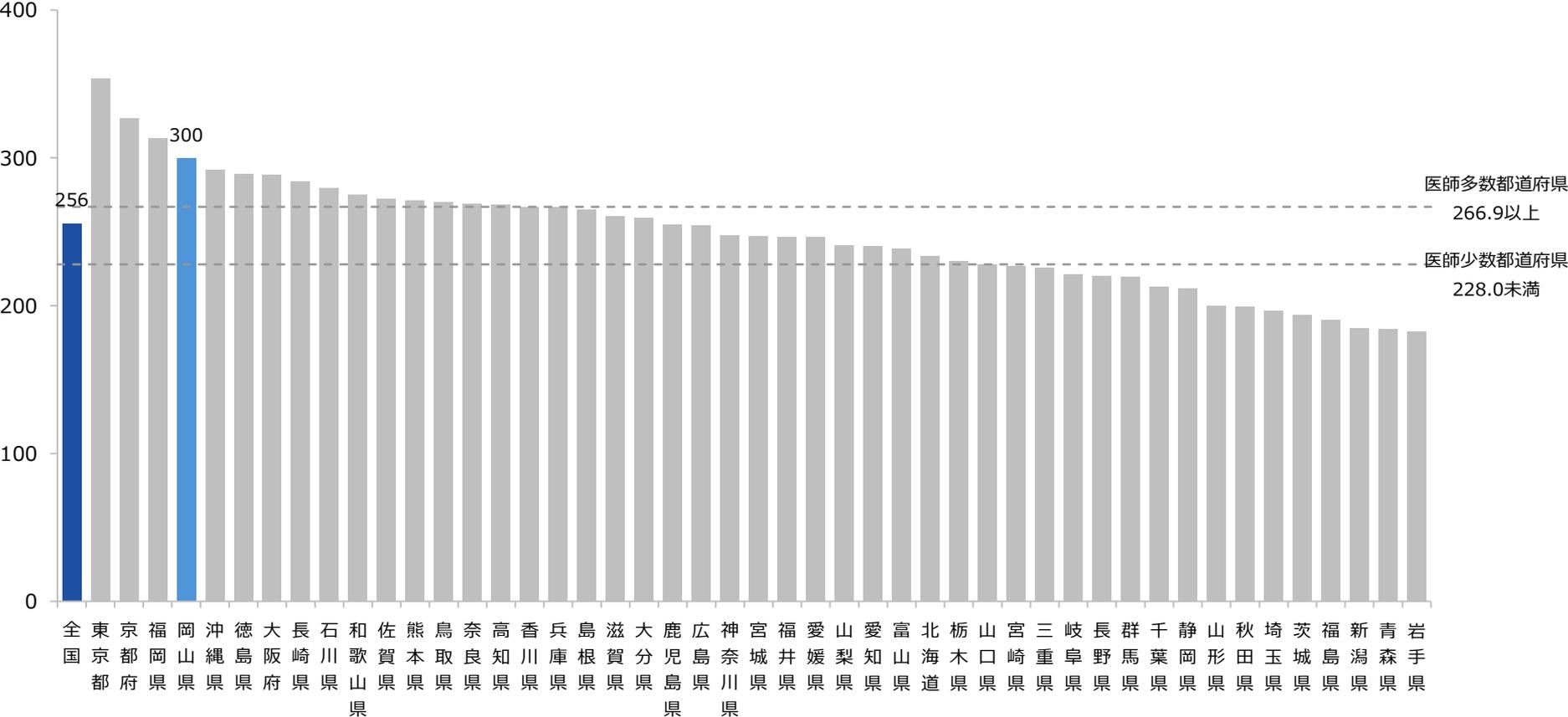
都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。



# 都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。  
 都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。  
 当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

# 県南東部医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		医療圏	全国	圏域-全国	割合	区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		医療圏	全国	圏域-全国	割合
		医療圏	全国	圏域-全国	割合							医療圏	全国	圏域-全国	割合				
内科系	内科	264.8	86.5	178.3	+206%					小児・	小児科	65.7	25.2	40.6	+161%				
	呼吸器内科	23.7	9.9	13.8	+140%					周産期	小児外科	4.3	1.2	3.1	+256%				
	循環器内科	45.1	19.1	26	+137%						産婦人科	36.6	16	20.5	+128%				
	消化器内科(胃腸内科)	55.2	22.6	32.7	+145%						産科	3.9	0.7	3.2	+453%				
	腎臓内科	17.5	8	9.5	+119%						婦人科	7.4	2.9	4.5	+154%				
	脳神経内科	11.3	8.3	3	+37%					眼科・耳鼻・	眼科	49	19.2	29.8	+155%				
	糖尿病内科(代謝内科)	26.1	8.4	17.6	+209%					皮膚・美容	耳鼻いんこう科	33.4	13.3	20.2	+152%				
	血液内科	13.6	4.2	9.4	+222%						皮膚科	41.2	14.2	27	+190%				
	アレルギー科	0	0.3	-0.3	-						美容外科	5.1	1.8	3.3	+186%				
	リウマチ科	5.8	2.7	3.1	+114%					麻酔・	麻酔科	50.9	14.6	36.3	+248%				
	感染症内科	0.8	0.9	-0.1	▲11%					集中治療系	救急科	12.8	5.5	7.3	+132%				
外科系	外科	56	18.1	37.9	+210%						集中治療科	0.8	1.3	-0.5	▲40%				
	呼吸器外科	10.9	3	7.9	+260%					放射線・	放射線科	30.7	10.3	20.4	+198%				
	心臓血管外科	16.7	4.6	12.1	+266%					検査系	病理診断科	5.8	3.2	2.7	+84%				
	乳腺外科	10.5	3.3	7.2	+222%						臨床検査科	5.1	0.9	4.1	+448%				
	気管食道外科	1.9	0.1	1.8	+1234%					リハビリ	リハビリテーション科	12.1	4.4	7.7	+176%				
	消化器外科(胃腸外科)	27.2	8.2	19	+232%					精神	精神科	77	23.8	53.2	+224%				
	泌尿器科	23.3	11.2	12.2	+109%						心療内科	2.7	1.2	1.5	+123%				
	肛門外科	0.4	0.6	-0.2	▲39%					その他	その他	116.7	36.7	79.9	+217%				
	脳神経外科	36.2	10.6	25.5	+240%					総計	総計	1306.9	463.3	843.6	+182%				
	整形外科	81.7	31.8	49.8	+156%														
	形成外科	17.1	4.5	12.6	+277%														

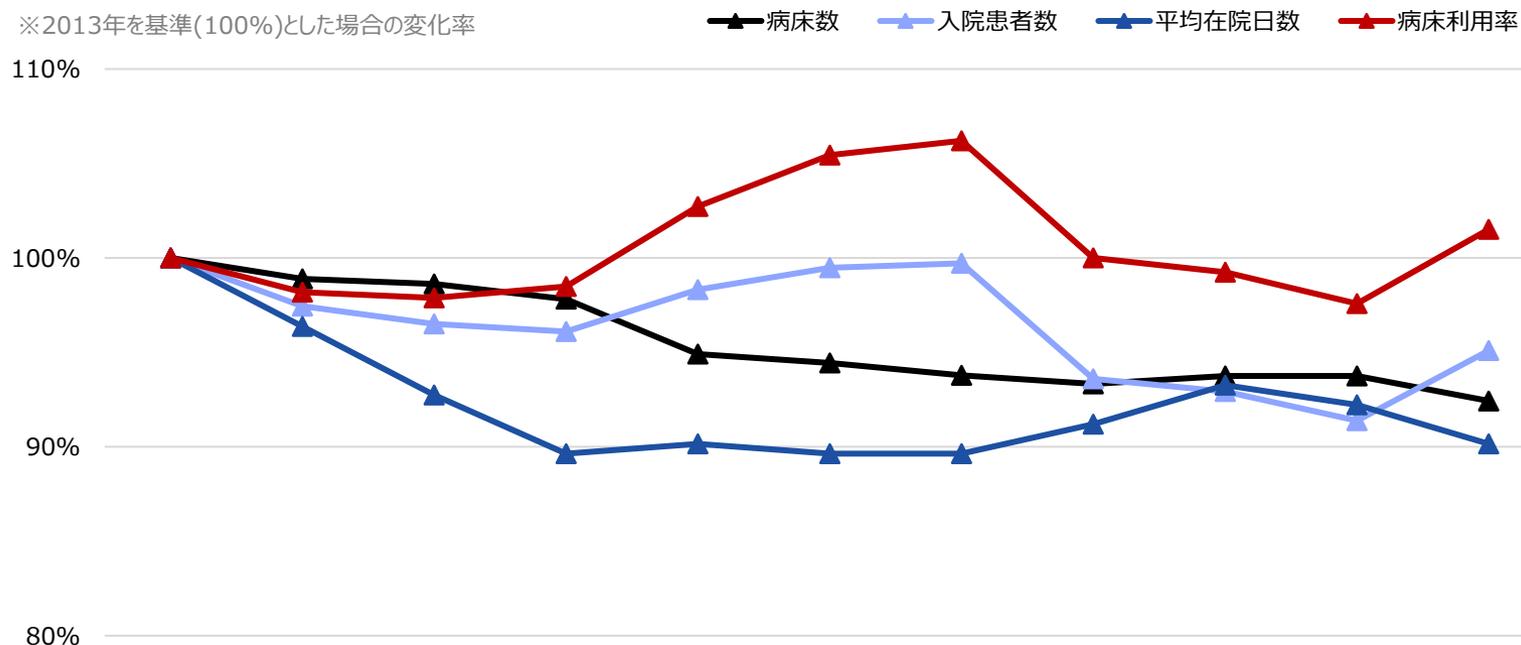
# 県南東部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

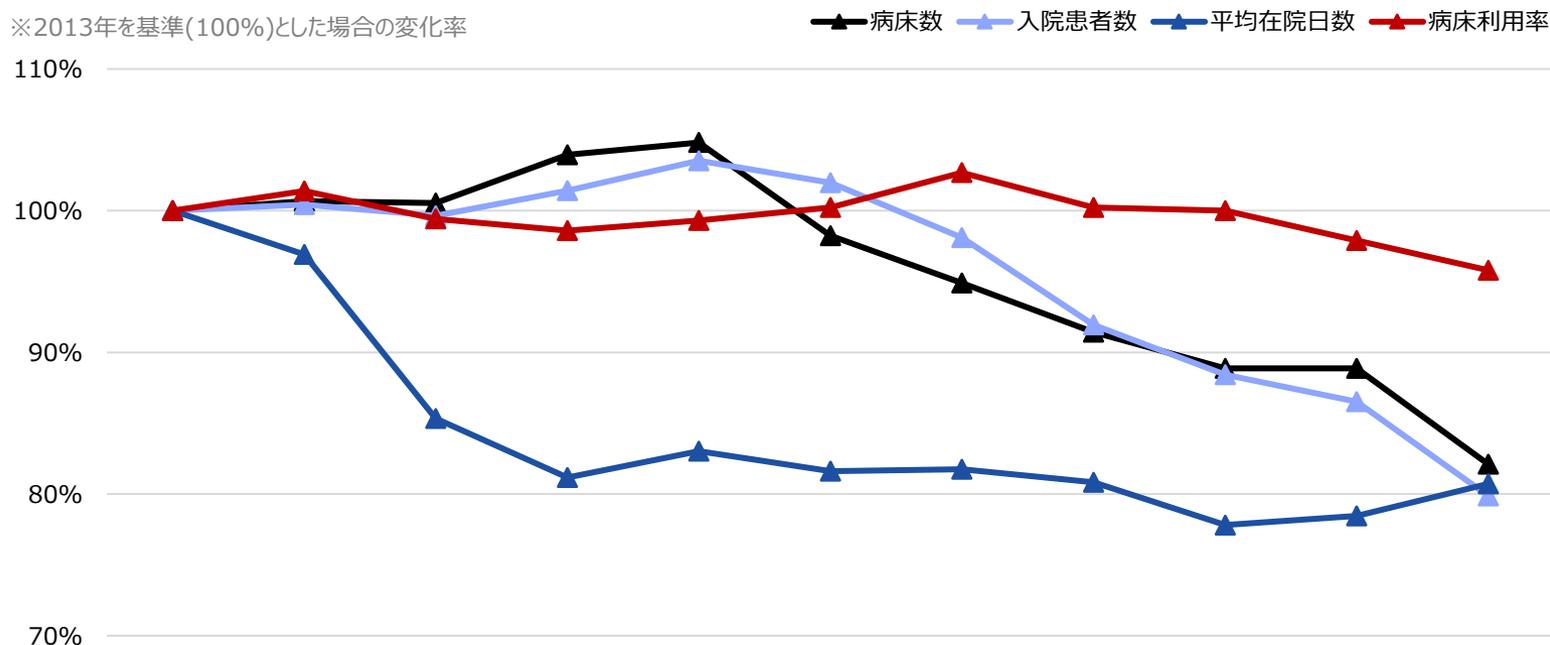


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	9,960	9,850	9,822	9,742	9,453	9,406	9,341	9,296	9,338	9,338	9,206	▲7.6%
入院患者数 (人/日)	6,592	6,424	6,362	6,335	6,481	6,558	6,573	6,170	6,126	6,024	6,269	▲4.9%
平均在院日数 (日)	19.3	18.6	17.9	17.3	17.4	17.3	17.3	17.6	18	17.8	17.4	▲9.8%
病床利用率 (%)	66.1	64.9	64.7	65.1	67.9	69.7	70.2	66.1	65.6	64.5	67.1	+1.5%

# 県南東部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



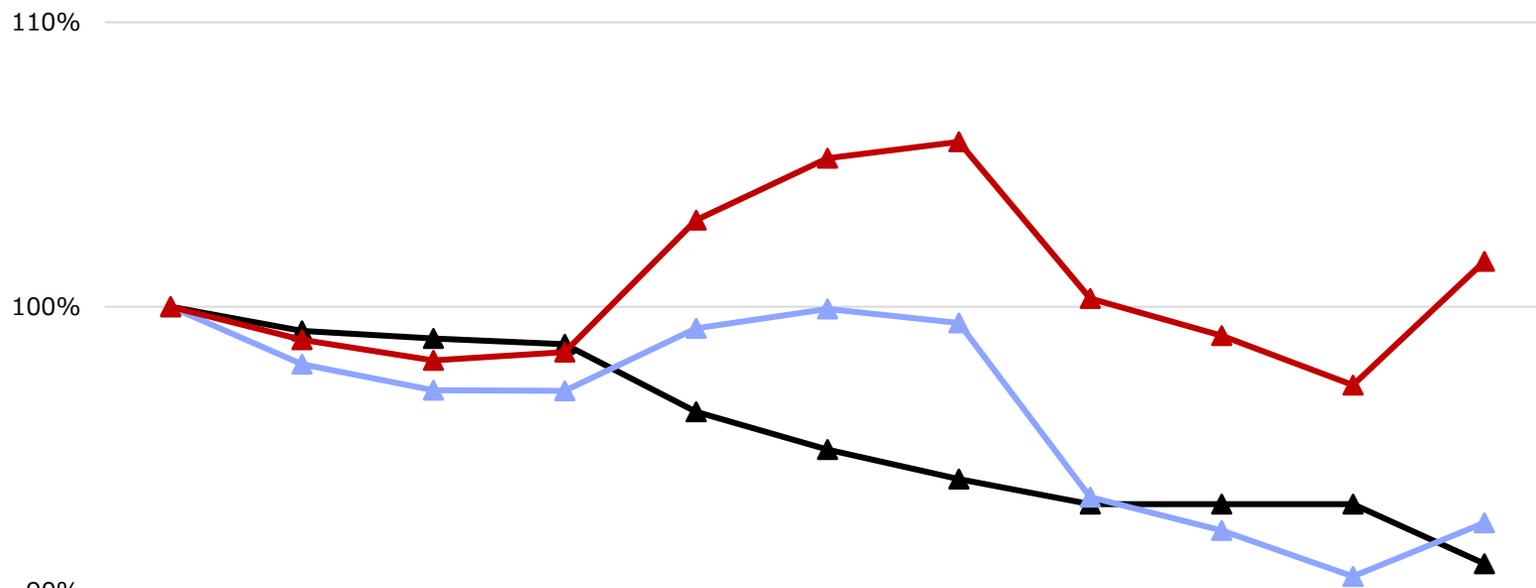
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	1,643	1,654	1,652	1,708	1,722	1,614	1,559	1,502	1,460	1,460	1,349	▲17.9%
入院患者数 (人/日)	1,416	1,422	1,411	1,436	1,466	1,444	1,389	1,302	1,252	1,225	1,131	▲20.1%
平均在院日数 (日)	155.5	150.7	132.7	126.2	129.1	126.9	127.1	125.7	121	122	125.5	▲19.3%
病床利用率 (%)	85.7	86.9	85.2	84.5	85.1	85.9	88.0	85.9	85.7	83.9	82.1	▲4.2%

# 県南東部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

▲ 病床数 ▲ 入院患者数 ▲ 病床利用率



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	11,603	11,504	11,474	11,450	11,175	11,020	10,900	10,798	10,798	10,798	10,555	▲9.0%
入院患者数 (人/日)	8,008	7,846	7,773	7,771	7,947	8,002	7,962	7,472	7,378	7,249	7,400	▲7.6%
病床利用率 (%)	69.0	68.2	67.7	67.9	71.1	72.6	73.0	69.2	68.3	67.1	70.1	+1.6%

# 岡山県 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数						
	2013年		2018年		2023年		2013年		2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	2013年比
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%		
岡山県	22,169	21,351	▲3.7%	19,343	▲12.7%	29.5	26.7	▲9.5%	25.7	▲12.9%		
県南東部	10,586	10,389	▲1.9%	9,608	▲9.2%	29.4	26.0	▲11.6%	25.2	▲14.3%		
県南西部	7,808	7,515	▲3.8%	6,894	▲11.7%	27.0	25.3	▲6.3%	24.2	▲10.4%		
高梁・新見	891	835	▲6.3%	632	▲29.1%	46.1	44.3	▲3.9%	41.8	▲9.3%		
真庭	703	555	▲21.1%	443	▲37.0%	35.2	31.3	▲11.1%	31.4	▲10.8%		
津山・英田	2,179	2,057	▲5.6%	1,766	▲19.0%	34.7	31.4	▲9.5%	31.5	▲9.2%		

# 県南東部医療圏 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	岡山大学病院	594.5	285	1,031.9	32.3	39.0	80.2	2,108.8
2	川崎医科大学総合医療センター	207.3	194	546.0	53.1	59.0	31.5	997.1
3	岡山赤十字病院	177.2	173	633.6	37.8	27.0	35.0	1,023.6
4	岡山済生会総合病院	161.7	155	533.6	52.2	36.0	27.0	927.8
5	岡山市立市民病院	139.9	115	446.1	17.5	37.8	29.0	733.3
6	NHO岡山医療センター	201.8	114	666.2	29.9	27.0	35.3	1,036.7
7	岡山労災病院	87.0	83	307.1	9.9	0	20.0	427.9
8	心臓病センター 榊原病院	53.5	51	314.9	31.8	25.0	18.9	527.2
9	岡山協立病院	50.7	40	295.4	31.6	59.0	12.0	504.8
10	岡山中央病院	81.7	37	189.2	33.1	68.7	8.6	443.1
11	岡山旭東病院	42.0	36	204.0	37.0	53.0	15.0	402.0
12	岡山済生会外来センター病院	30.0	21	136.1	7.4	20.0	10.0	223.2
13	岡村一心堂病院	26.4	18	108.7	23.0	20.4	5.3	216.2
14	旭川荘療育・医療センター	28.3	16	222.2	141.3	31.4	6.4	447.9
15	赤磐医師会病院	23.0	16	127.2	38.9	24.0	7.8	253.3
16	重井医学研究所附属病院	21.6	15	193.4	33.8	41.6	12.0	364.2
17	国立療養所 長島愛生園	14.0	14	78.0	84.0	0	2.0	189.0
18	岡山博愛会病院	15.0	14	114.2	32.7	61.9	4.2	241.0
19	光生病院	25.4	13	163.9	35.1	55.1	6.7	314.8
20	岡山西大寺病院	24.6	13	93.7	11.0	49.0	3.3	221.6
21	竜操整形外科病院	13.0	11	83.1	18.3	39.1	2.7	171.2
22	国立療養所 邑久光明園	10.0	10	74.2	72.2	6.0	3.0	175.0
23	吉備高原医療リハビリテーションセンター	10.4	10	60.1	4.8	22.0	3.0	110.3
24	玉野市民病院	15.1	9	90.8	25.0	41.0	4.0	190.3
25	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	13.8	9	74.9	13.3	20.0	3.0	136.0

# 県南東部医療圏 | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	川崎医科大学高齢者医療センター	9.4	9	57.7	4.0	12.0	3.0	88.1
27	岡山リハビリテーション病院	7.6	7	63.7	23.6	107.7	3.0	210.6
28	玉野三井病院	12.2	7	57.8	13.4	3.0	3.0	101.6
29	藤田病院	10.1	7	56.8	18.7	16.7	2.8	112.1
30	備前市国民健康保険市立吉永病院	10.8	6	41.0	1.0	13.3	4.3	82.5
31	おおもと病院	7.8	6	40.1	7.0	0	1.6	68.5
32	北川病院	9.1	6	41.8	13.0	16.2	3.1	100.4
33	佐藤病院	9.7	6	47.4	19.8	26.0	2.0	116.9
34	済生会 吉備病院	6.0	5	49.7	13.5	34.0	2.5	112.8
35	岡山光南病院	6.0	5	28.0	12.4	39.2	1.3	89.9
36	備前市国民健康保険市立備前病院	5.0	5	46.2	7.5	7.0	3.0	81.7
37	セントラルシティ病院	6.5	5	37.3	10.3	4.8	2.0	65.7
38	岡山療護センター	6.0	5	67.9	0	11.0	1.2	89.5
39	岡山水清会病院	7.6	5	36.4	10.0	26.0	1.7	90.2
40	山陽病院	5.5	4	71.6	20.0	9.0	3.0	114.5
41	平病院	28.0	4	40.6	22.0	28.0	3.0	129.0
42	岡山市立せのお病院	4.0	4	37.5	12.7	9.8	2.0	71.4
43	草加病院	7.5	4	33.7	11.5	11.5	1.0	73.5
44	吉備高原ルミエール病院	6.7	4	17.4	11.9	0	3.5	45.4
45	宮本整形外科病院	6.8	4	48.0	16.0	0	4.0	79.8
46	岡山県健康づくり財団附属病院	7.0	4	42.8	9.7	2.0	2.0	66.5
47	瀬戸内記念病院	4.6	4	62.0	59.8	9.0	2.9	141.4
48	備前市国民健康保険市立日生病院	4.9	3	37.5	11.6	5.0	3.6	68.1
49	洋友会 中島病院	3.5	3	22.6	13.1	5.0	1.0	47.2
50	長島病院	6.8	3	66.8	27.5	8.0	2.0	119.4

# 県南東部医療圏 | 医療機関別職員数③

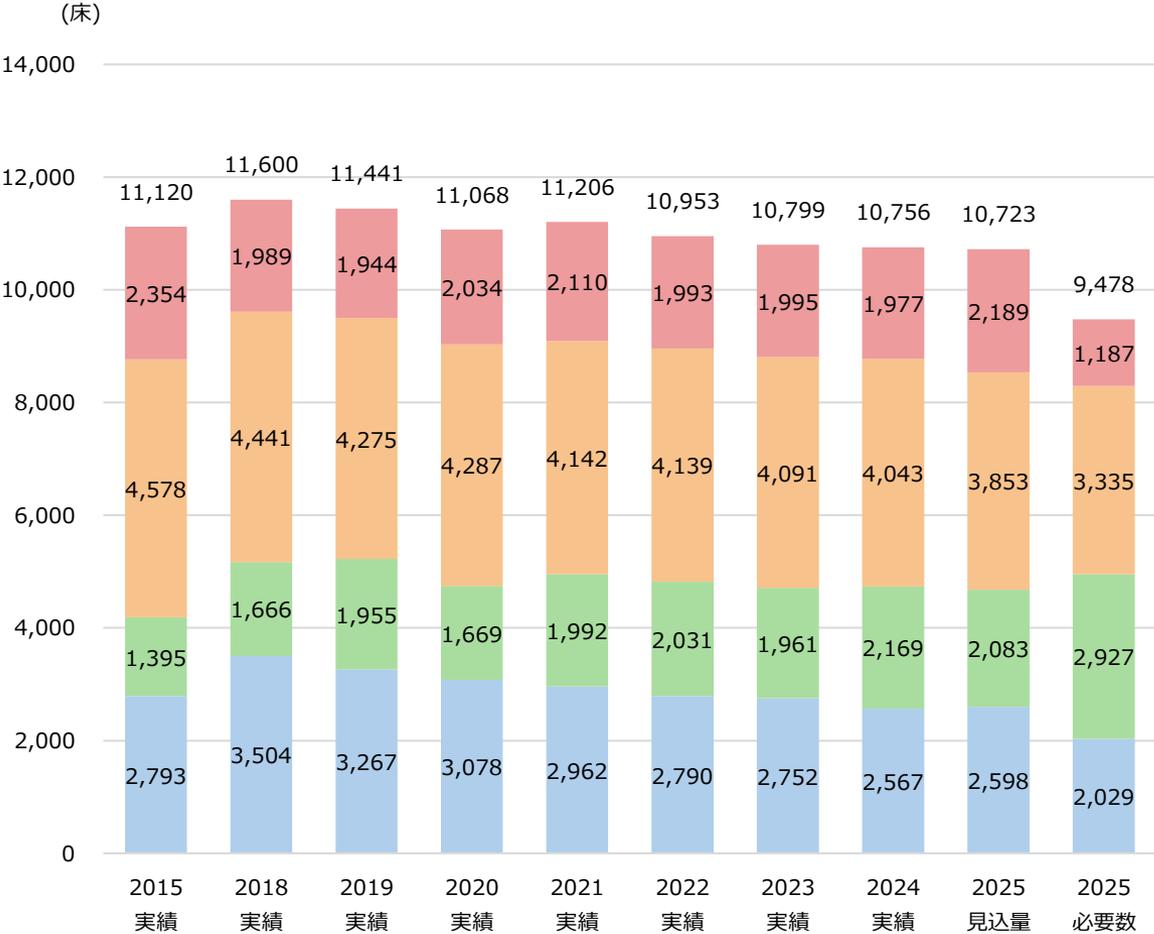
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
51	岡山赤十字玉野病院	4.0	3	38.5	13.1	6.0	2.5	68.9
52	同仁病院	4.8	3	25.7	12.7	2.0	1.0	48.2
53	大西病院	4.2	3	23.1	8.2	4.0	2.4	44.9
54	幸町記念病院	6.7	3	26.7	14.0	0	2.6	66.0
55	岡山東中央病院	4.0	3	51.5	24.5	6.0	3.0	92.9
56	喜多村病院	2.1	2	5.7	6.7	0	0.2	15.7
57	岡山市立金川病院	2.9	2	19.0	1.7	3.0	1.0	28.6
58	岡山東部脳神経外科病院	5.7	2	27.8	6.0	12.0	2.0	61.5
59	玉野中央病院	2.0	2	14.5	7.8	0	2.0	27.3
60	国民健康保険福渡病院	5.6	2	24.3	4.7	5.0	1.0	46.6
61	産科婦人科 浮田病院	3.1	2	5.8	0.4	0	0	10.1
62	林病院	3.2	2	15.0	12.0	0	1.0	31.2
63	中谷外科病院	5.3	2	21.0	5.9	3.2	2.0	39.8
64	岡山西大寺病院附属中野分院	4.5	2	37.0	2.0	16.0	1.1	64.6
65	岡山第一病院	3.9	2	37.4	10.9	26.6	4.0	86.8
66	ペリネイト母と子の病院	5.2	2	26.8	9.0	0	2.0	46.0
67	由良病院	4.2	1	13.6	3.8	0	1.9	27.5
68	淳風会ロングライフホスピタル	10.4	1	37.5	5.5	5.0	4.5	66.7
69	丹羽病院	3.1	1	19.0	1.5	0	0.4	26.0
70	岡山記念病院	5.3	1	18.7	2.4	5.0	2.2	38.3
	総計	2,357.2	1,638	8,429.4	1,429.8	1,361.0	485.2	15,690.6

# 県南東部区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

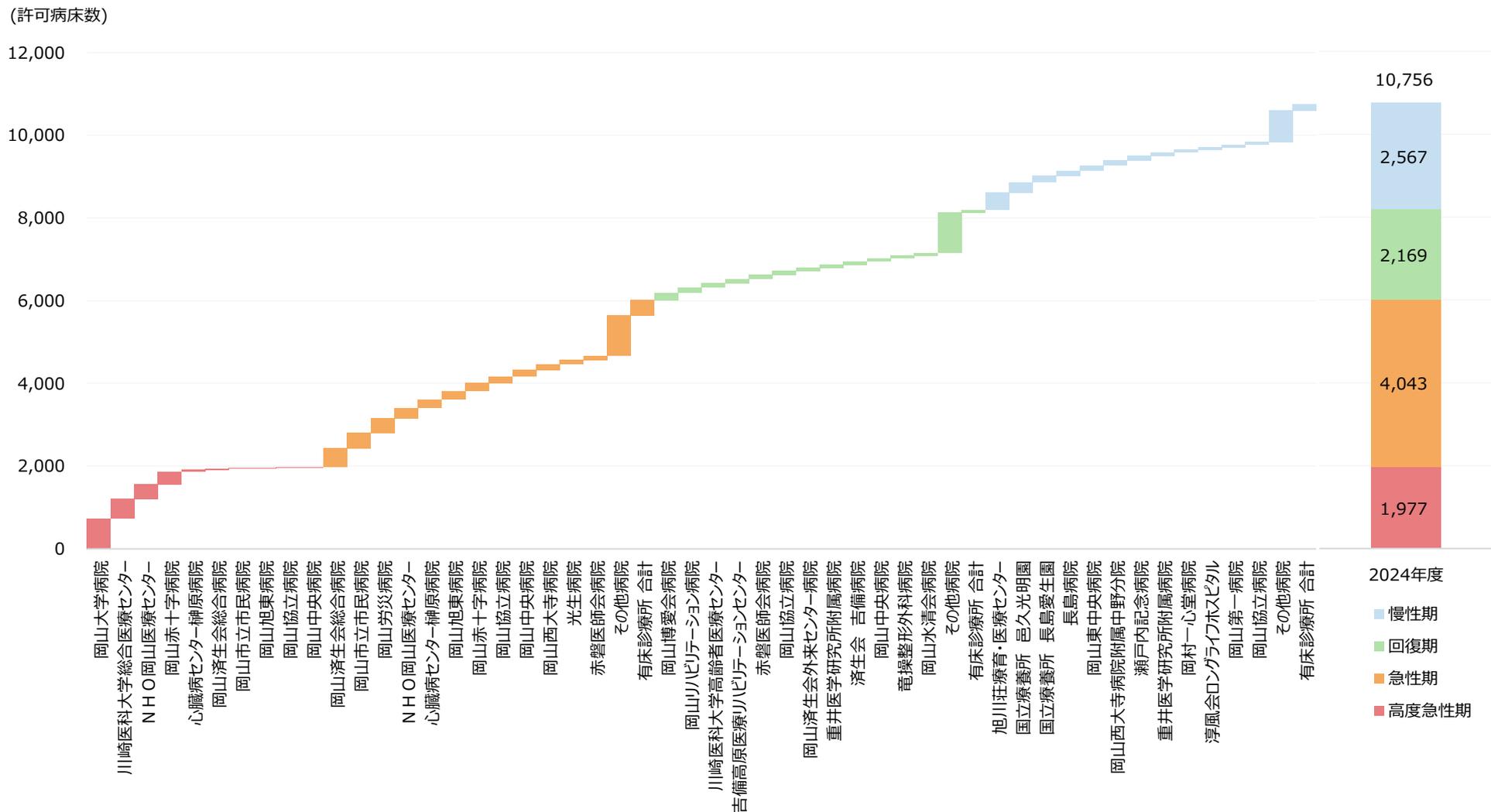
高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	1,977	1,187	+790
急性期	4,043	3,335	+708
回復期	2,169	2,927	▲758
慢性期	2,567	2,029	+538
合計	10,756	9,478	+1,278

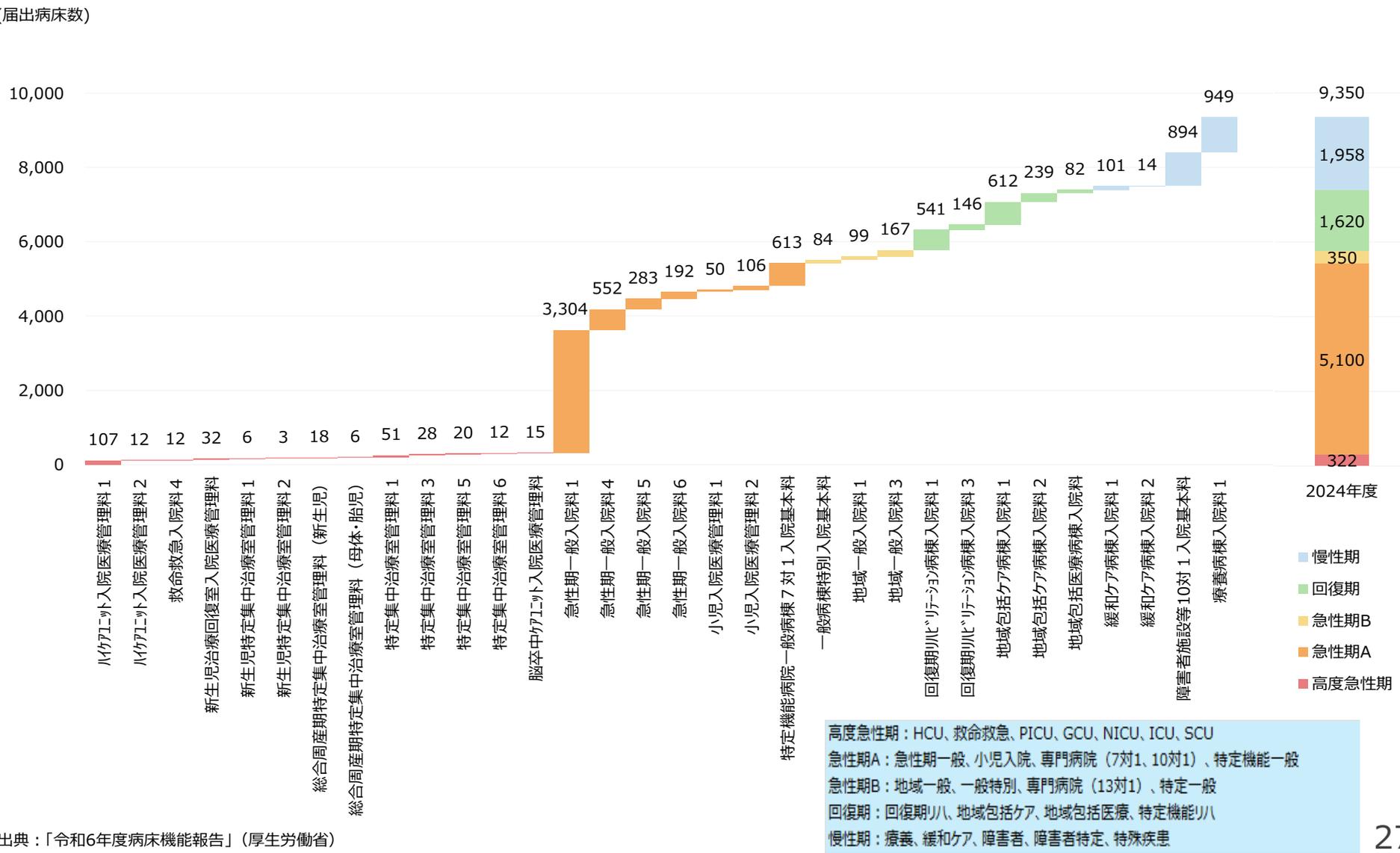
出典：「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化（令和6年度）」（厚生労働省）

# 県南東部医療圏 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



# 県南東部医療圏 | 入院料別届出病床数 (病院のみ/入院基本料に基づく機能分類)

当該医療圏の入院料別の届出病床数を整理しています。  
それぞれの病床機能に適した入院料の病床数が多いか確認できます。

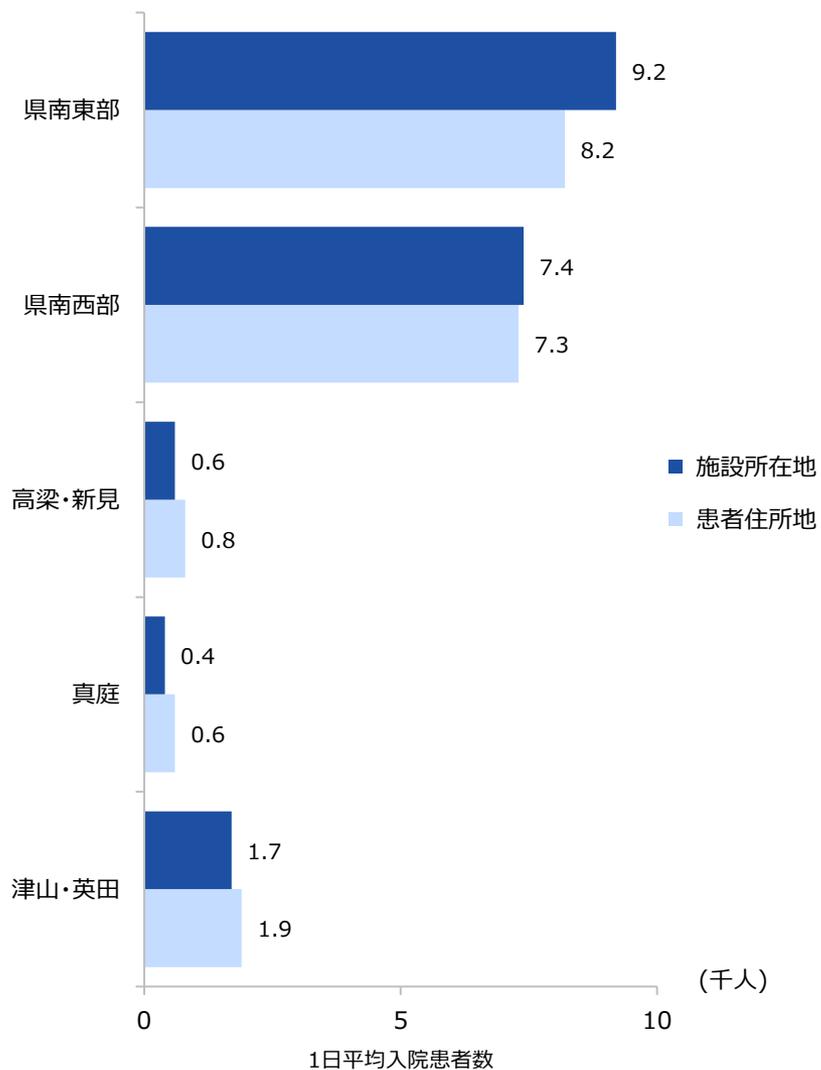


出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 岡山県 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

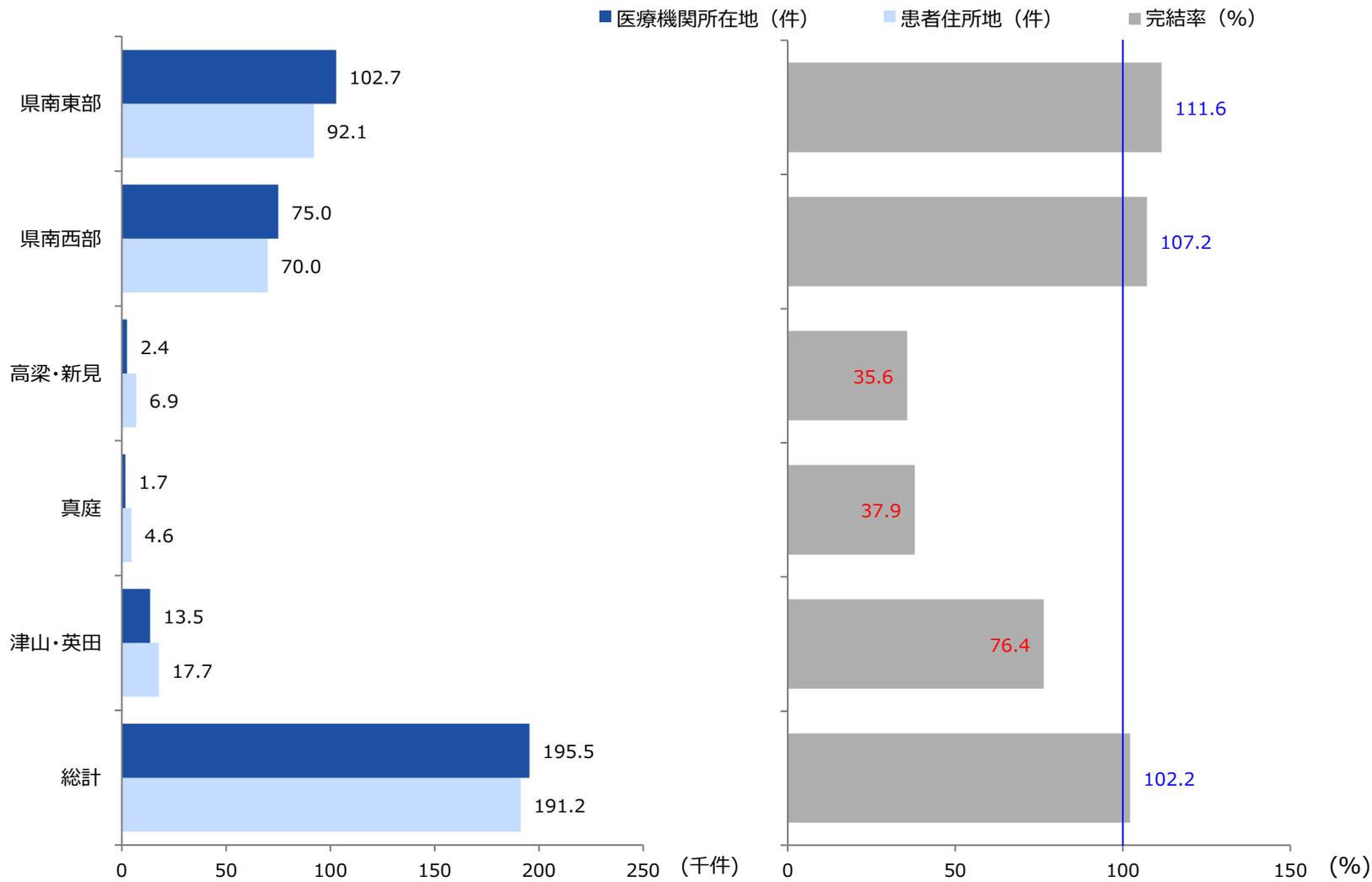
左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



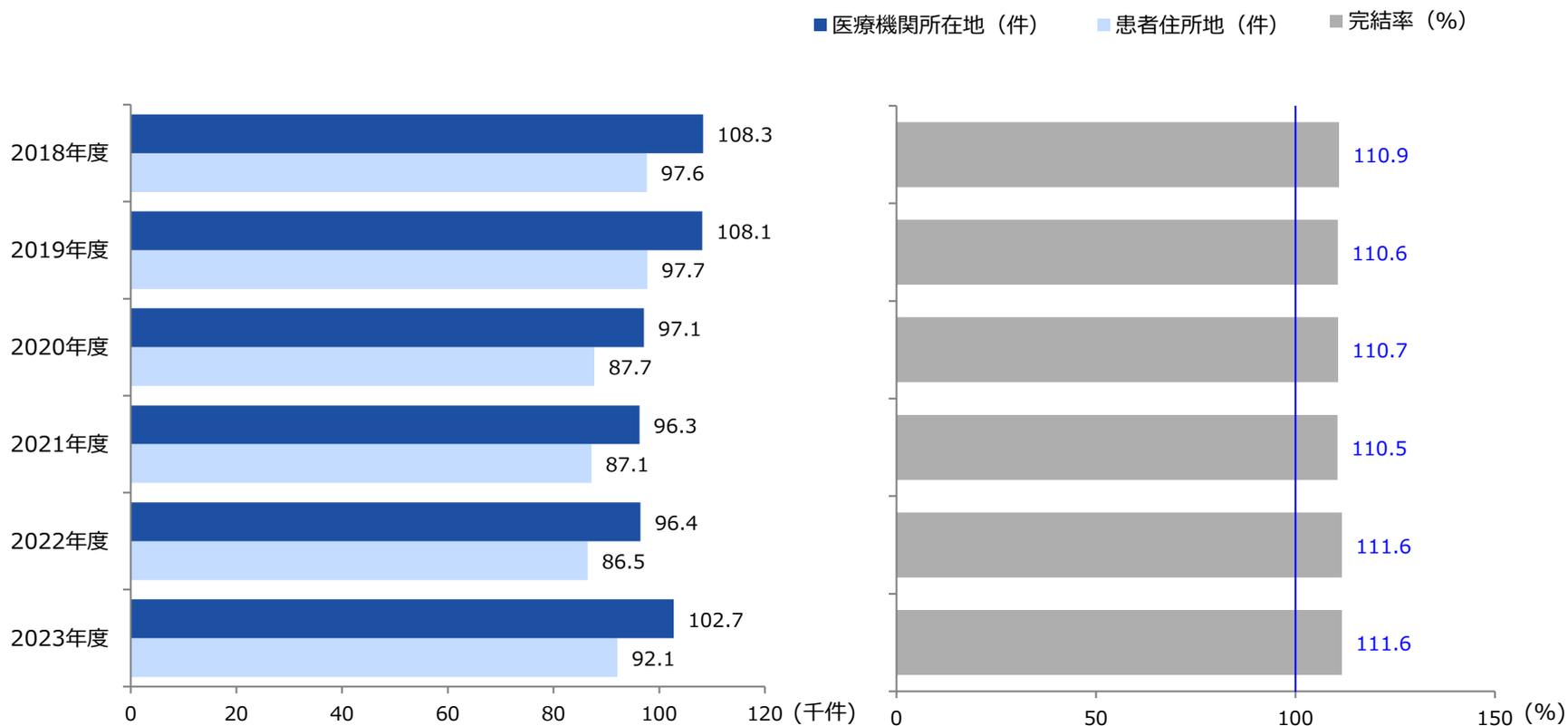
傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.2	0.2	0
II 新生物	1.1	0.9	0.2
III 血液	0.1	0.1	0
IV 内分泌	0.2	0.2	0
V 精神	1.3	1.1	0.2
VI 神経系	1.0	1.0	0
VII 眼	0.1	0.1	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	1.3	1.2	0.1
X 呼吸器	0.7	0.7	0
X I 消化器	0.5	0.4	0.1
X II 皮膚	0.1	0.1	0
X III 筋骨格	0.6	0.5	0.1
X IV 腎尿路	0.5	0.4	0.1
X V 妊娠, 分娩	0	0	0
X VI 周産期	0	0	0
X VII 先天奇形	0.1	0.1	0
X VIII 症状, 徴候	0.1	0.1	0
X IX 損傷, 中毒	1.1	1.0	0.1
X X I 保健サービス	0.1	0.1	0
X X II 特殊目的用	0.1	0.1	0
総数	<b>9.2</b>	<b>8.3</b>	<b>0.9</b>

# 岡山県 | 二次医療圏別の流出入状況 (DPC症例数)



# 県南東部医療圏 | 患者流出入状況の年度推移 (DPC症例数)

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。

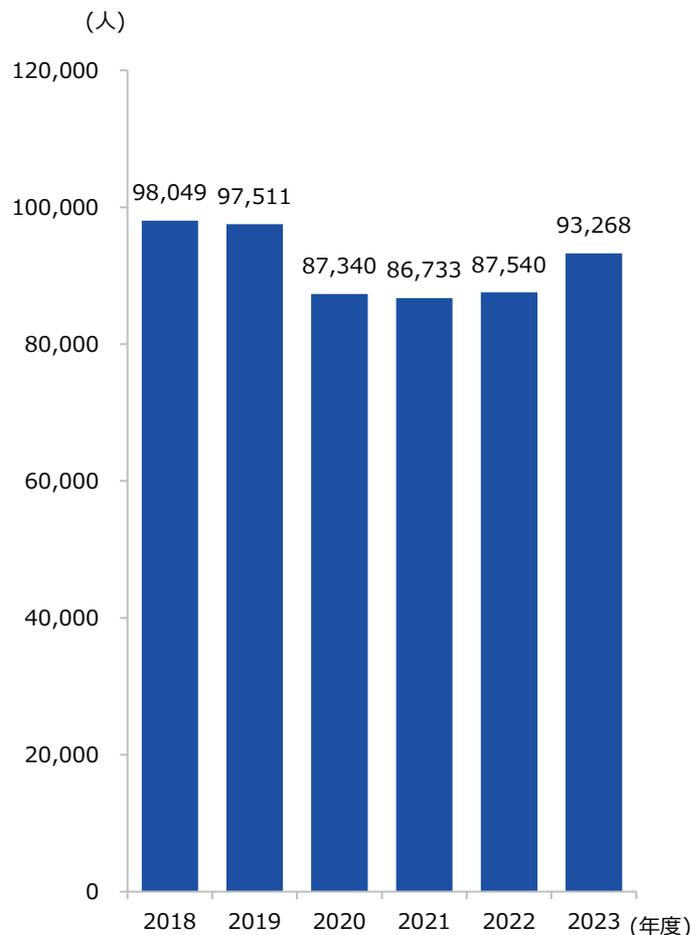


# 県南東部医療圏 | MDC別退院患者数の推移 (DPC病院のみ)

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

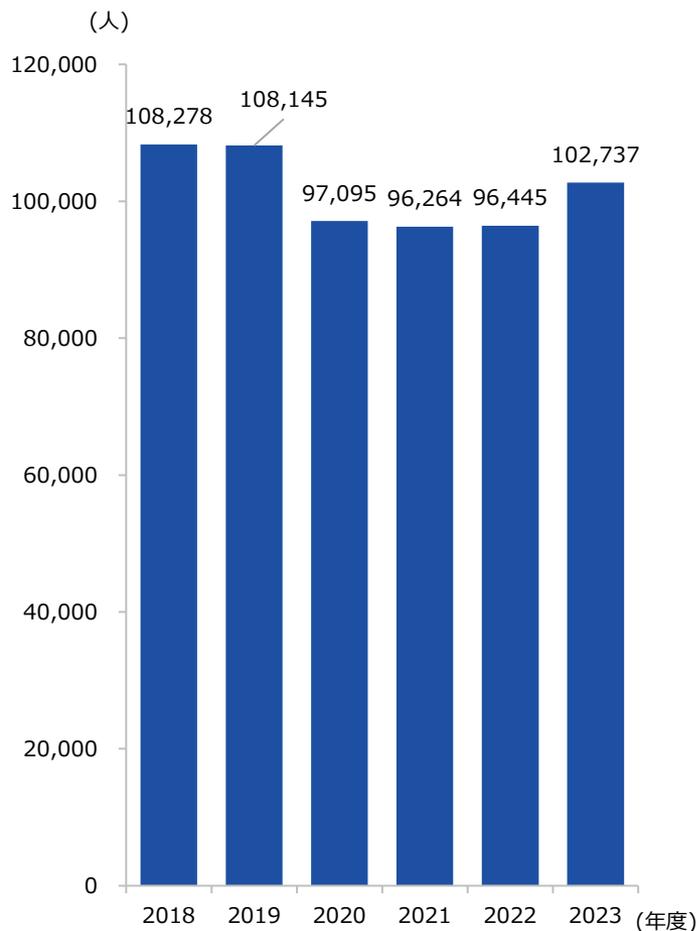
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,003	6,760	6,169	6,013	5,651	5,809	▲17.0%	6.2%
MDC02 眼科系	4,949	4,765	3,442	3,647	3,660	3,564	▲28.0%	3.8%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,153	4,098	3,119	2,964	3,156	3,777	▲9.1%	4.0%
MDC04 呼吸器系	11,804	11,763	8,577	8,851	8,962	10,498	▲11.1%	11.3%
MDC05 循環器系	10,231	10,129	9,442	9,373	9,241	9,167	▲10.4%	9.8%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	20,459	20,389	18,424	18,319	18,397	18,867	▲7.8%	20.2%
MDC07 筋骨格系	6,624	6,945	6,347	6,501	6,556	7,306	▲10.3%	7.8%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,606	1,585	1,476	1,351	1,287	1,482	▲7.7%	1.6%
MDC09 乳房	1,258	1,324	1,567	1,576	1,491	1,516	▲20.5%	1.6%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	2,945	2,942	2,483	2,457	2,359	2,727	▲7.4%	2.9%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	6,969	7,028	7,277	7,308	7,771	8,350	▲19.8%	9.0%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	4,244	4,280	4,000	4,035	4,206	4,165	▲1.9%	4.5%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	2,949	2,812	3,091	2,613	3,012	3,353	▲13.7%	3.6%
MDC14 新生児・先天性奇形	2,345	2,247	2,082	2,160	2,109	2,186	▲6.8%	2.3%
MDC15 小児	327	267	173	223	233	219	▲33.0%	0.2%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	8,364	8,396	7,917	7,618	7,867	8,555	▲2.3%	9.2%
MDC17 精神	203	183	180	158	131	165	▲18.7%	0.2%
MDC18 その他	1,616	1,598	1,574	1,566	1,451	1,562	▲3.3%	1.7%
総計	98,049	97,511	87,340	86,733	87,540	93,268	▲4.9%	100.0%

# 県南東部医療圏 | MDC別退院患者数の推移 (出来高病院含む)

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,798	7,636	6,940	6,725	6,353	6,579	▲15.6%	6.4%
MDC02 眼科系	5,112	5,090	3,826	3,971	3,997	3,868	▲24.3%	3.8%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,392	4,323	3,293	3,125	3,292	3,957	▲9.9%	3.9%
MDC04 呼吸器系	13,502	13,329	9,529	9,791	9,887	11,645	▲13.8%	11.3%
MDC05 循環器系	10,601	10,502	9,777	9,724	9,561	9,480	▲10.6%	9.2%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	24,206	24,106	21,667	21,500	21,342	21,853	▲9.7%	21.3%
MDC07 筋骨格系	6,969	7,336	6,683	6,820	6,808	7,661	9.9%	7.5%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,770	1,736	1,601	1,474	1,393	1,620	▲8.5%	1.6%
MDC09 乳房	1,605	1,697	1,940	1,997	1,850	1,881	17.2%	1.8%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	3,447	3,481	2,953	2,895	2,807	3,192	▲7.4%	3.1%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	7,515	7,572	7,771	7,825	8,251	8,968	19.3%	8.7%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	4,261	4,464	4,629	4,667	4,756	4,622	8.5%	4.5%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	3,131	2,989	3,257	2,759	3,164	3,489	11.4%	3.4%
MDC14 新生児、先天性奇形	2,348	2,294	2,285	2,388	2,322	2,357	0.4%	2.3%
MDC15 小児	331	268	174	224	233	219	▲33.8%	0.2%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	9,351	9,415	8,916	8,584	8,797	9,510	1.7%	9.3%
MDC17 精神	249	234	219	179	152	205	▲17.7%	0.2%
MDC18 その他	1,690	1,673	1,635	1,616	1,480	1,631	▲3.5%	1.6%
総計	108,278	108,145	97,095	96,264	96,445	102,737	▲5.1%	100.0%

# 3/ 医療需要の将来推計

---

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

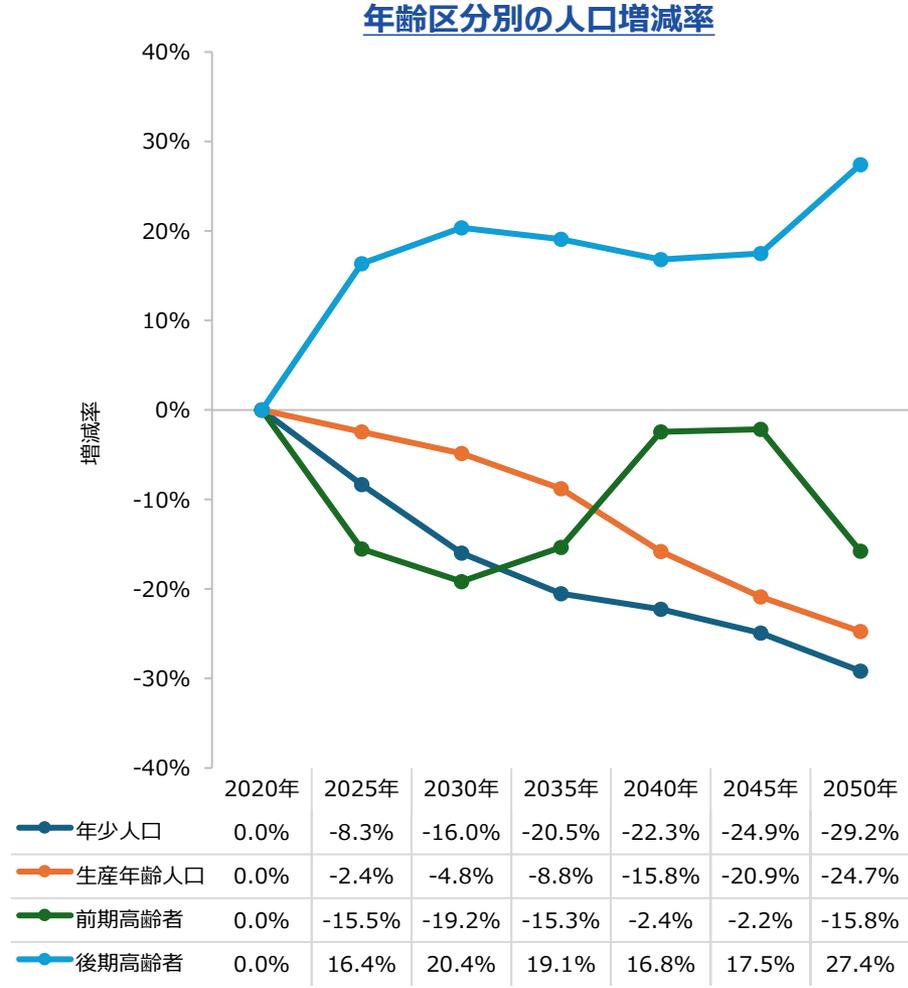
将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。  
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

# 県南東部医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

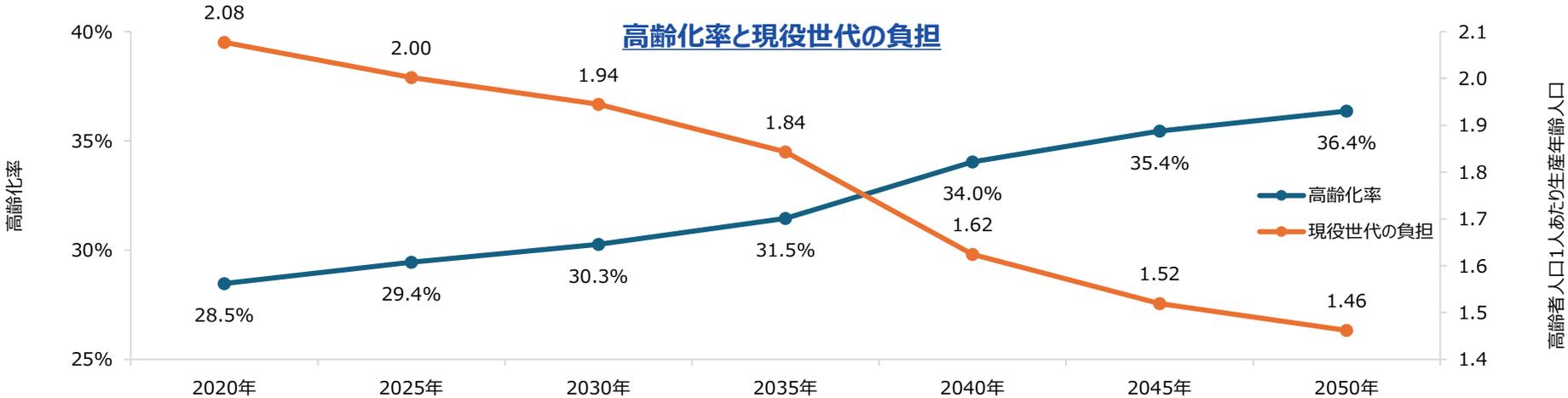
特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)

# 県南東部医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。  
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

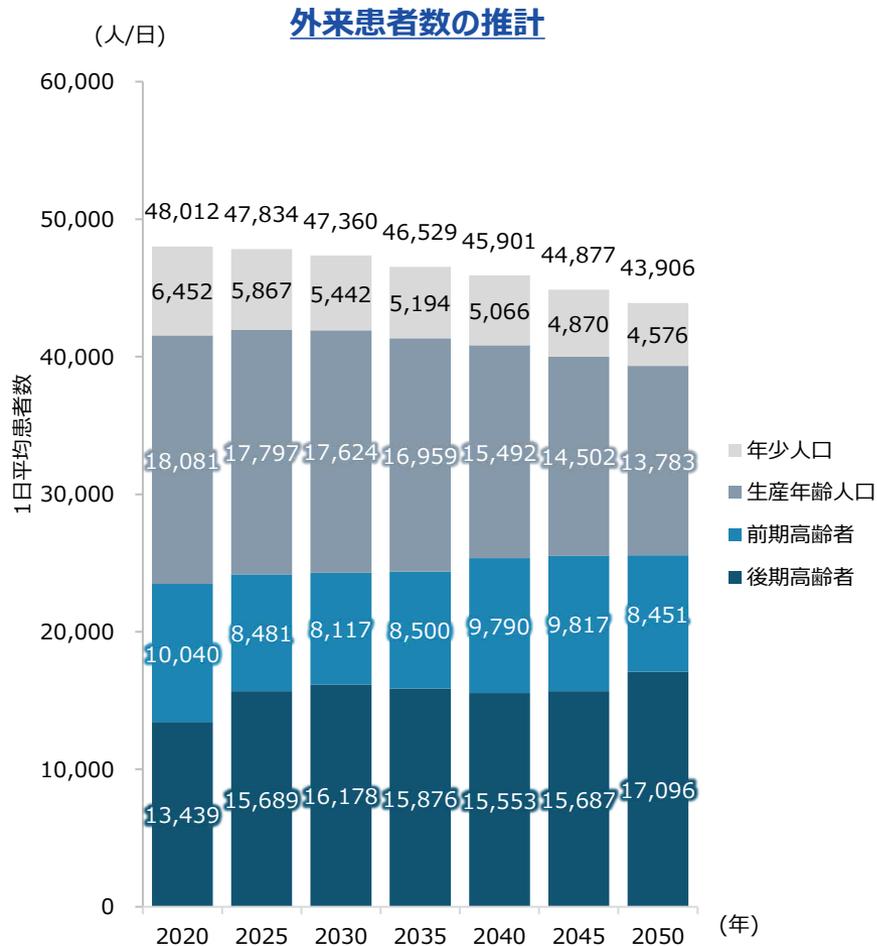
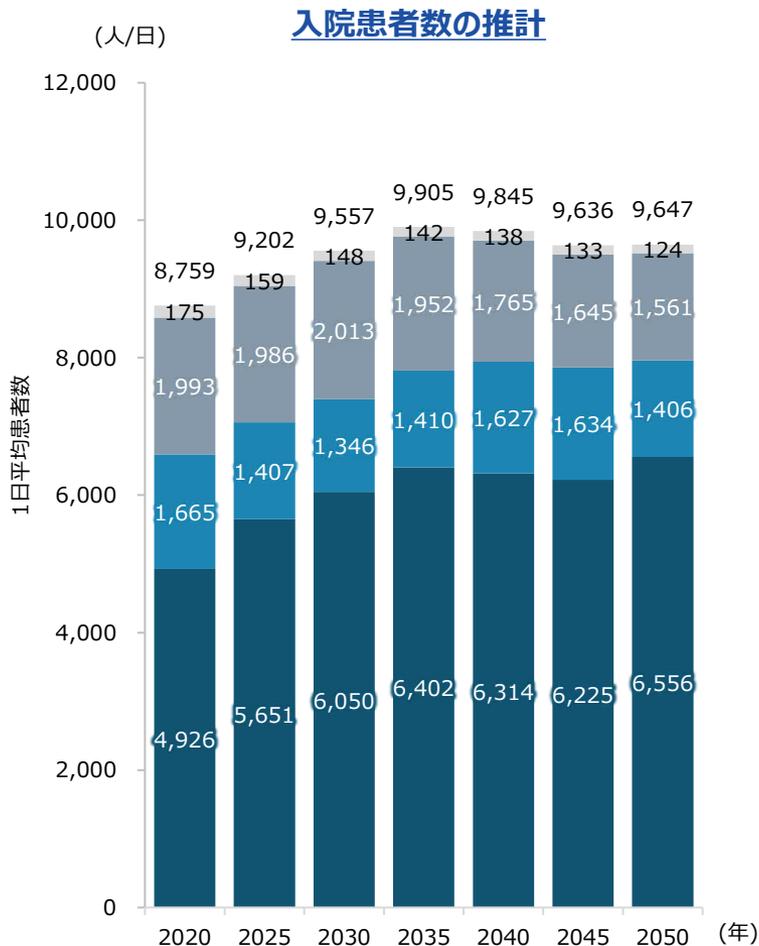


出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)

# 県南東部医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

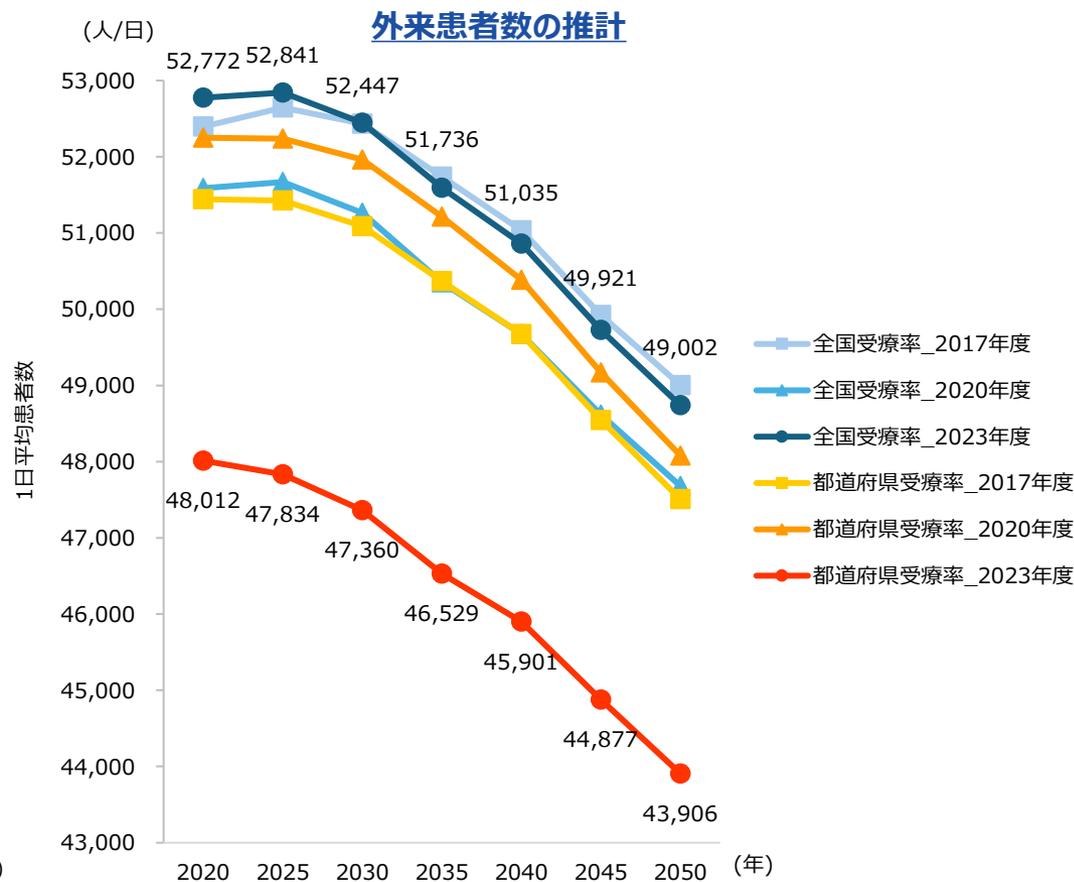
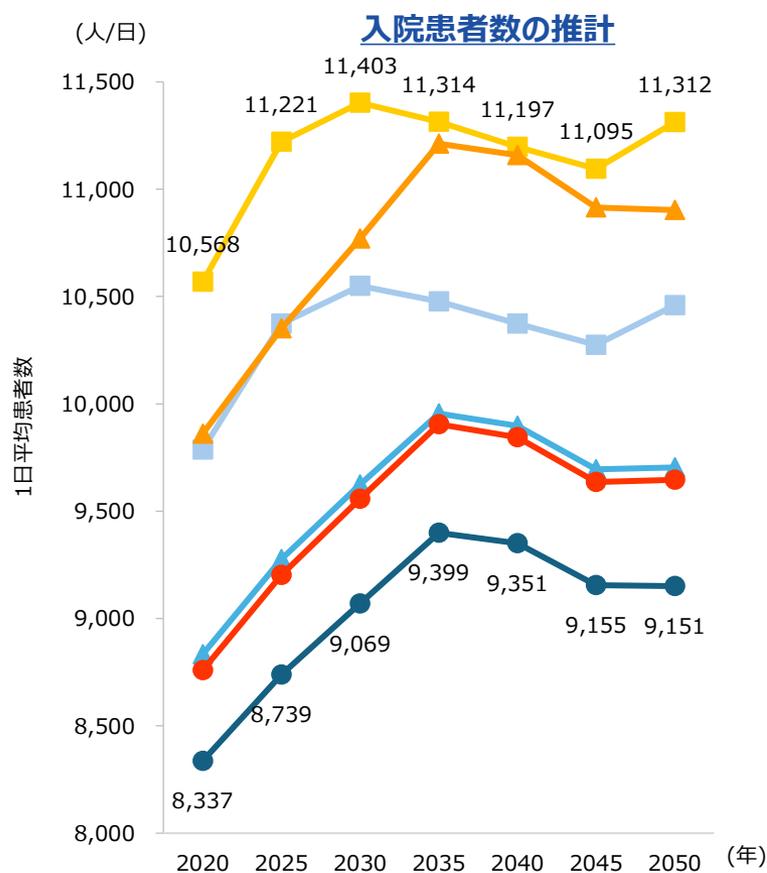
多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。



# 県南東部医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



# 県南東部医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	163	174	185	198	196	191	193
II 新生物<腫瘍>	877	910	915	897	897	892	898
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	43	47	49	49	49	49	51
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	234	253	266	280	277	272	277
V 精神及び行動の障害	1,239	1,247	1,253	1,235	1,216	1,189	1,161
VI 神経系の疾患	986	1,046	1,084	1,117	1,105	1,082	1,093
VII 眼及び付属器の疾患	75	79	79	76	76	76	78
VIII 耳及び乳様突起の疾患	12	13	13	12	12	12	13
IX 循環器系の疾患	1,263	1,347	1,429	1,527	1,527	1,492	1,496
X 呼吸器系の疾患	665	728	783	850	844	824	840
X I 消化器系の疾患	564	581	597	617	616	603	598
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	85	90	95	99	98	96	97
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	551	581	598	611	610	602	606
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	414	445	467	490	489	481	487
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	175	167	164	158	152	143	130
X VI 周産期に発生した病態	48	42	42	41	40	37	35
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	51	49	47	46	44	42	40
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	72	77	82	89	89	87	87
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,109	1,179	1,248	1,331	1,325	1,291	1,294
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40	43	48	54	53	51	50
X X II 特殊目的用コード	98	109	119	132	131	127	130
総数	8,765	9,207	9,562	9,910	9,849	9,641	9,651

# 県南東部医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	163	6.9%	13.2%	21.2%	20.3%	17.2%	18.0%
II 新生物<腫瘍>	877	3.7%	4.4%	2.3%	2.3%	1.7%	2.4%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	43	9.0%	12.2%	14.4%	13.9%	13.0%	16.9%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	234	8.1%	13.7%	19.5%	18.4%	16.0%	18.1%
V 精神及び行動の障害	1,239	0.7%	1.2%	-0.3%	-1.8%	-4.0%	-6.3%
VI 神経系の疾患	986	6.0%	9.9%	13.2%	12.0%	9.7%	10.8%
VII 眼及び付属器の疾患	75	5.0%	5.4%	1.6%	1.3%	1.2%	3.1%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	12	7.1%	8.2%	3.8%	3.4%	3.7%	6.8%
IX 循環器系の疾患	1,263	6.6%	13.1%	20.9%	20.9%	18.2%	18.5%
X 呼吸器系の疾患	665	9.5%	17.8%	27.8%	27.0%	23.9%	26.4%
X I 消化器系の疾患	564	3.1%	6.0%	9.4%	9.3%	7.1%	6.1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	85	6.3%	11.5%	16.9%	16.0%	13.4%	14.2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	551	5.4%	8.6%	10.9%	10.8%	9.3%	10.1%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	414	7.5%	12.9%	18.5%	18.2%	16.1%	17.7%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	175	-4.5%	-6.2%	-9.7%	-12.8%	-18.0%	-25.5%
X VI 周産期に発生した病態	48	-12.1%	-14.0%	-14.7%	-17.8%	-22.5%	-28.5%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	51	-4.3%	-7.6%	-10.3%	-13.7%	-17.8%	-22.5%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	72	6.0%	13.2%	23.4%	23.3%	19.8%	19.5%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,109	6.4%	12.6%	20.1%	19.5%	16.5%	16.7%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40	6.9%	17.3%	32.8%	31.0%	25.0%	24.1%
X X II 特殊目的用コード	98	11.1%	21.5%	34.6%	33.4%	29.4%	32.2%
総数	8,765	5.1%	9.1%	13.1%	12.4%	10.0%	10.1%

# 県南東部医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

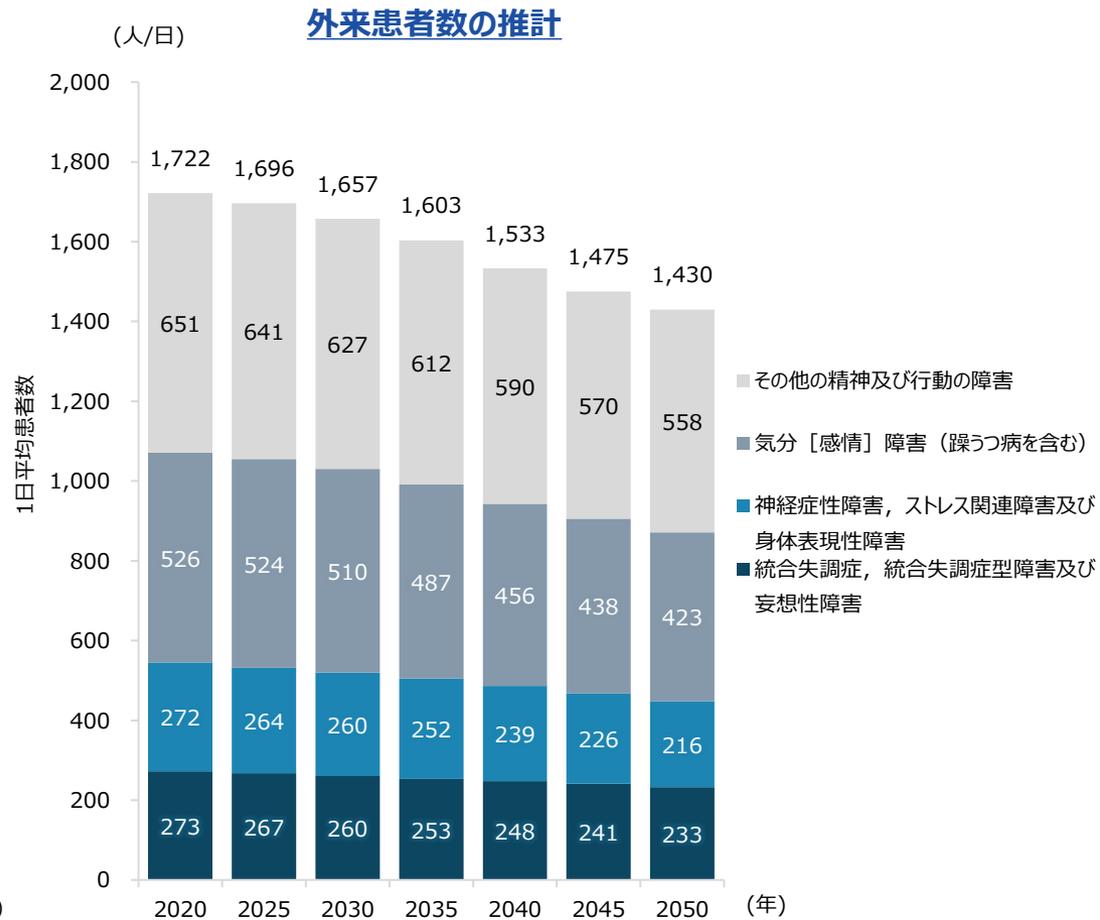
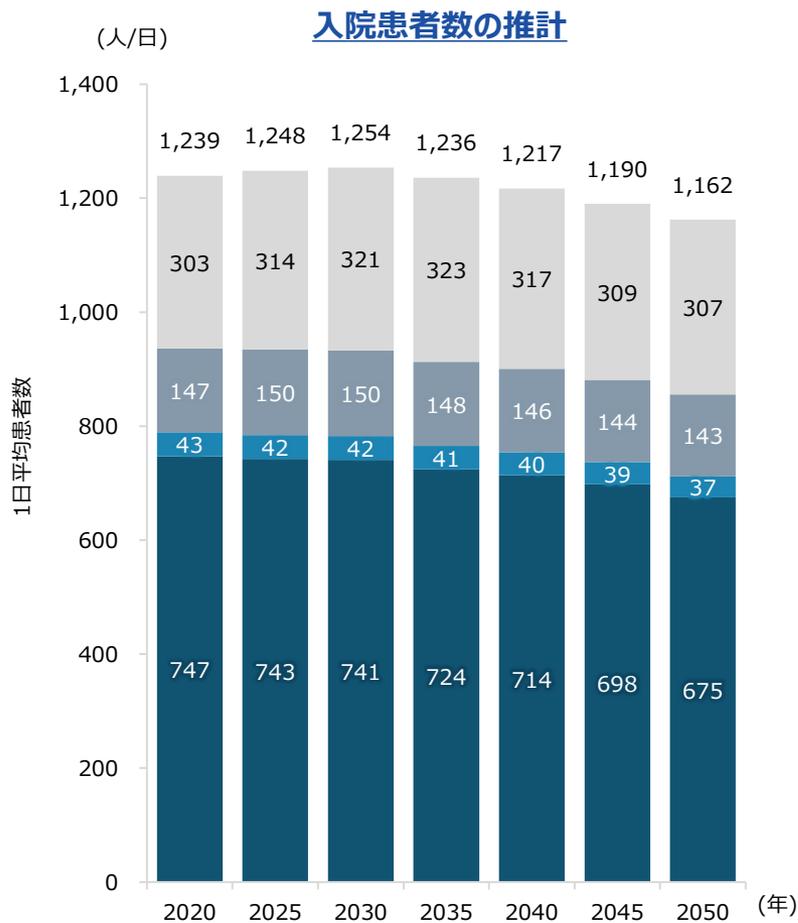
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	977	948	927	904	885	857	823
II 新生物<腫瘍>	1,458	1,490	1,480	1,435	1,425	1,412	1,408
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	143	143	141	133	128	125	124
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,974	3,036	3,042	3,000	3,001	2,969	2,940
V 精神及び行動の障害	1,722	1,696	1,657	1,603	1,532	1,475	1,429
VI 神経系の疾患	1,054	1,085	1,105	1,126	1,109	1,080	1,069
VII 眼及び付属器の疾患	2,549	2,610	2,621	2,579	2,571	2,541	2,532
VIII 耳及び乳様突起の疾患	537	524	507	485	478	469	460
IX 循環器系の疾患	4,917	5,127	5,269	5,352	5,356	5,281	5,272
X 呼吸器系の疾患	4,470	4,219	4,039	3,905	3,793	3,647	3,475
X I 消化器系の疾患	8,397	8,305	8,185	8,002	7,847	7,642	7,404
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,104	2,047	1,993	1,942	1,890	1,829	1,771
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,202	4,318	4,343	4,285	4,285	4,242	4,229
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,779	1,797	1,800	1,780	1,742	1,696	1,663
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	108	104	101	96	90	84	78
X VI 周産期に発生した病態	21	19	18	18	18	17	15
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	96	90	87	84	80	77	72
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	583	577	568	559	552	539	524
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,000	2,948	2,886	2,816	2,721	2,627	2,548
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,693	6,525	6,370	6,211	6,196	6,073	5,880
X X II 特殊目的用コード	230	227	222	213	203	194	186
総数	48,012	47,833	47,359	46,528	45,899	44,875	43,905

# 県南東部医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	977	-3.0%	-5.1%	-7.4%	-9.4%	-12.2%	-15.7%
II 新生物<腫瘍>	1,458	2.2%	1.5%	-1.5%	-2.2%	-3.1%	-3.4%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	143	0.4%	-1.4%	-6.6%	-10.2%	-12.6%	-13.1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,974	2.1%	2.3%	0.9%	0.9%	-0.2%	-1.1%
V 精神及び行動の障害	1,722	-1.5%	-3.8%	-6.9%	-11.0%	-14.4%	-17.0%
VI 神経系の疾患	1,054	2.9%	4.8%	6.8%	5.2%	2.5%	1.4%
VII 眼及び付属器の疾患	2,549	2.4%	2.8%	1.2%	0.9%	-0.3%	-0.7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	537	-2.4%	-5.6%	-9.5%	-10.9%	-12.6%	-14.3%
IX 循環器系の疾患	4,917	4.3%	7.2%	8.9%	8.9%	7.4%	7.2%
X 呼吸器系の疾患	4,470	-5.6%	-9.6%	-12.6%	-15.1%	-18.4%	-22.2%
X I 消化器系の疾患	8,397	-1.1%	-2.5%	-4.7%	-6.5%	-9.0%	-11.8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,104	-2.7%	-5.3%	-7.7%	-10.2%	-13.1%	-15.8%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,202	2.8%	3.4%	2.0%	2.0%	1.0%	0.6%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,779	1.0%	1.2%	0.1%	-2.1%	-4.7%	-6.5%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	108	-4.1%	-6.4%	-10.8%	-16.4%	-22.1%	-27.7%
X VI 周産期に発生した病態	21	-11.9%	-14.4%	-15.6%	-18.5%	-23.0%	-28.8%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	96	-6.4%	-10.1%	-13.3%	-16.8%	-20.6%	-25.4%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	583	-1.0%	-2.7%	-4.1%	-5.3%	-7.5%	-10.1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,000	-1.7%	-3.8%	-6.1%	-9.3%	-12.4%	-15.1%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,693	-2.5%	-4.8%	-7.2%	-7.4%	-9.3%	-12.2%
X X II 特殊目的用コード	230	-1.2%	-3.6%	-7.2%	-11.8%	-15.5%	-19.0%
総数	48,012	-0.4%	-1.4%	-3.1%	-4.4%	-6.5%	-8.6%

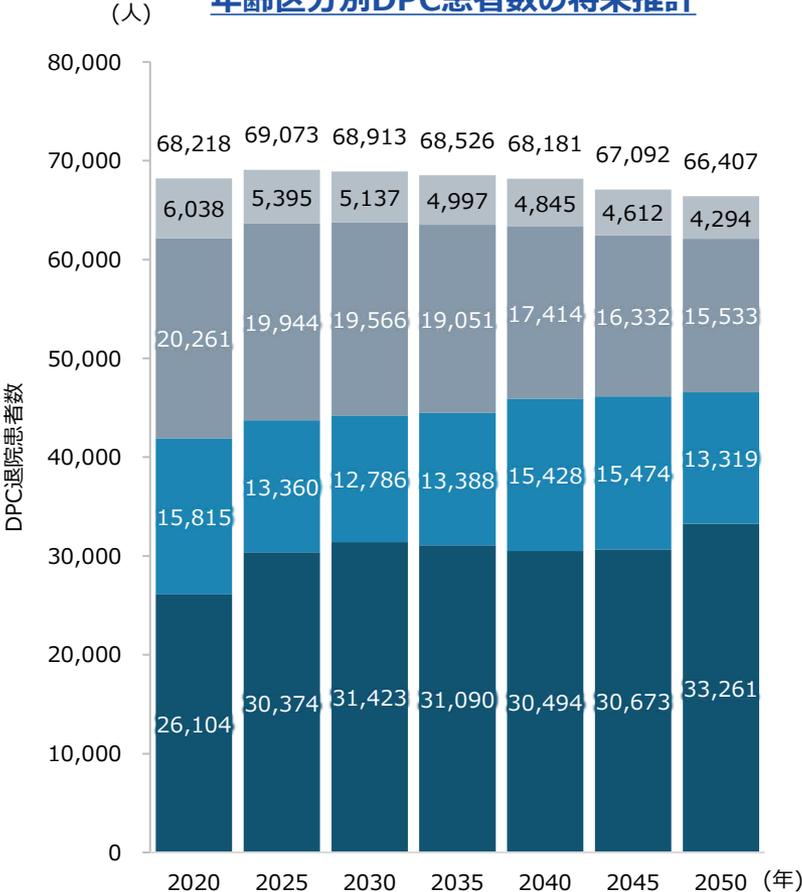
# 県南東部医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



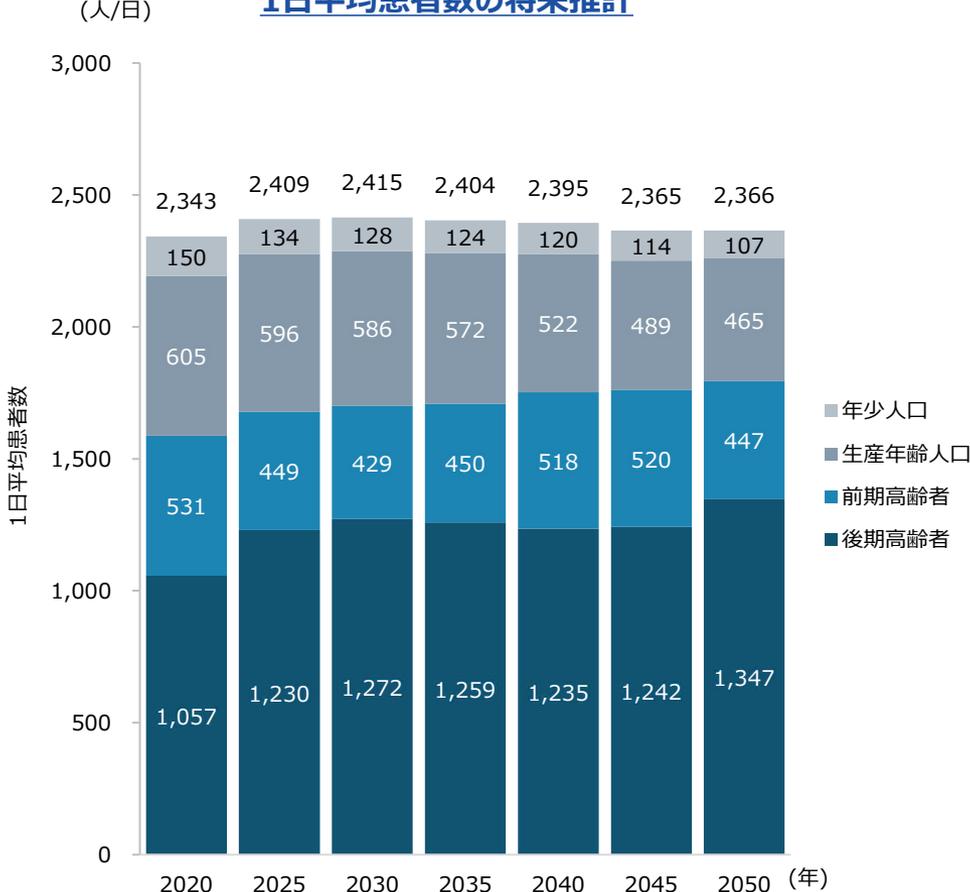
# 県南東部医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。  
 多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にありますが、その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。

**年齢区分別DPC患者数の将来推計**



**1日平均患者数の将来推計**

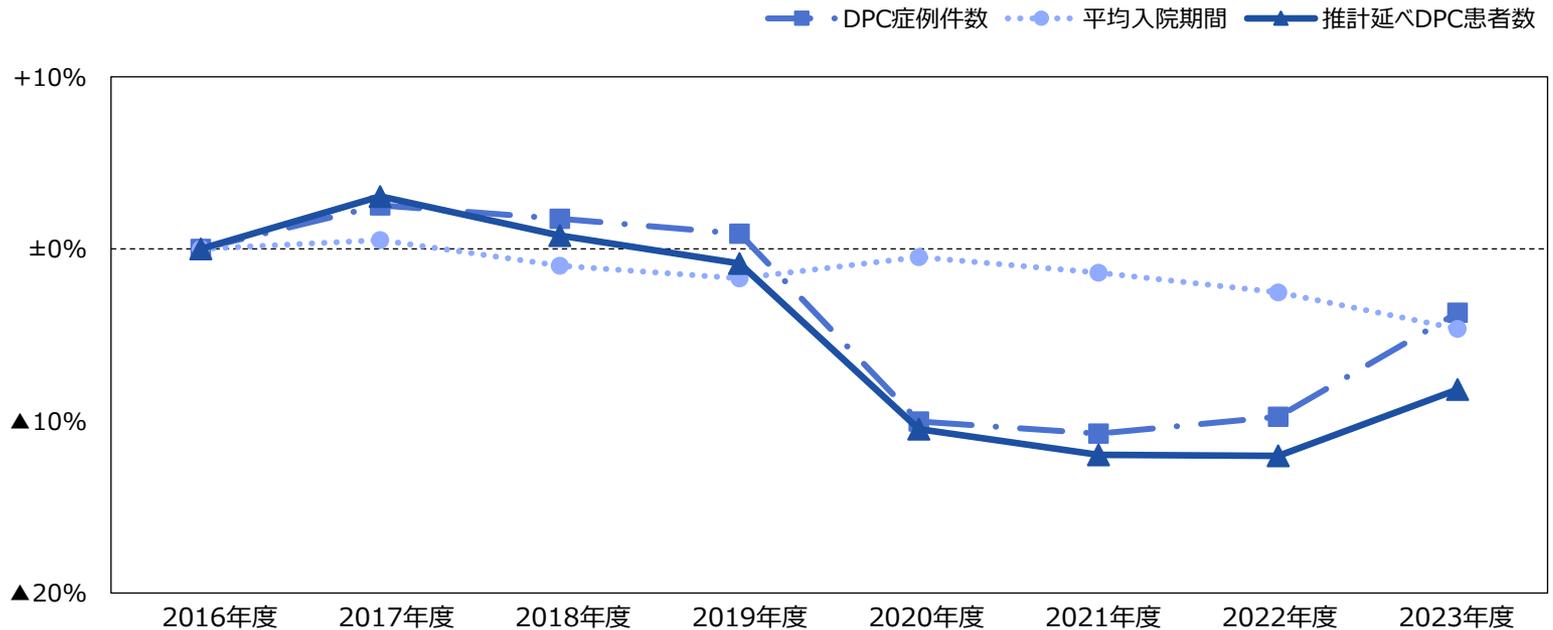


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。  
 1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 参考：県南東部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移 (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



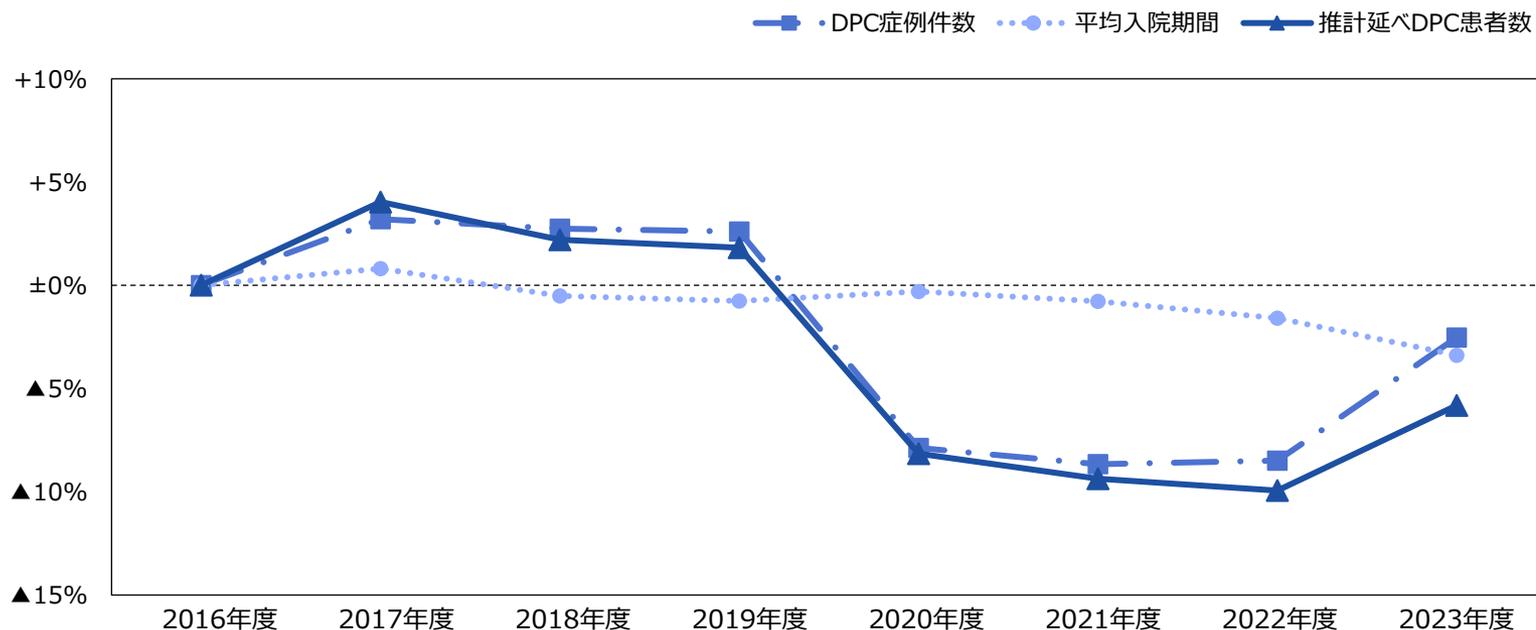
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	15	15	15	15	15	15	15	15
DPC症例件数	94,145	96,525	95,796	94,975	84,693	84,037	84,968	90,661
(2016年比)	-	+2.5%	+1.8%	+0.9%	▲10.0%	▲10.7%	▲9.7%	▲3.7%
平均入院期間	11.9	12.0	11.8	11.7	11.9	11.8	11.6	11.4
(2016年比)	-	+0.5%	▲1.0%	▲1.7%	▲0.5%	▲1.4%	▲2.5%	▲4.6%
推計延べDPC患者数	1,123,271	1,157,534	1,131,872	1,113,664	1,005,632	988,762	988,152	1,031,451
(2016年比)	-	+3.1%	+0.8%	▲0.9%	▲10.5%	▲12.0%	▲12.0%	▲8.2%

# 参考：県南東部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	39	43	51	55	54	56	58	61
DPC症例件数	105,396	108,772	108,278	108,145	97,095	96,264	96,445	102,737
(2016年比)	-	+3.2%	+2.7%	+2.6%	▲7.9%	▲8.7%	▲8.5%	▲2.5%
平均入院期間	12.0	12.1	12.0	11.9	12.0	11.9	11.9	11.6
(2016年比)	-	+0.8%	▲0.5%	▲0.8%	▲0.3%	▲0.8%	▲1.6%	▲3.4%
推計延べDPC患者数	1,269,137	1,320,364	1,297,142	1,292,226	1,165,645	1,150,151	1,142,951	1,195,271
(2016年比)	-	+4.0%	+2.2%	+1.8%	▲8.2%	▲9.4%	▲9.9%	▲5.8%

# 参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

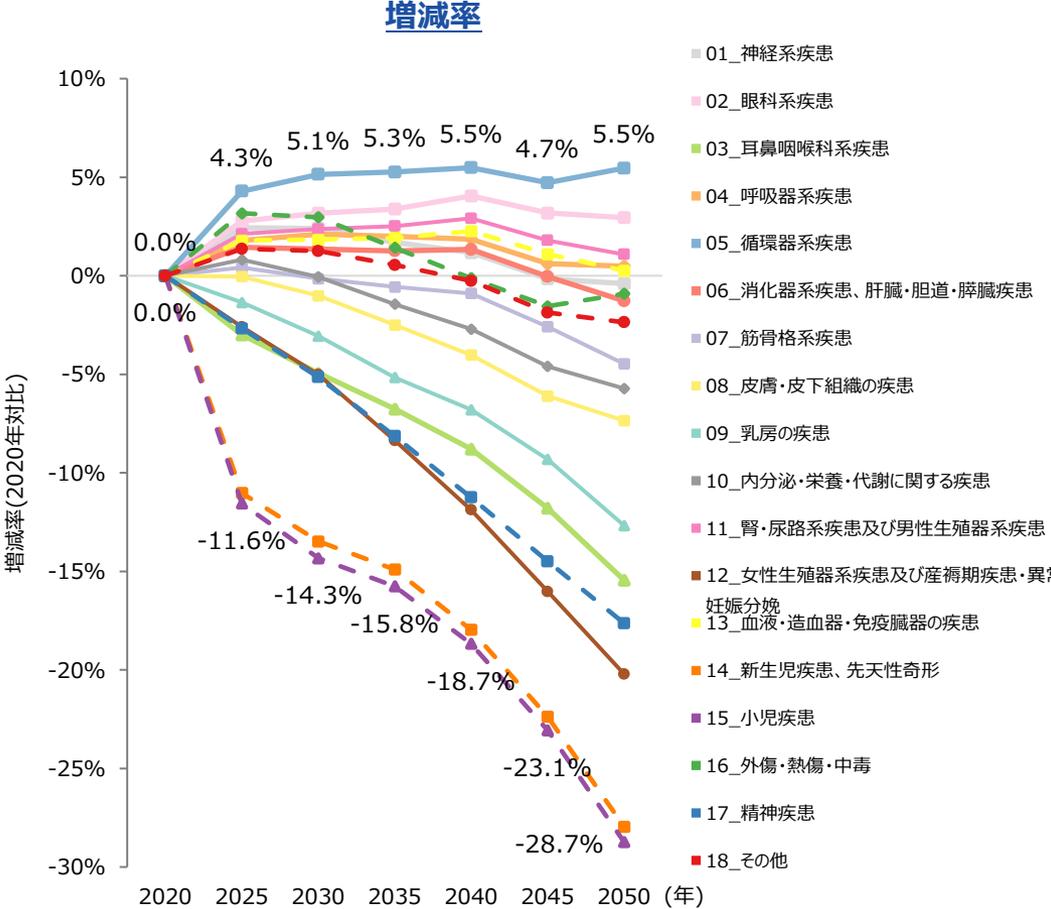
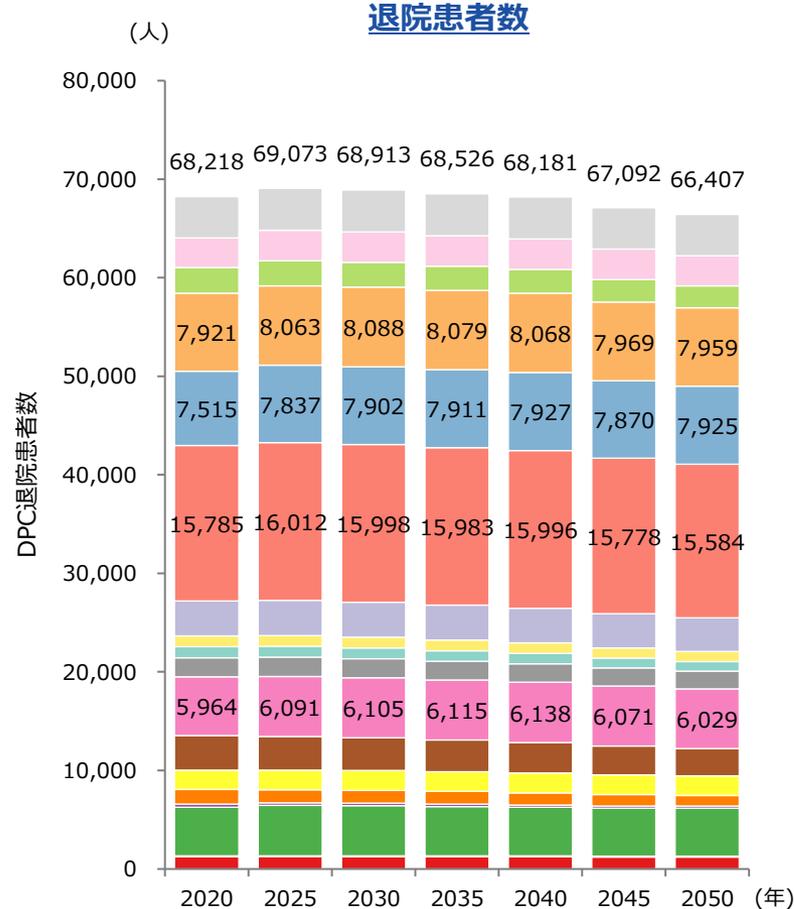
## 参考：県南東部医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	17.16	16.99	16.39	▲1.0%	▲4.5%
02_眼科系	4.07	3.94	4.12	▲3.2%	1.4%
03_耳鼻咽喉系	8.25	7.96	7.52	▲3.5%	▲8.9%
04_呼吸器系	13.61	13.95	13.64	2.4%	0.2%
05_循環器系	10.66	10.83	11.41	1.6%	7.0%
06_消化器系	10.84	10.40	9.74	▲4.1%	▲10.2%
07_筋骨格系	16.01	15.93	14.64	▲0.5%	▲8.6%
08_皮膚・皮下組織	10.19	9.72	9.12	▲4.6%	▲10.5%
09_乳房	7.93	7.79	6.60	▲1.7%	▲16.8%
10_内分泌・栄養・代謝	11.50	11.29	10.90	▲1.7%	▲5.2%
11_腎・尿路系	10.53	10.45	9.65	▲0.8%	▲8.4%
12_女性疾患	9.81	9.02	7.57	▲8.0%	▲22.8%
13_血液系	19.17	20.31	16.64	5.9%	▲13.2%
14_新生児	13.45	12.73	11.23	▲5.4%	▲16.5%
15_小児疾患	6.46	7.24	7.61	12.1%	17.8%
16_外傷・熱傷・中毒	13.72	13.74	14.93	0.1%	8.8%
17_精神疾患	7.07	6.11	6.71	▲13.6%	▲5.1%
18_その他	16.91	16.43	15.80	▲2.8%	▲6.6%
全体	11.93	11.94	11.56	0.0%	▲3.2%

# 県南東部医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

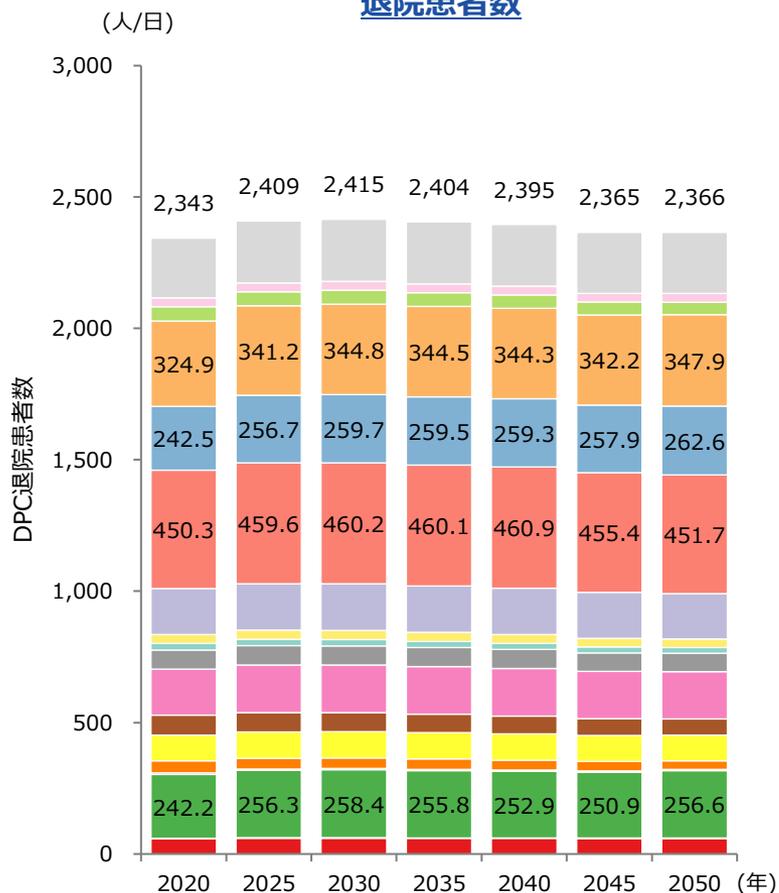
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。  
 多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。



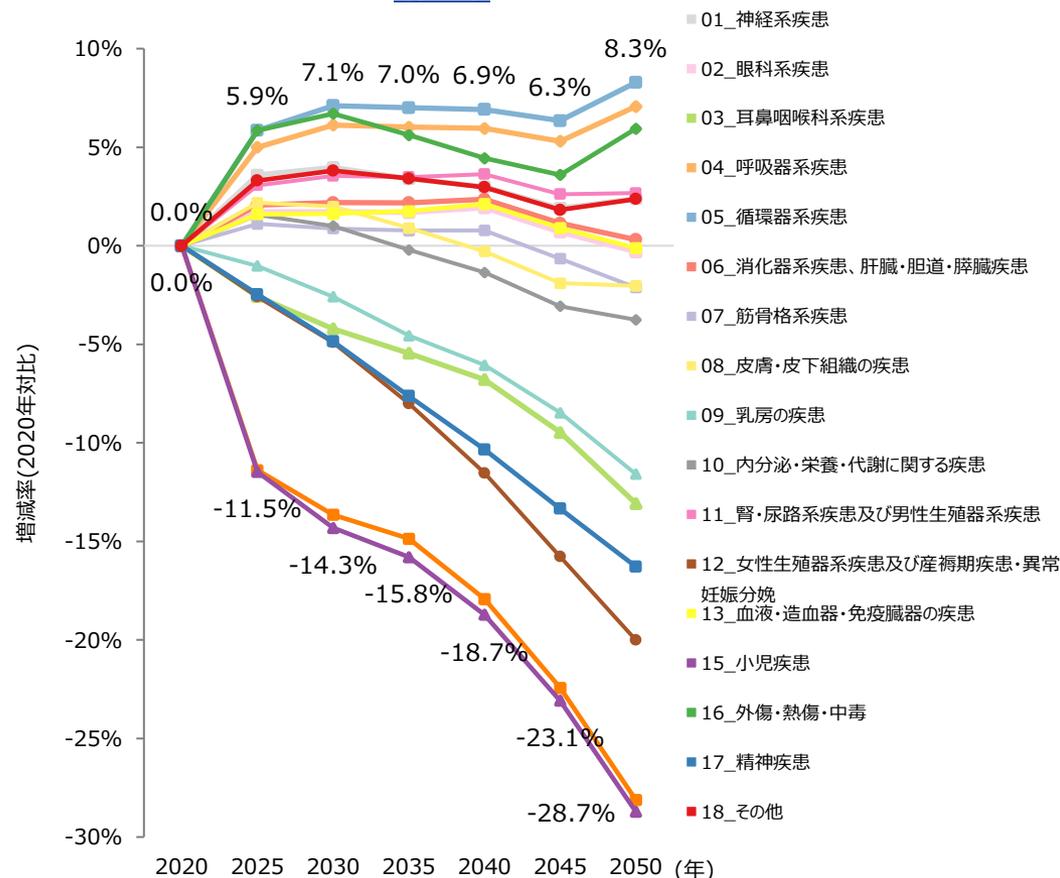
# 県南東部医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。

### 退院患者数



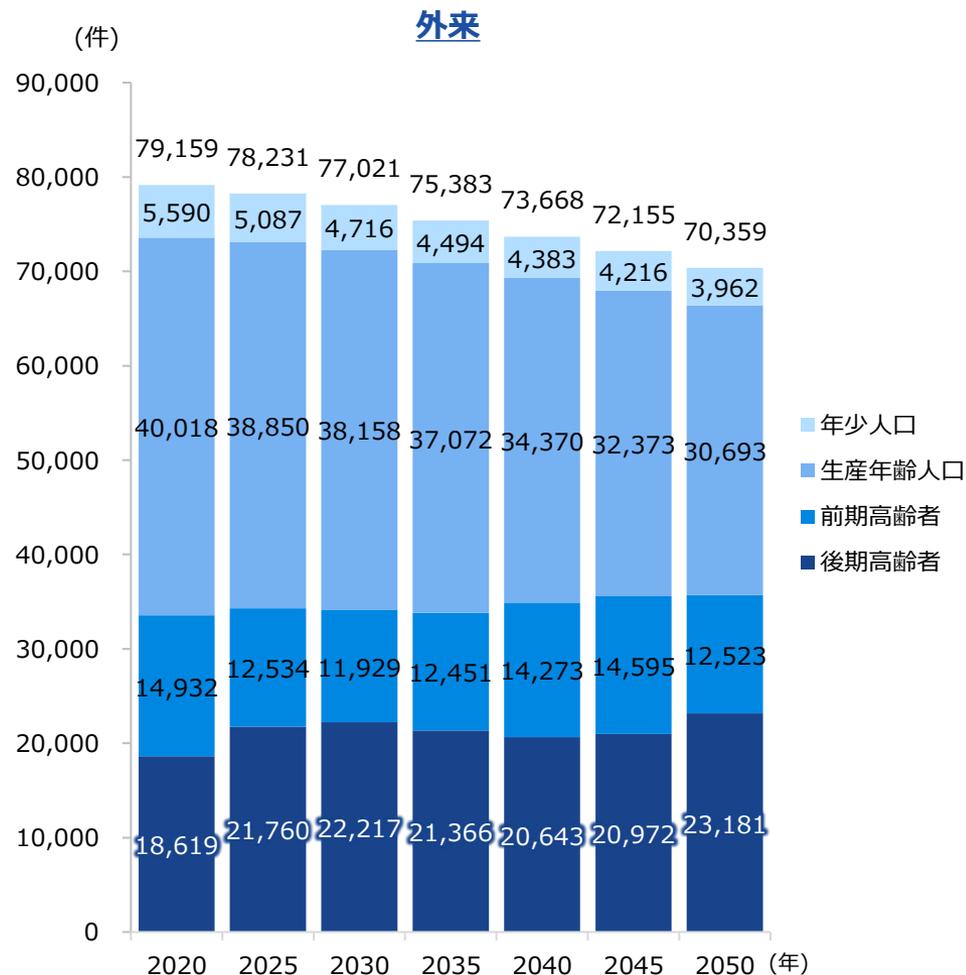
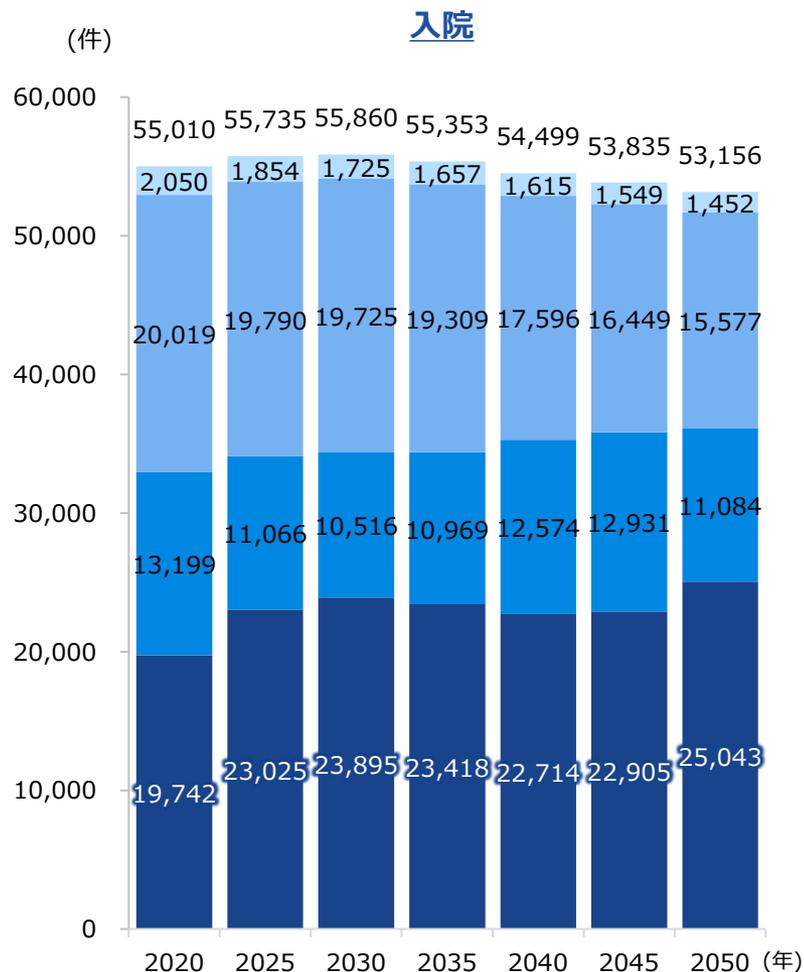
### 増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 県南東部医療圏 | 手術件数の推計

年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。

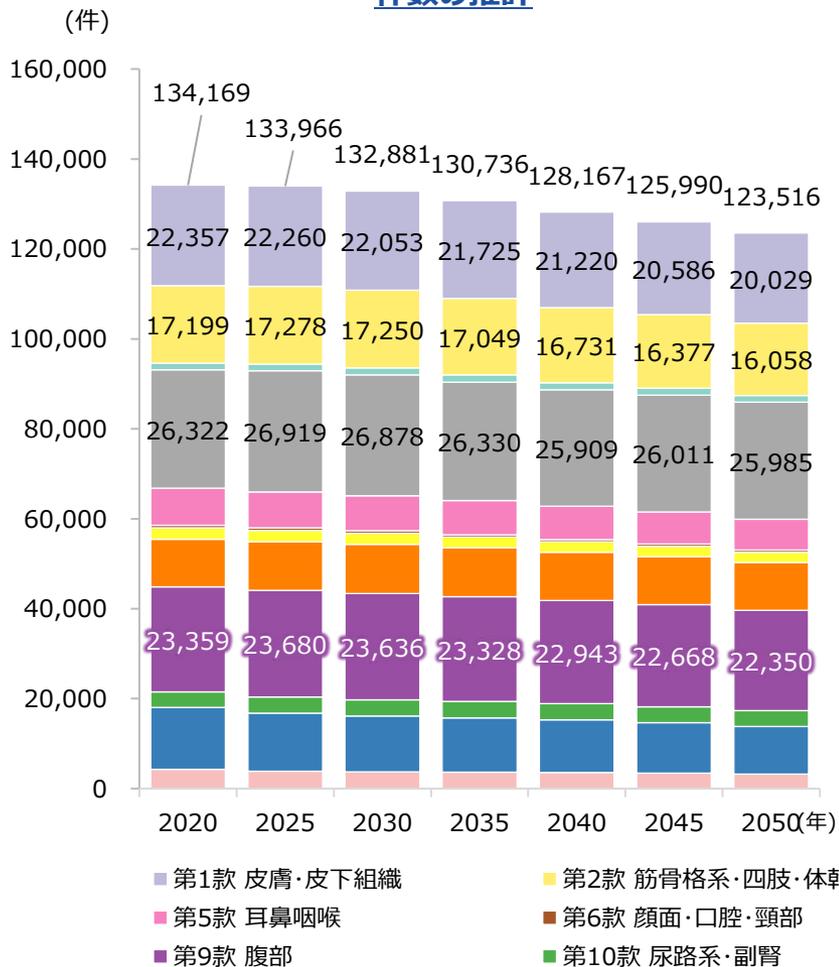


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

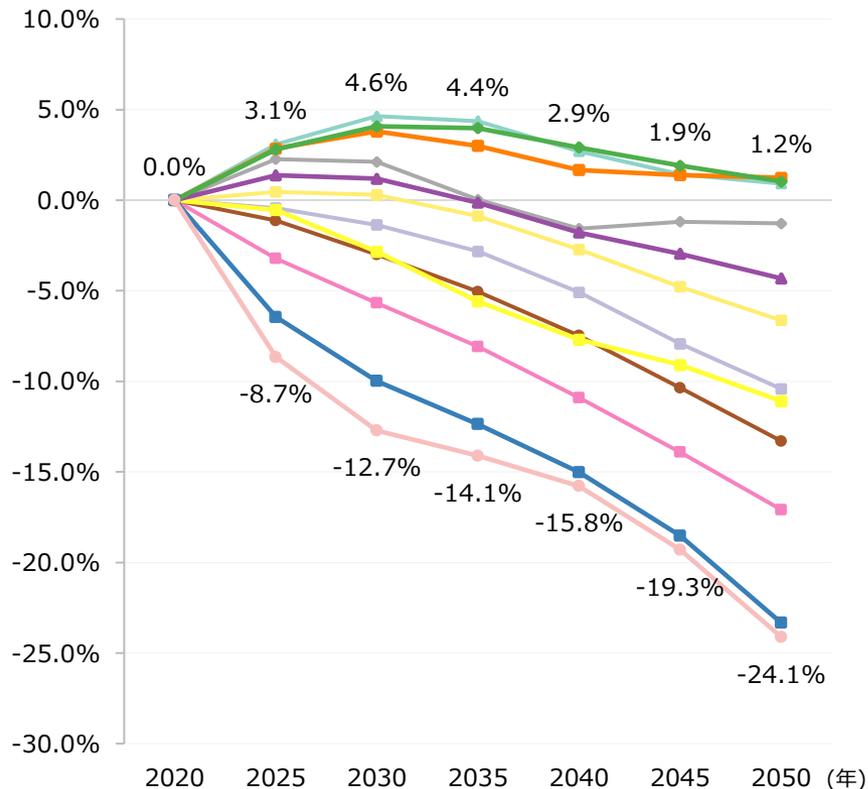
# 県南東部医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。

### 件数の推計



### 増減率

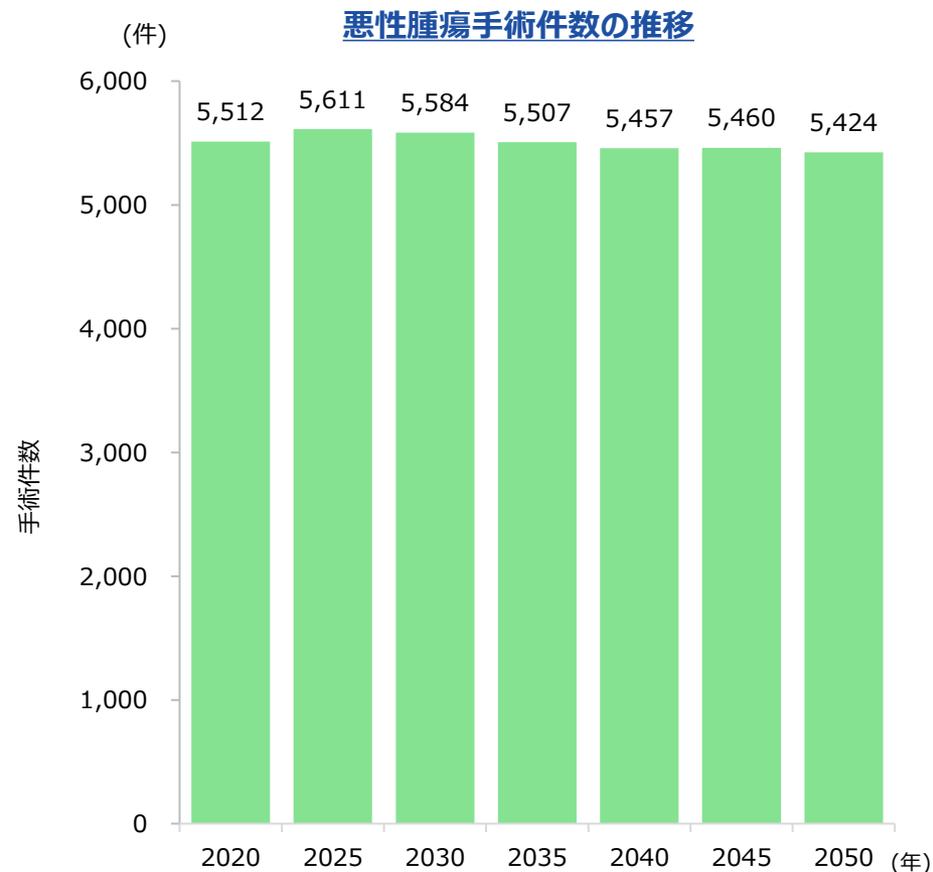
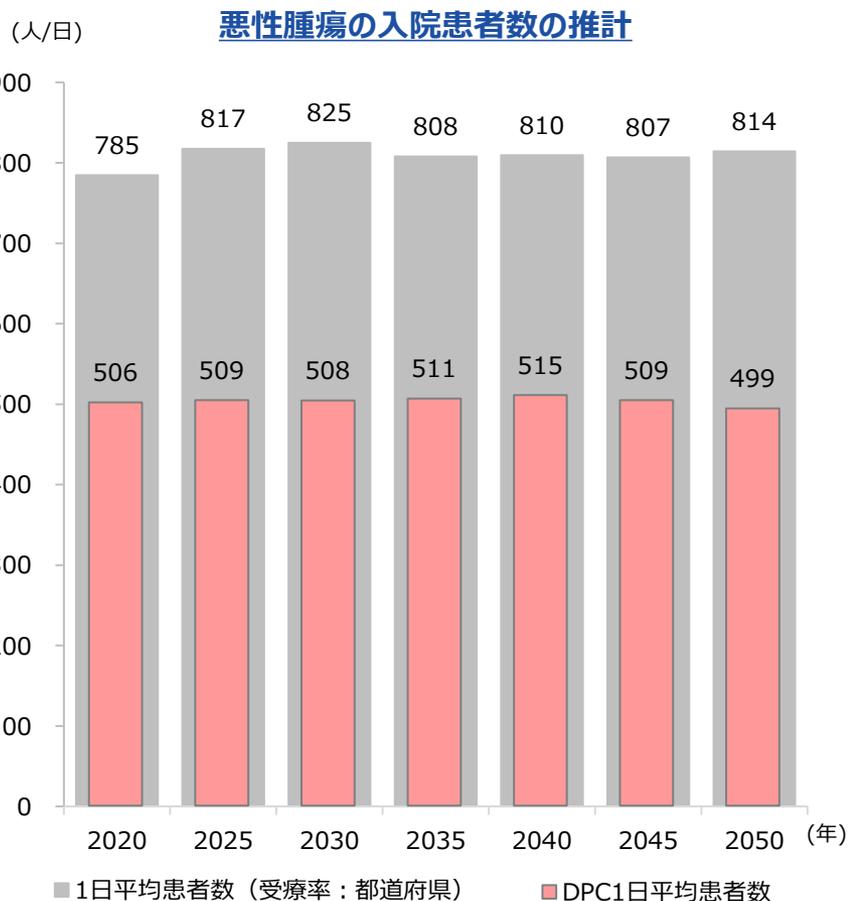


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 県南東部医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

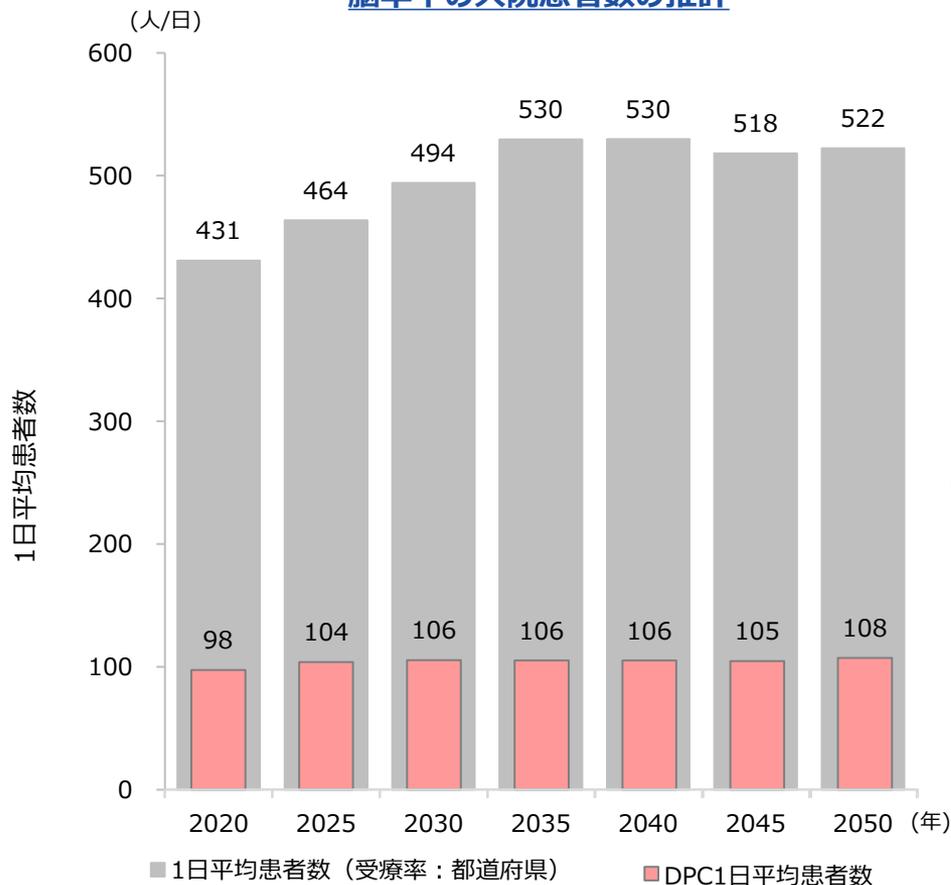
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 県南東部医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 脳卒中の入院患者数の推計



### 脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

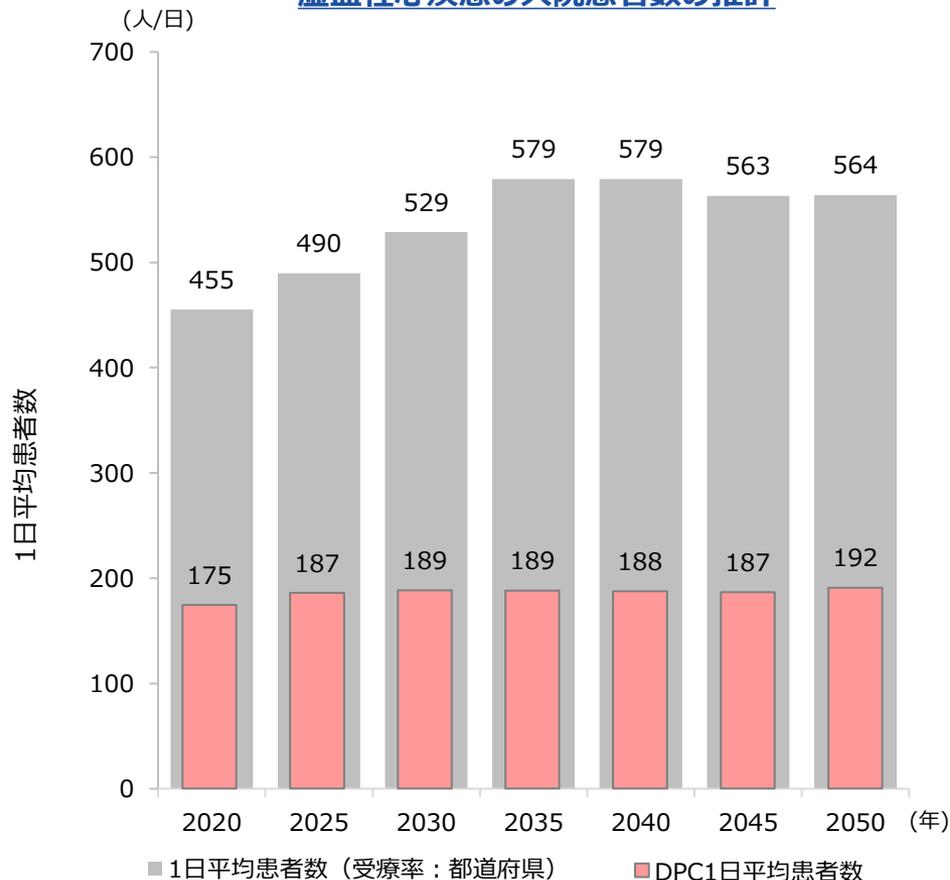
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 県南東部医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 虚血性心疾患の入院患者数の推計



### 心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

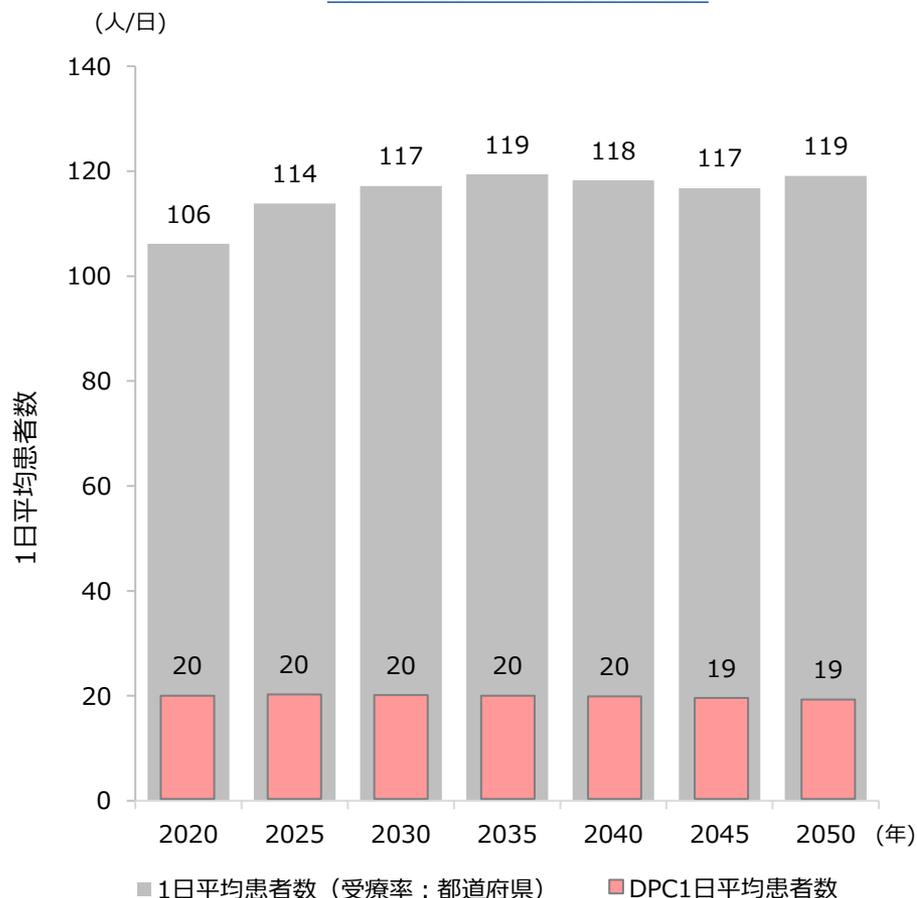
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

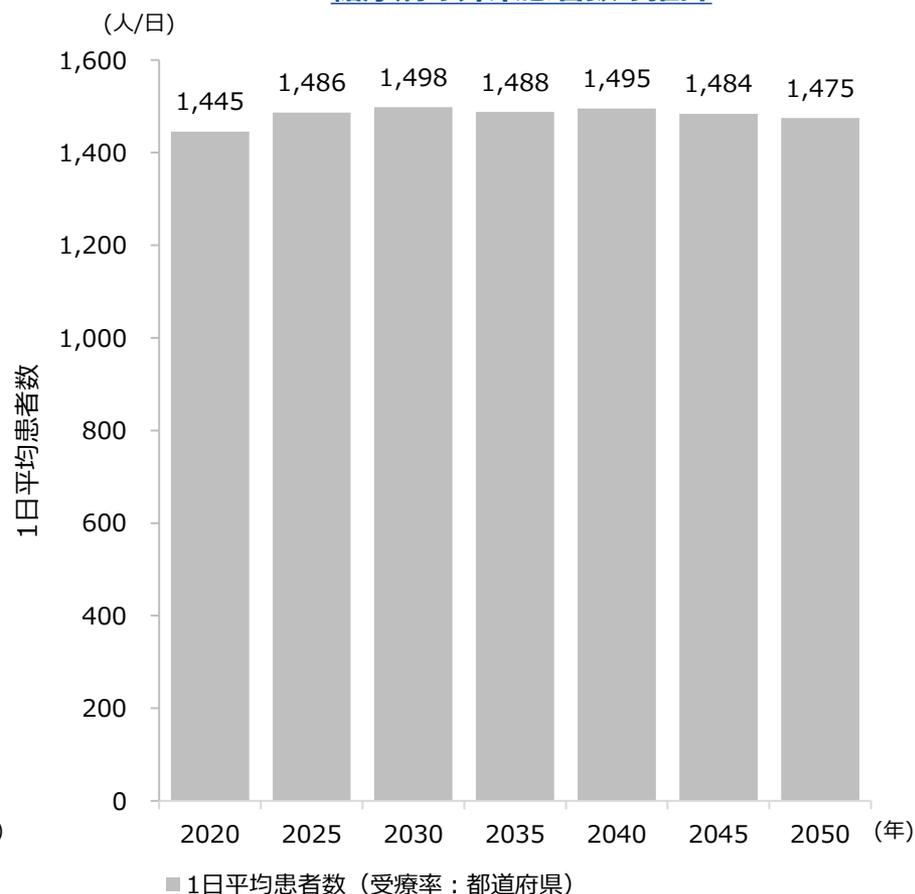
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 県南東部医療圏 | 疾患別患者数の推計：糖尿病

## 糖尿病の入院患者数の推計



## 糖尿病の外来患者数の推計



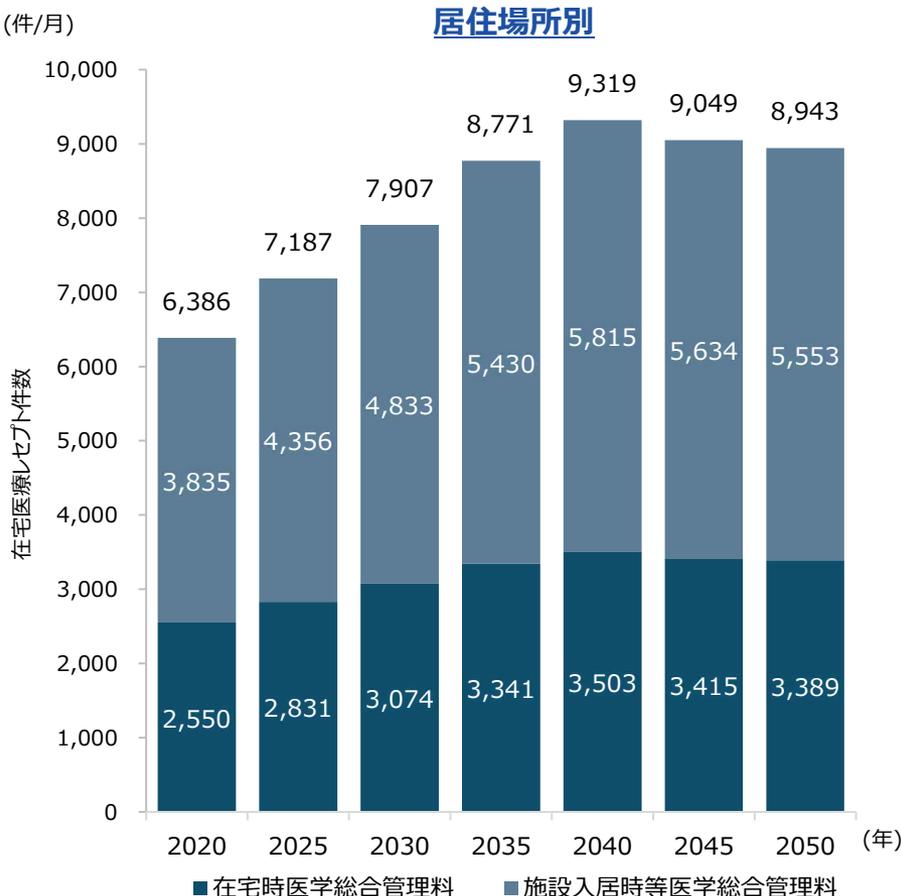
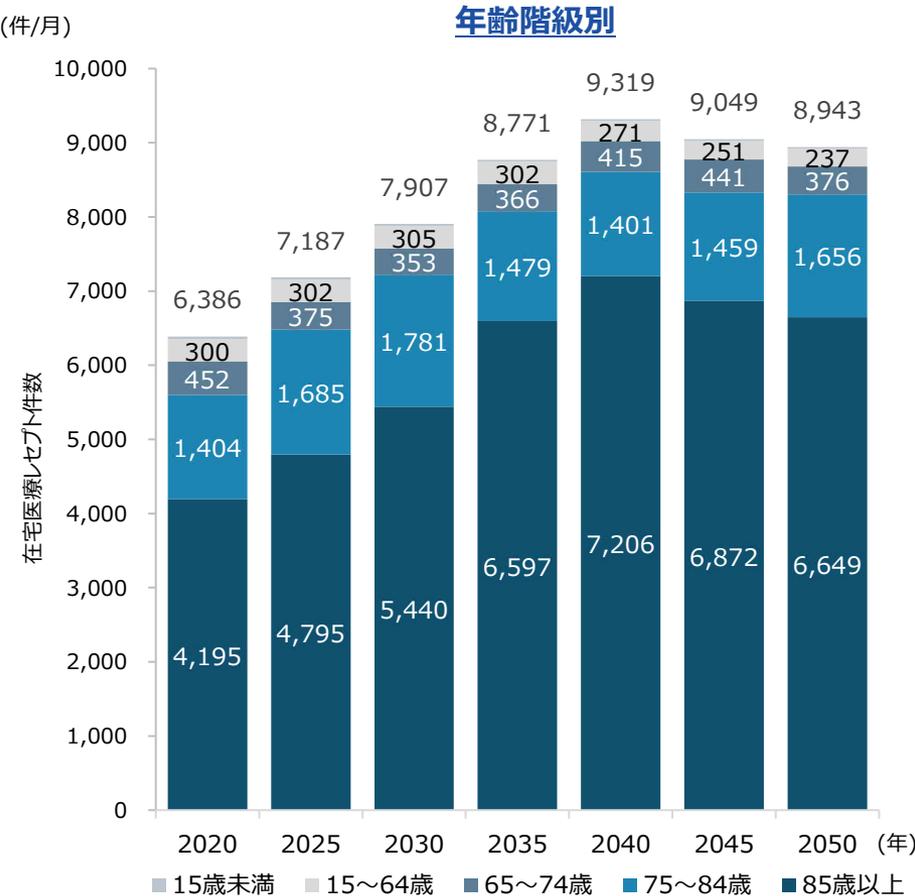
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 県南東部医療圏 | 在宅医療患者数の推計

全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。  
月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。

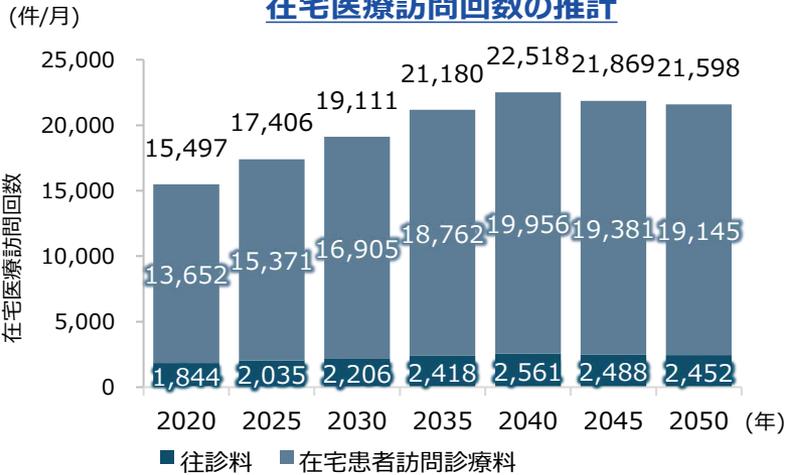


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 県南東部医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。  
 多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

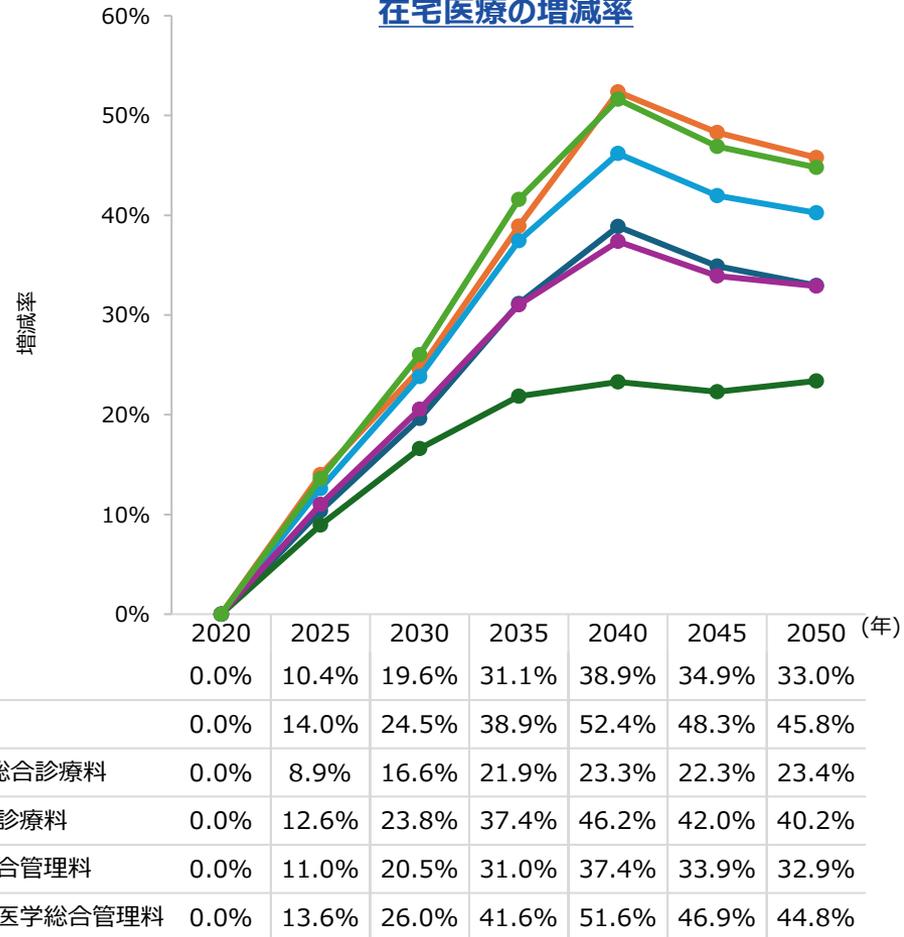
### 在宅医療訪問回数の推計



### 看取り件数の推計



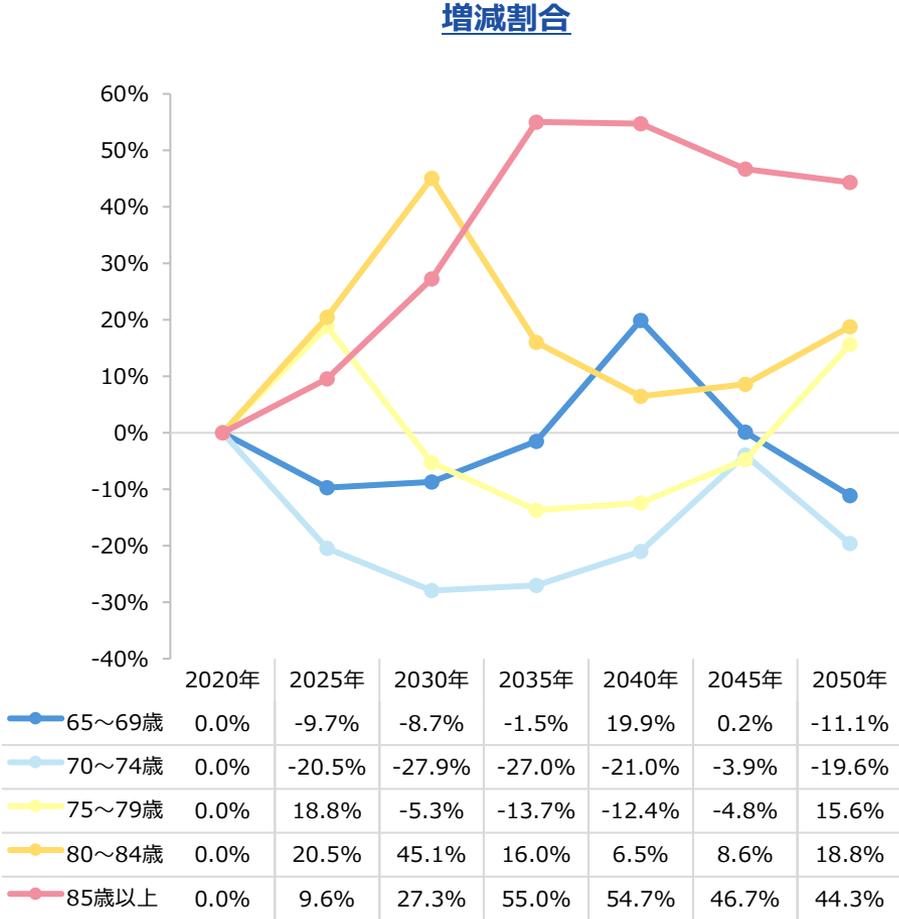
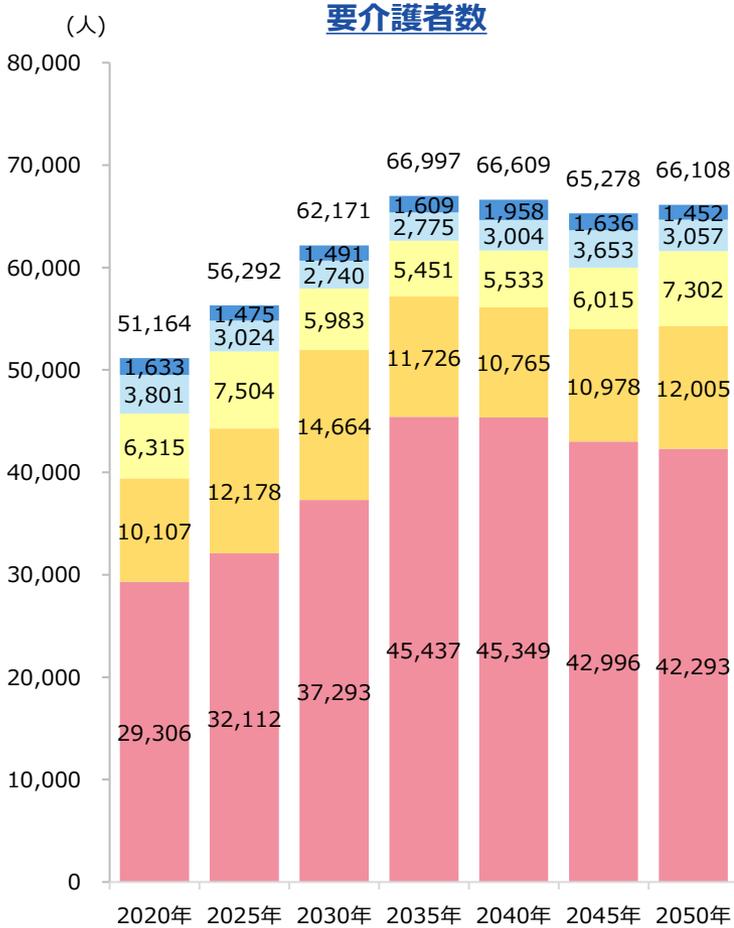
### 在宅医療の増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 県南東部医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)  
 多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。

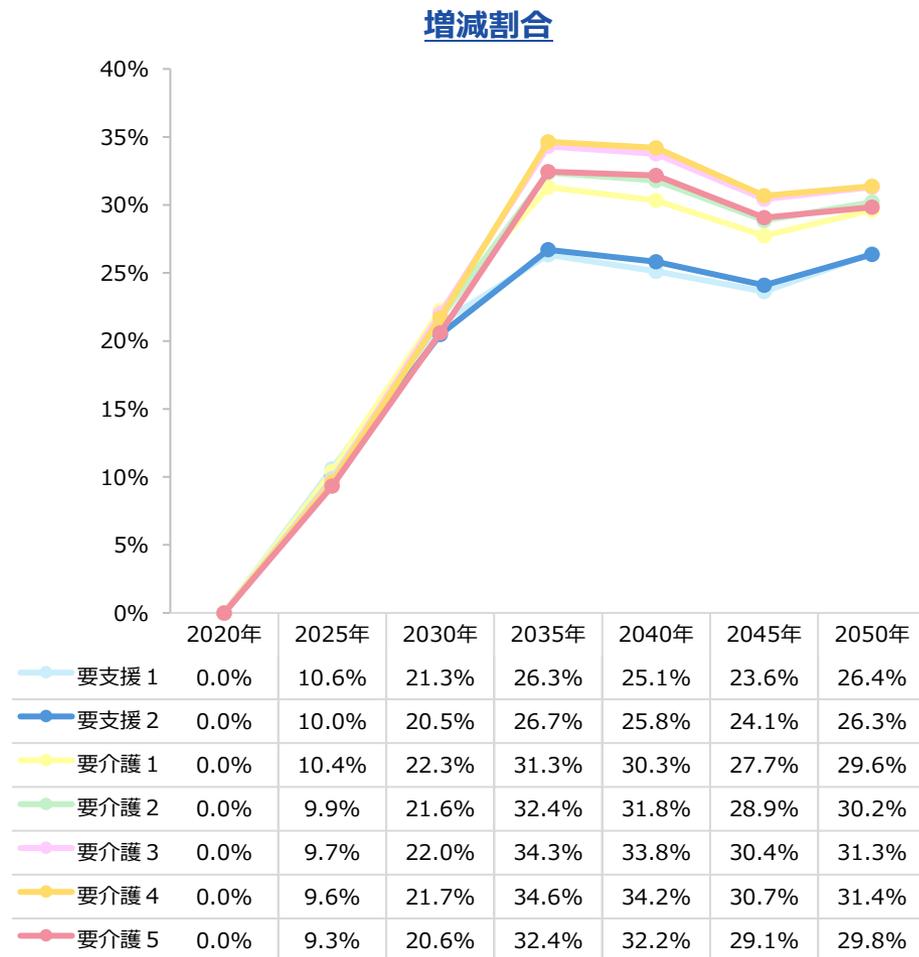
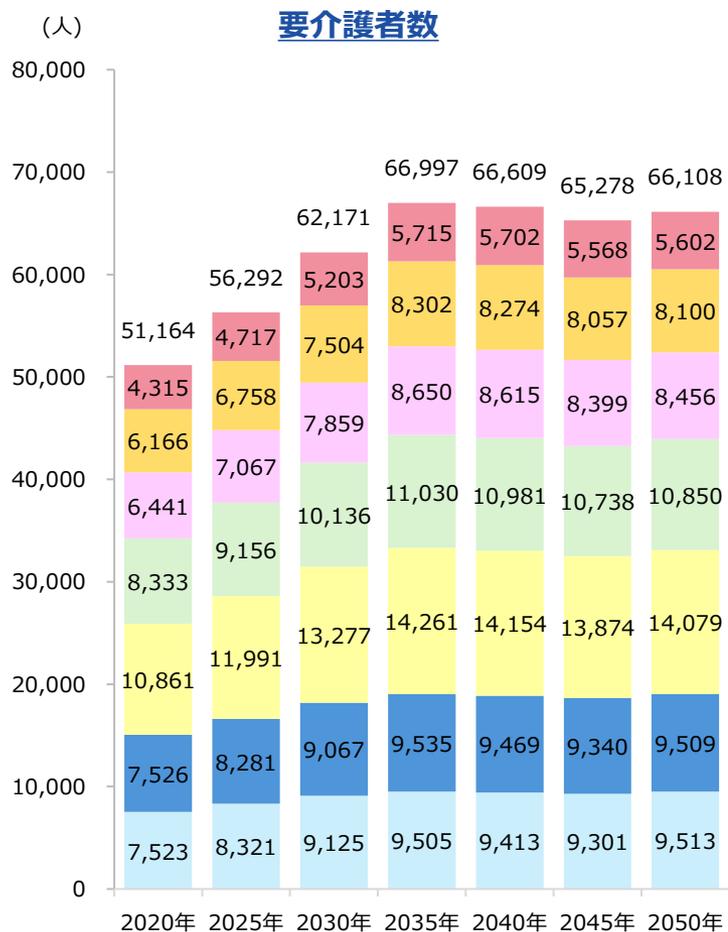


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および  
 「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 県南東部医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。（介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります）

要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

## 4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

---

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

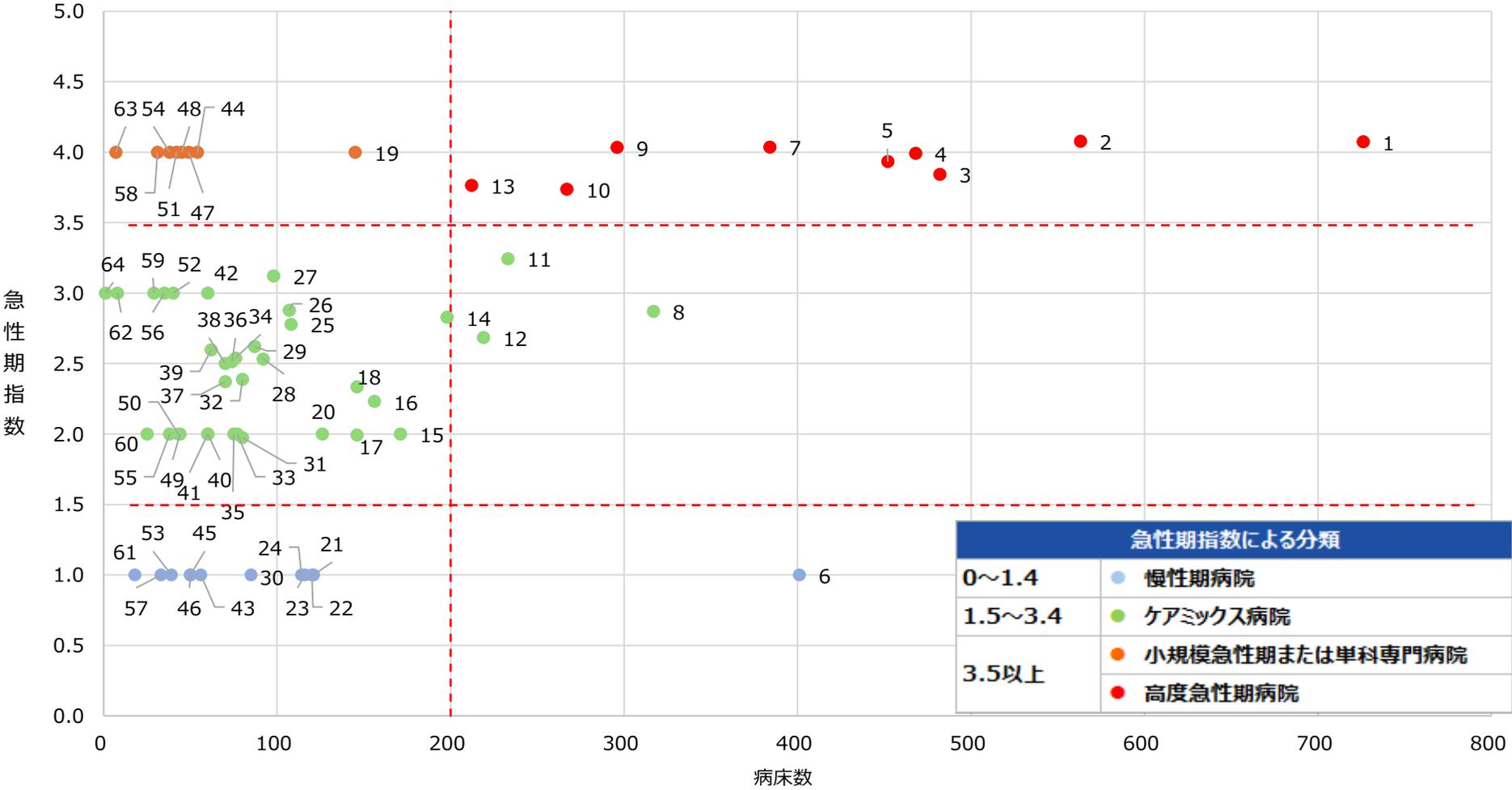
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。  
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

# 県南東部医療圏 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



※休棟中等は除く  
 ※図表中の数字は、医療機関一覧表のNo.と対応しています

# 県南東部医療圏 | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	岡山大学病院	726	4.1
2	NHO岡山医療センター	563	4.1
3	川崎医科大学総合医療センター	482	3.8
4	岡山赤十字病院	468	4.0
5	岡山済生会総合病院	452	3.9
6	旭川荘療育・医療センター	401	1.0
7	岡山市立市民病院	384	4.0
8	岡山協立病院	317	2.9
9	岡山労災病院	296	4.0
10	心臓病センター榊原病院	267	3.7
11	岡山中央病院	233	3.2
12	赤磐医師会病院	219	2.7
13	岡山旭東病院	212	3.8
14	光生病院	198	2.8
15	岡山博愛会病院	171	2.0
16	重井医学研究所附属病院	156	2.2
17	岡村一心堂病院	146	2.0
18	玉野市民病院	146	2.3
19	岡山西大寺病院	145	4.0
20	岡山リハビリテーション病院	126	2.0
21	長島病院	121	1.0
22	岡山東中央病院	120	1.0
23	岡山西大寺病院附属中野分院	116	1.0
24	瀬戸内記念病院	114	1.0
25	竜操整形外科病院	108	2.8

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	107	2.9
27	藤田病院	98	3.1
28	玉野三井病院	92	2.5
29	佐藤病院	87	2.6
30	吉備高原医療リハビリテーションセンター	85	1.0
31	岡山赤十字玉野病院	80	2.0
32	備前市国民健康保険市立日生病院	80	2.4
33	岡山済生会外来センター病院	77	2.0
34	備前市国民健康保険市立備前病院	76	2.5
35	済生会 吉備病院	75	2.0
36	北川病院	74	2.5
37	岡山県健康づくり財団附属病院	70	2.4
38	川崎医科大学高齢者医療センター	70	2.5
39	平病院	62	2.6
40	岡山市立せのお病院	60	2.0
41	セントラルシティ病院	60	2.0
42	岡山水清会病院	60	3.0
43	洋友会 中島病院	56	1.0
44	宮本整形外科病院	54	4.0
45	同仁病院	50	1.0
46	岡山療護センター	50	1.0
47	備前市国民健康保険市立吉永病院	49	4.0
48	中谷外科病院	45	4.0
49	岡山光南病院	44	2.0
50	大西病院	43	2.0

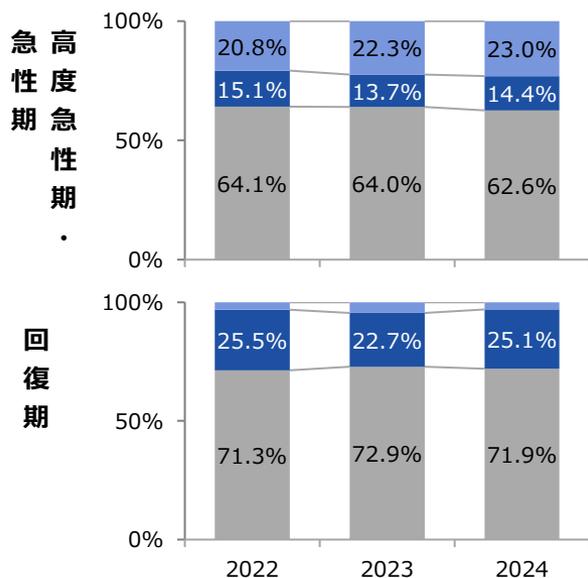
No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
51	草加病院	42	4.0
52	岡山記念病院	40	3.0
53	林病院	39	1.0
54	国民健康保険福渡病院	38	4.0
55	岡山東部脳神経外科病院	38	2.0
56	幸町記念病院	35	3.0
57	玉野中央病院	33	1.0
58	おおもと病院	31	4.0
59	由良病院	29	3.0
60	岡山市立金川病院	25	2.0
61	喜多村病院	18	1.0
62	産科婦人科 浮田病院	8	3.0
63	丹羽病院	7	4.0
64	国立療養所 邑久光明園	1	3.0

# 県南東部医療圏 | 入退棟経路の傾向

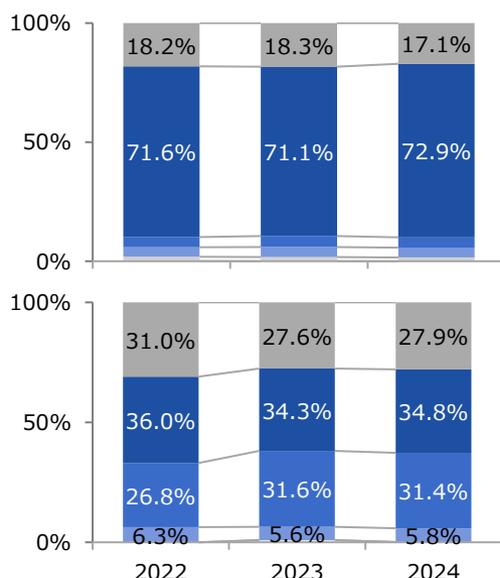
当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。

「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

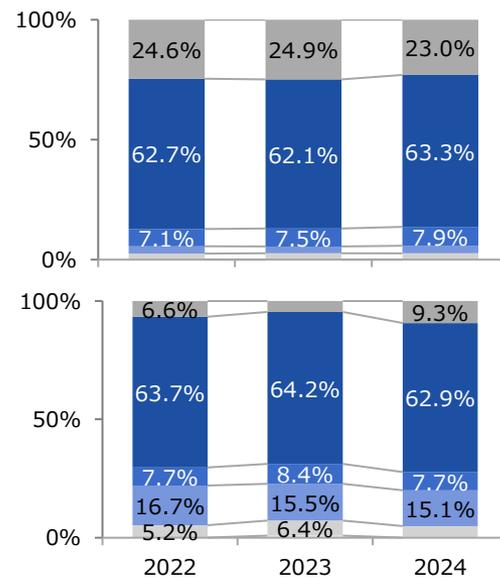
### 入棟時の状況の変化



### 入棟経路の変化



### 退棟先の変化



- 救急医療入院の予定外入院患者
- 救急医療入院以外の予定外入院患者
- 予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者

- 院内の他病棟からの転棟
- 家庭からの入院
- 他の病院、診療所からの転院
- 介護・福祉施設、介護医療院からの入院
- 院内の出生
- その他入院経路

- 院内の他病棟へ転棟
- 家庭へ退院
- 他の病院、診療所へ転院
- 介護老人保健・福祉施設、介護医療院、有料老人ホーム等へ入所
- 終了（死亡退院等）
- その他

# 県南東部医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

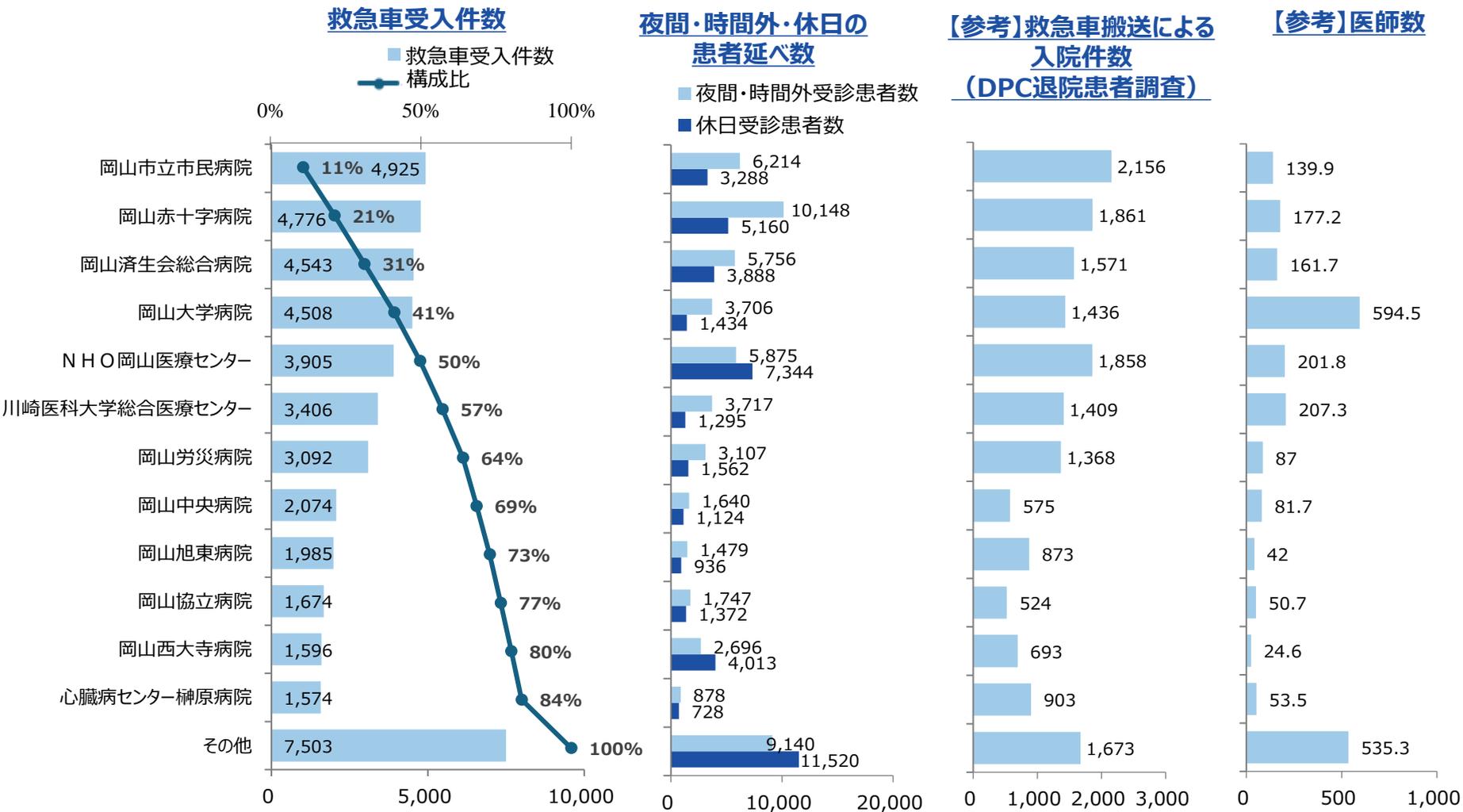
No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	岡山大学病院	岡山市北区	国立病院	三次救急	594.5	285	47.9%	1031.9	12	5	17
2	川崎医科大学総合医療センター	岡山市北区	その他	二次救急	207.3	194	93.6%	546.0	4	2	9
3	NHO岡山医療センター	岡山市北区	国立病院	二次救急	201.8	114	56.5%	666.2	2	2	7
4	岡山赤十字病院	岡山市北区	公的医療機関	三次救急	177.2	173	97.6%	633.6	3	2	6
5	岡山済生会総合病院	岡山市北区	公的医療機関	二次救急	161.7	155	95.9%	533.6	5	1	6
6	岡山市立市民病院	岡山市北区	公的医療機関	二次救急	139.9	115	82.2%	446.1	2	2	3
7	岡山労災病院	岡山市南区	国立病院	二次救急	87.0	83	95.4%	307.1	2	2	4
8	岡山中央病院	岡山市北区	医療法人	二次救急	81.7	37	45.3%	189.2	2	1	4
9	心臓病センター榑原病院	岡山市北区	医療法人	二次救急	53.5	51	95.3%	314.9	2	1	9
10	岡山協立病院	岡山市中区	その他	二次救急	50.7	40	78.9%	295.4	1	1	2
11	岡山旭東病院	岡山市中区	その他	二次救急	42.0	36	85.7%	204.0	1	4	5
12	平病院	和気町	医療法人	二次救急	28.0	4	14.3%	40.6	1	0	0
13	岡村一心堂病院	岡山市東区	医療法人	二次救急	26.4	18	68.2%	108.7	1	1	3
14	光生病院	岡山市北区	その他	二次救急	25.4	13	51.2%	163.9	1	1	1
15	岡山西大寺病院	岡山市東区	医療法人	二次救急	24.6	13	52.8%	93.7	2	1	1
16	赤磐医師会病院	赤磐市	その他	二次救急	23.0	16	69.6%	127.2	1	1	2
17	重井医学研究所附属病院	岡山市南区	その他	二次救急	21.6	15	69.4%	193.4	1	0	1
18	玉野市民病院	玉野市	公的医療機関	二次救急	15.1	9	59.6%	90.8	1	1	1
19	岡山博愛会病院	岡山市中区	その他	二次救急	15.0	14	93.3%	114.2	1	0	0
20	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	瀬戸内市	公的医療機関	二次救急	13.8	9	65.2%	74.9	1	1	1
21	竜操整形外科病院	岡山市中区	医療法人	二次救急	13.0	11	84.6%	83.1	1	1	0
22	玉野三井病院	玉野市	公的医療機関	二次救急	12.2	7	57.4%	57.8	1	1	1
23	備前市国民健康保険市立吉永病院	備前市	公的医療機関	二次救急	10.8	6	55.6%	41.0	1	1	1
24	淳風会ロングライフホスピタル	岡山市北区	その他	二次救急	10.4	1	9.6%	37.5	0	0	0
25	藤田病院	岡山市東区	医療法人	二次救急	10.1	7	69.3%	56.8	1	1	2

# 県南東部医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要②

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
26	佐藤病院	岡山市南区	医療法人	二次救急	9.7	6	61.9%	47.4	1	0	0
27	北川病院	和気町	医療法人	二次救急	9.1	6	65.9%	41.8	1	1	0
28	おおもと病院	岡山市北区	医療法人	二次救急	7.8	6	76.9%	40.1	1	0	2
29	岡山里ハビリテーション病院	岡山市中区	その他	二次救急	7.6	7	92.1%	63.7	1	0	0
30	セントラルシティ病院	岡山市南区	その他	二次救急	6.5	5	76.9%	37.3	1	0	0
31	岡山東部脳神経外科病院	岡山市北区	医療法人	二次救急	5.7	2	35.1%	27.8	1	2	1
32	国民健康保険福渡病院	岡山市北区	公的医療機関	二次救急	5.6	2	35.7%	24.3	1	0	0
33	中谷外科病院	玉野市	医療法人	二次救急	5.3	2	37.7%	21.0	1	0	0
34	岡山記念病院	岡山市北区	その他	二次救急	5.3	1	18.9%	18.7	1	0	0
35	備前市国民健康保険市立備前病院	備前市	公的医療機関	二次救急	5.0	5	100.0%	46.2	1	1	0
36	備前市国民健康保険市立日生病院	備前市	公的医療機関	二次救急	4.9	3	61.2%	37.5	1	1	0
37	大西病院	玉野市	医療法人	二次救急	4.2	3	71.4%	23.1	1	0	0
38	岡山赤十字玉野病院	玉野市	公的医療機関	二次救急	4.0	3	75.0%	38.5	1	0	0
39	岡山市立せのお病院	岡山市南区	公的医療機関	二次救急	4.0	4	100.0%	37.5	1	1	0
40	岡山市立金川病院	岡山市北区	国立病院	二次救急	2.9	2	69.0%	19.0	1	0	0
41	玉野中央病院	玉野市	医療法人	二次救急	2.0	2	100.0%	14.5	0	0	0

## 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）

# 県南東部区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。  
 他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流出入率			
	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
岡山県 県南東部	916,760	1,899	地方都市A	有	30	45,561	99,767	2,357	8,429	19.3	42.3	5.4	11.8	53,974	25,366	1,463	9.1%
新潟県 新潟	887,561	2,224	地方都市A	有	27	42,823	69,866	1,626	7,110	26.3	43.0	6.0	9.8	38,744	17,341	1,370	7.9%
石川県 石川中央	729,320	1,433	地方都市A	有	25	32,393	70,463	1,839	6,992	17.6	38.3	4.6	10.1	43,916	19,662	1,534	13.1%
熊本県 熊本・上益城	820,860	1,174	地方都市A	有	30	51,446	135,365	2,371	9,439	21.7	57.1	5.5	14.3	66,564	28,632	2,213	15.1%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成  
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）  
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化（令和6年度）」（厚生労働省）  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）  
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」  
 「令和2年国勢調査」（総務省統計局）  
 「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」（総務省統計局）2020年度

**地域区分類型**  
 大都市型：人口が100万人以上（又は）人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上  
 地方都市A型：人口が20万人以上  
 地方都市B型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>以上  
 過疎地域A型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>未満  
 過疎地域B型：人口が5～10万人  
 過疎地域C型：人口が5万人未満

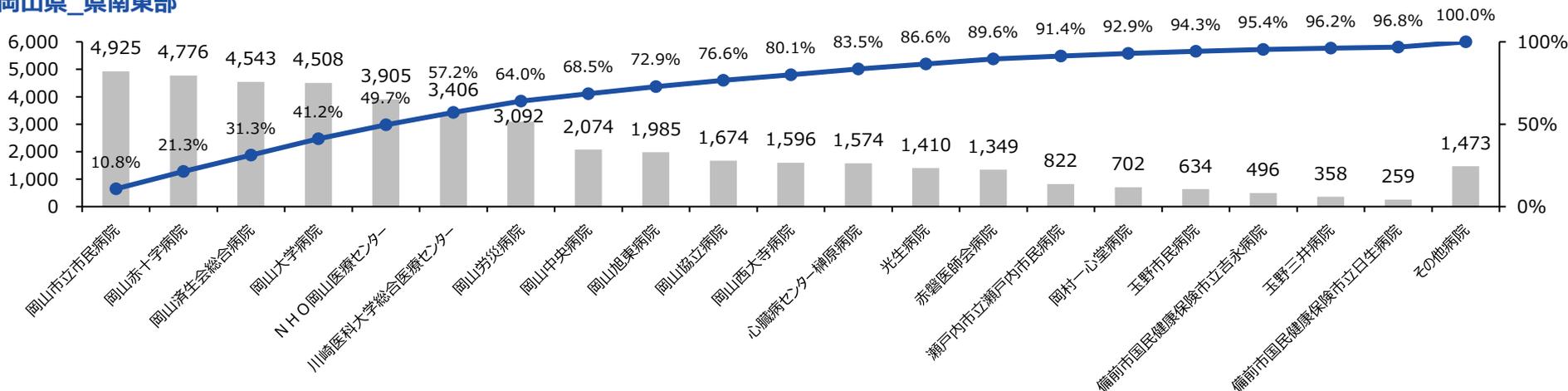
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

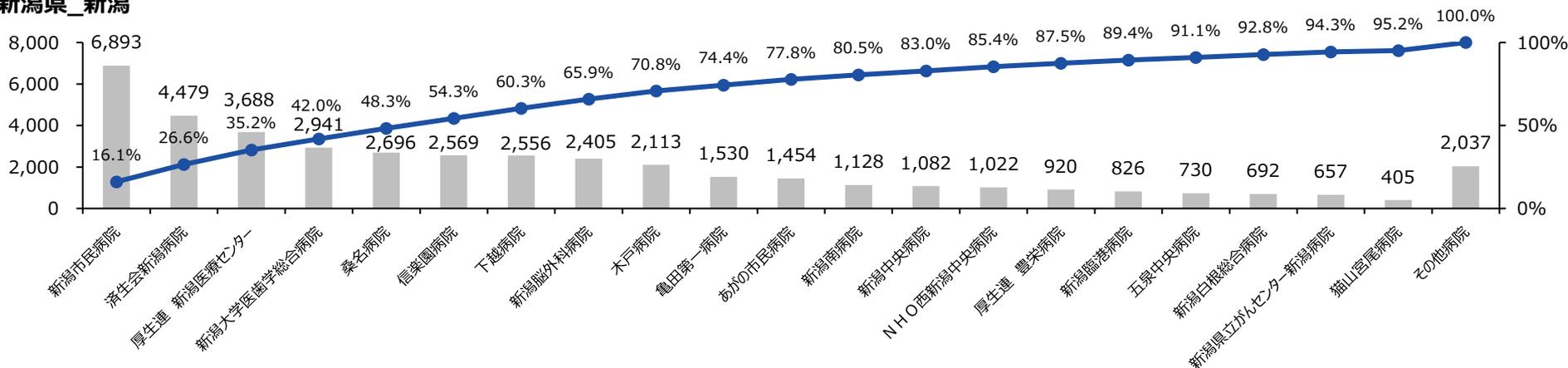
最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。

■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

## 岡山県\_県南東部

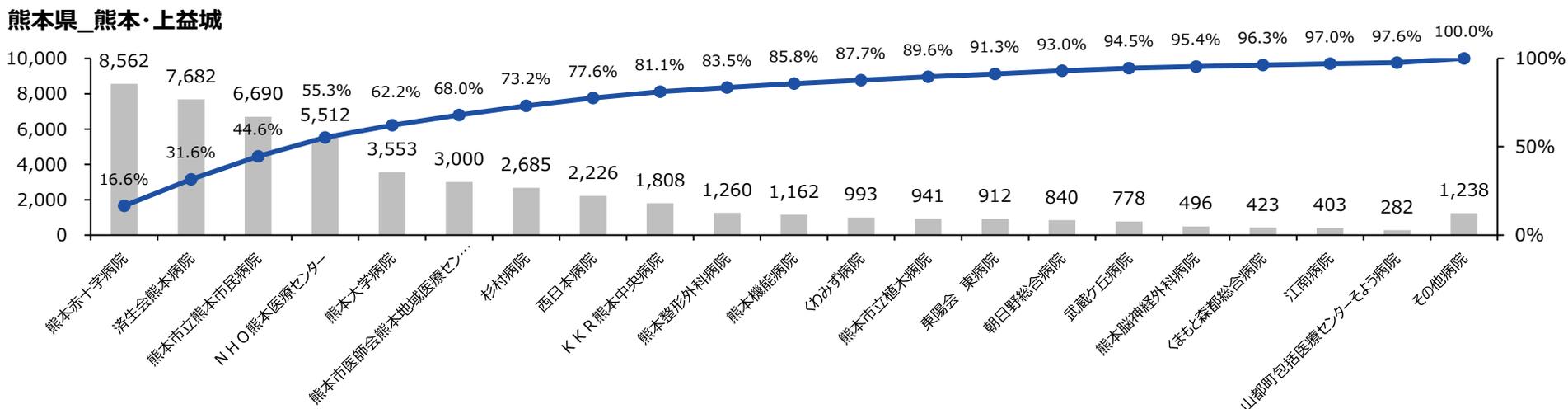
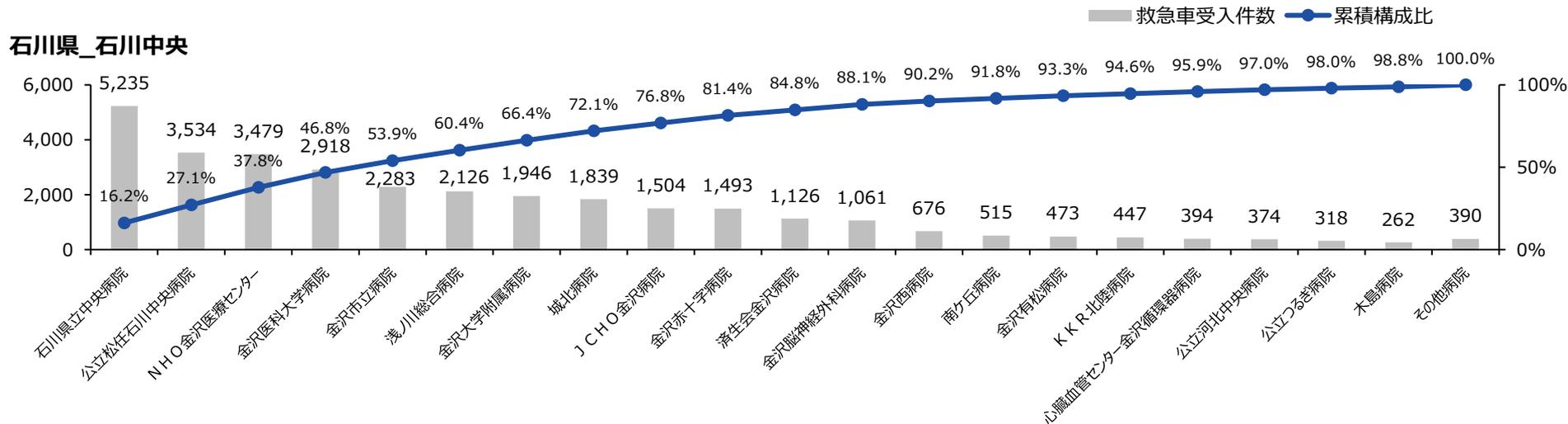


## 新潟県\_新潟



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



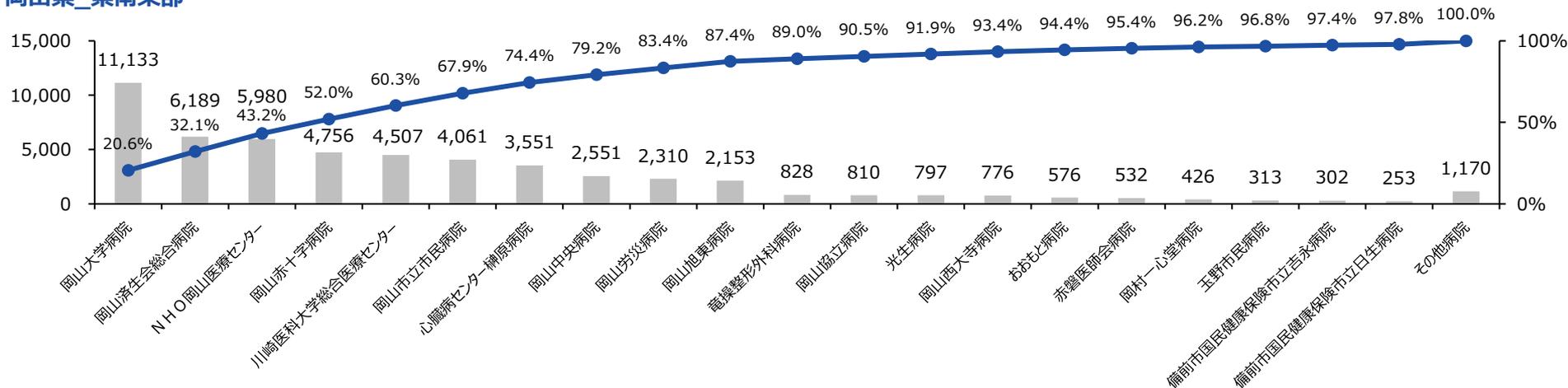
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

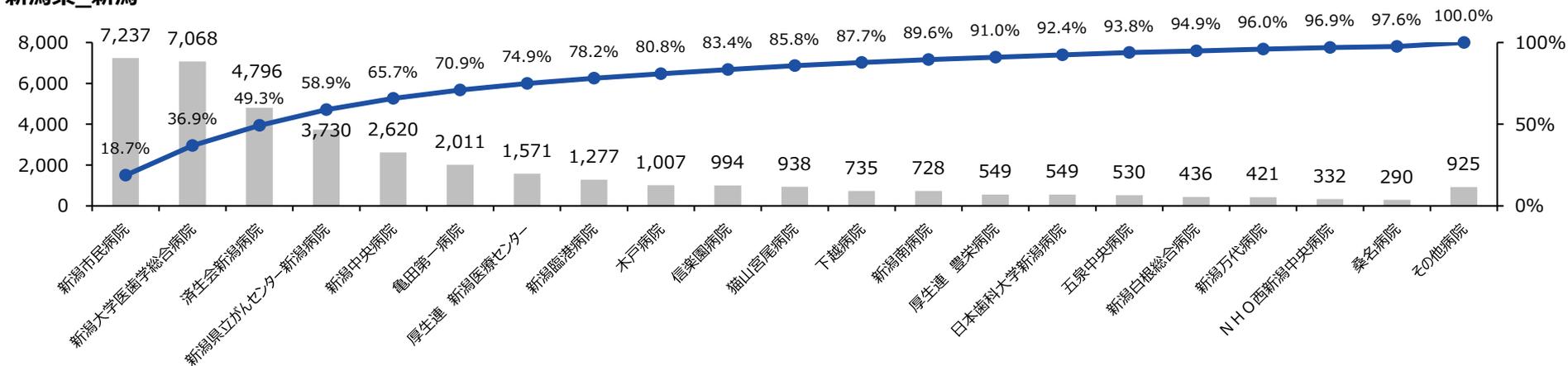
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 手術件数 ● 累積構成比

## 岡山県\_ 県南東部

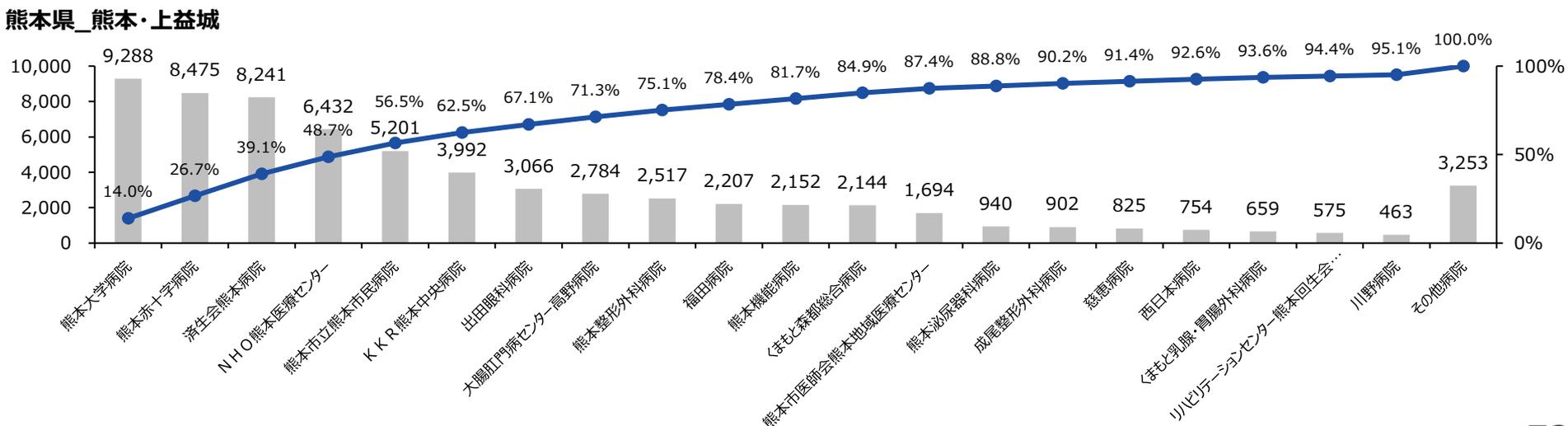
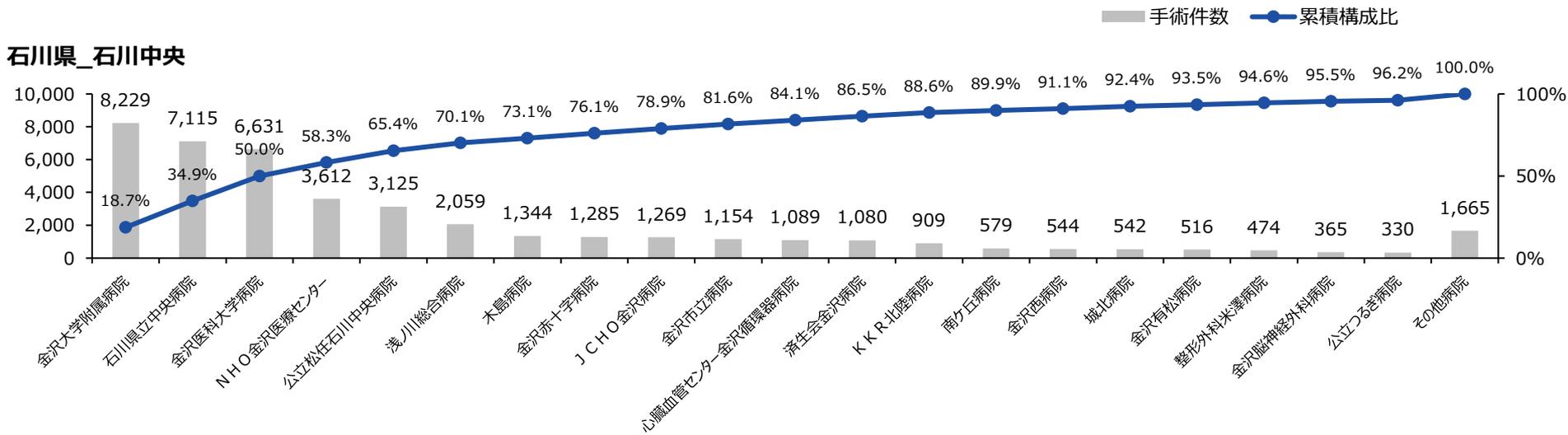


## 新潟県\_新潟



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

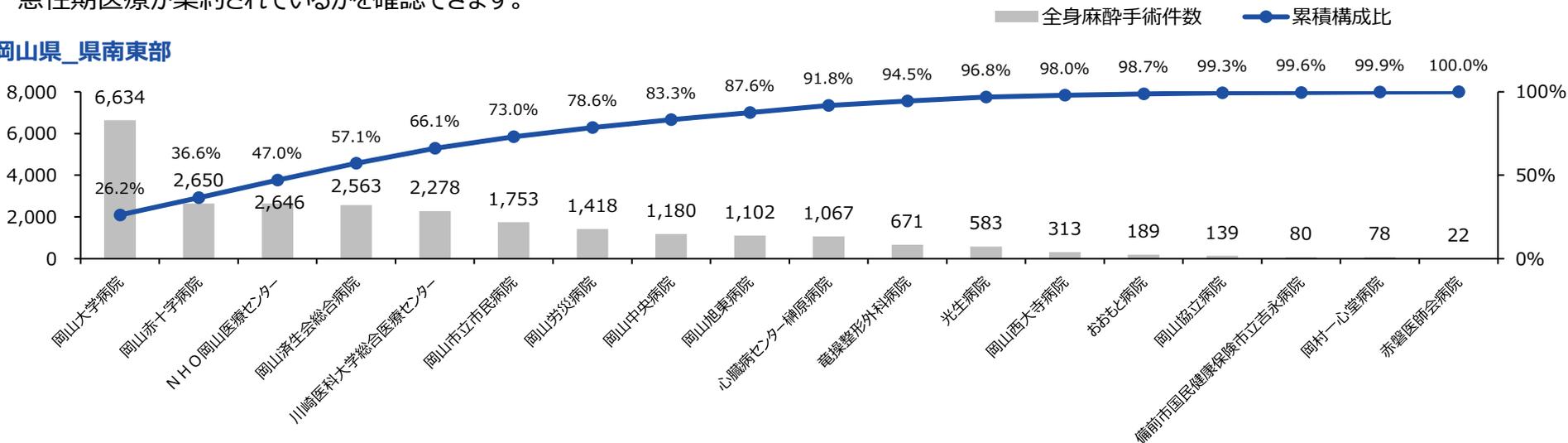


# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

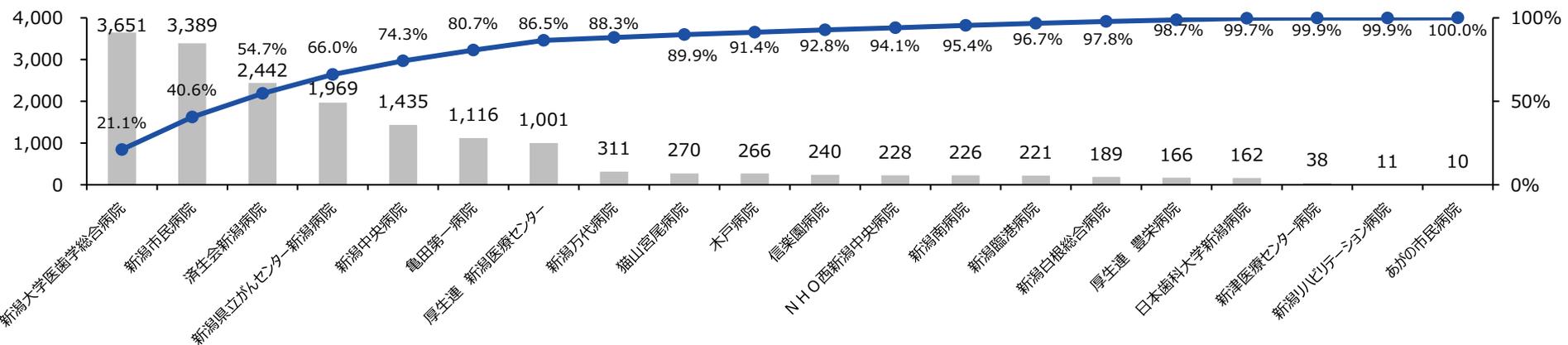
医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

急性期医療が集約されているかを確認できます。

## 岡山県\_ 県南東部



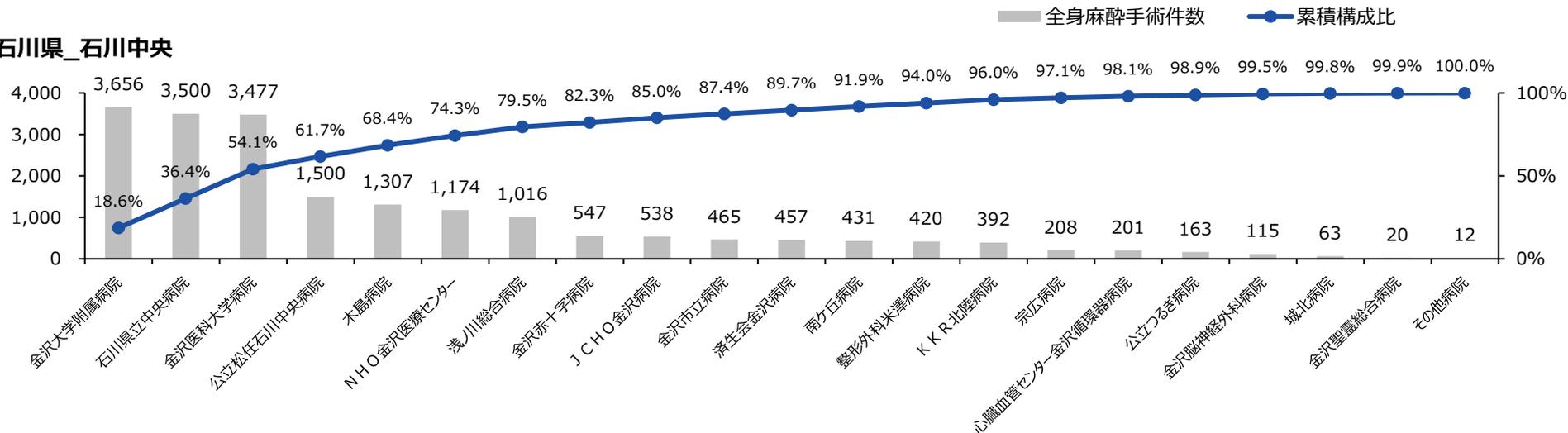
## 新潟県\_新潟



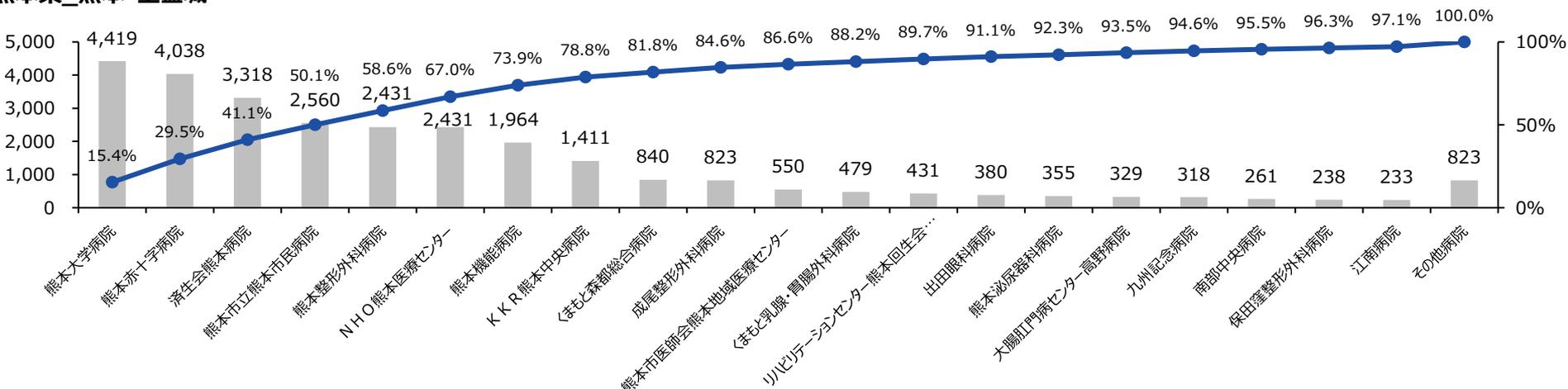
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

## 石川県\_石川中央



## 熊本県\_熊本・上益城



# 岡山県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	倉敷中央病院	県南西部	特定	急性期1	1,071	98%	25,411	11.6	10.5
2	岡山大学病院	県南東部	大学	特定7対1	755	96%	17,510	9.9	9.1
3	NHO岡山医療センター	県南東部	特定	急性期1	589	100%	13,438	10.9	10.5
4	川崎医科大学附属病院	県南西部	大学	特定7対1	896	90%	13,435	12.2	11.5
5	倉敷成人病センター	県南西部	標準	急性期1	255	95%	11,355	6.5	9.1
6	岡山赤十字病院	県南東部	標準	急性期1	480	96%	11,315	10.6	9.7
7	岡山済生会総合病院	県南東部	標準	急性期1	448	95%	10,301	11.0	10.9
8	津山中央病院	津山・英田	特定	急性期1	427	95%	9,707	12.4	11.8
9	岡山市立市民病院	県南東部	標準	急性期1	393	98%	8,305	13.1	10.7
10	川崎医科大学総合医療センター	県南東部	標準	急性期1	463	87%	8,015	11.6	11.1
11	岡山労災病院	県南東部	標準	急性期1	350	100%	5,542	15.2	13.3
12	心臓病センター榊原病院	県南東部	標準	急性期1	246	83%	3,966	12.4	11.4
13	岡山中央病院	県南東部	標準	急性期1	159	65%	3,670	7.7	9.8
14	岡山旭東病院	県南東部	標準	急性期1	184	86%	3,290	14.2	12.4
15	チクバ外科胃腸科肛門科病院	県南西部	標準	急性期4	60	100%	2,884	4.9	10.0
16	岡山西大寺病院	県南東部	標準	急性期5	145	100%	2,607	17.7	12.5
17	水島協同病院	県南西部	標準	急性期2	168	60%	2,353	14.1	12.6
18	岡山協立病院	県南東部	標準	急性期1	164	52%	2,142	14.5	12.5
19	松田病院	県南西部	標準	急性期1	97	72%	2,036	11.9	13.0
20	水島中央病院	県南西部	標準	急性期1	92	59%	1,776	9.8	10.2
21	倉敷平成病院	県南西部	標準	急性期2	129	59%	1,756	16.5	15.7
22	渡辺胃腸科外科病院	県南西部	標準	急性期1	31	78%	1,705	5.9	10.5
23	光生病院	県南東部	標準	急性期1	106	54%	1,698	14.2	14.1
24	倉敷市立市民病院	県南西部	標準	急性期1	136	69%	1,457	9.8	10.1
25	笠岡第一病院	県南西部	標準	急性期4	94	64%	1,396	9.8	10.2

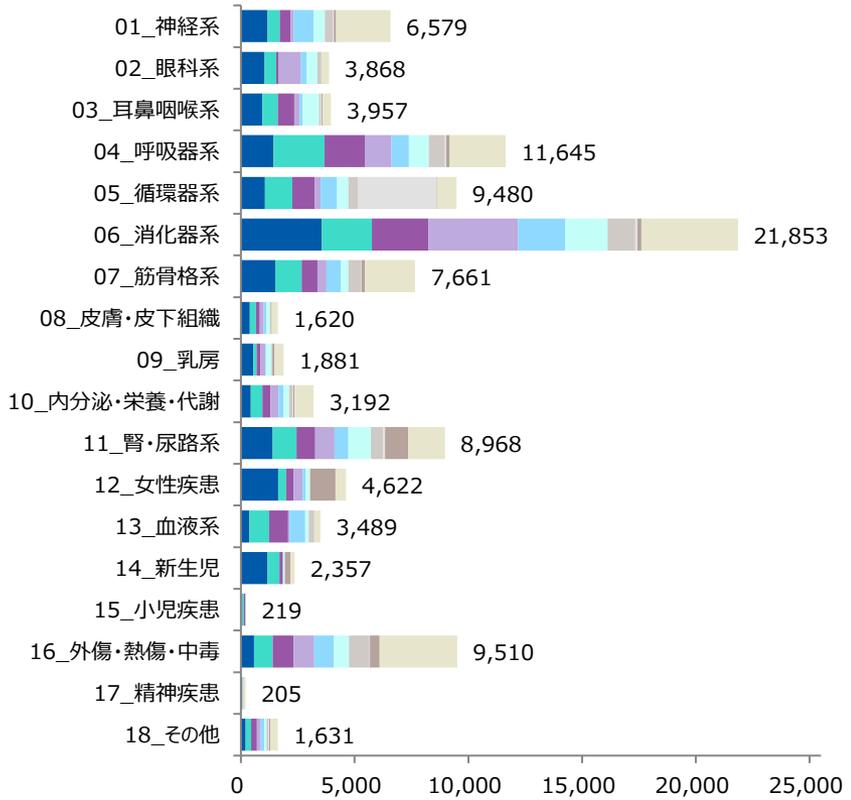
# 岡山県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	金田病院	真庭	標準	急性期3	60	50%	816	11.5	12.9
27	金光病院	県南西部	標準	急性期4	50	34%	716	14.7	13.1
28	和風会 中島病院	津山・英田	標準	急性期1	55	50%	716	10.2	11.7
29	岡村一心堂病院	県南東部	標準	急性期1	34	22%	621	6.7	6.6
30	倉敷第一病院	県南西部	標準	急性期4	88	52%	580	14.4	13.9
31	重井医学研究所附属病院	県南東部	標準	急性期1	38	19%	566	10.9	12.7
32	高梁中央病院	高梁・新見	標準	急性期4	42	26%	559	15.4	13.7
33	玉島中央病院	県南西部	標準	急性期4	46	38%	422	13.0	11.8
34	竜操整形外科病院	県南東部	標準	急性期4	44	40%	282	8.4	10.3

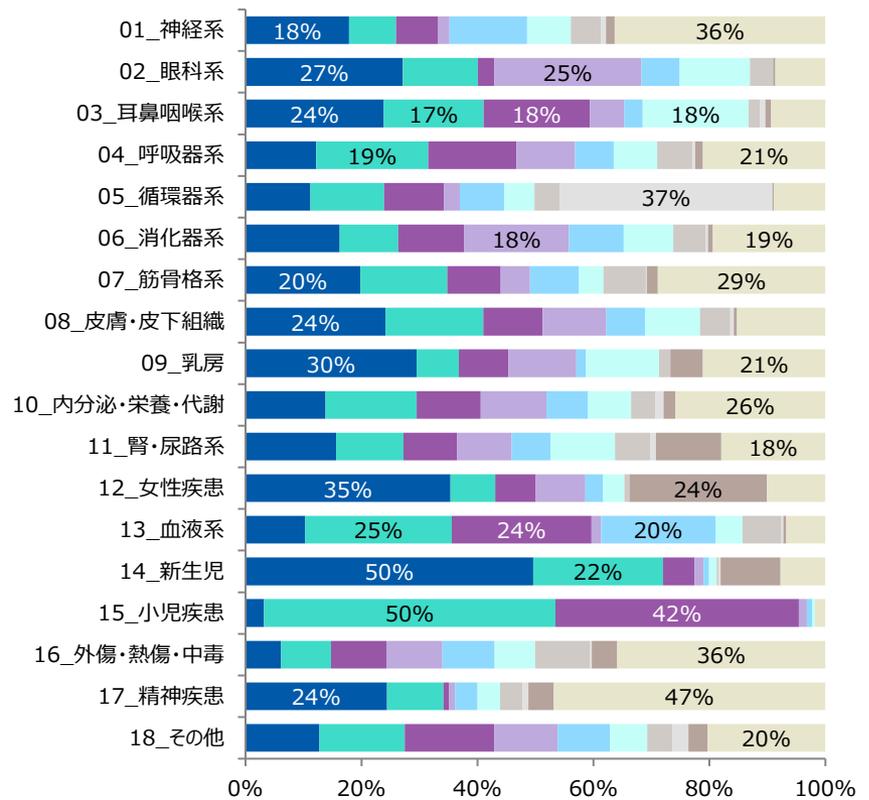
# 県南東部医療圏 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。  
疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

### MDC別退院患者数



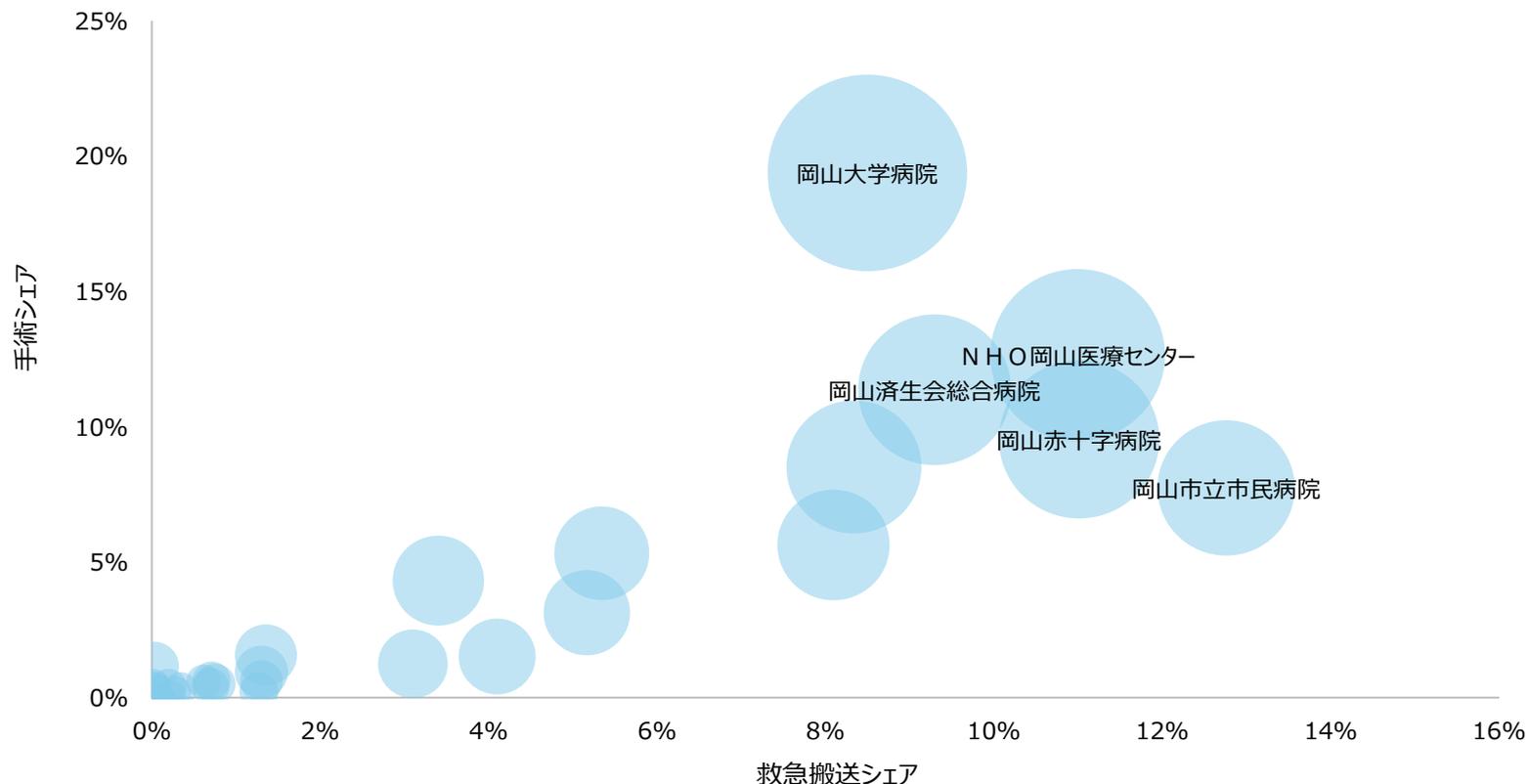
### MDC別医療機関シェア



■ 岡山大学病院     
 ■ NHO岡山医療センター     
 ■ 岡山赤十字病院     
 ■ 岡山済生会総合病院     
 ■ 岡山市立市民病院  
■ 川崎医科大学総合医療センター     
 ■ 岡山労災病院     
 ■ 心臓病センター榊原病院     
 ■ 岡山中央病院     
 ■ その他

# 県南東部医療圏 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

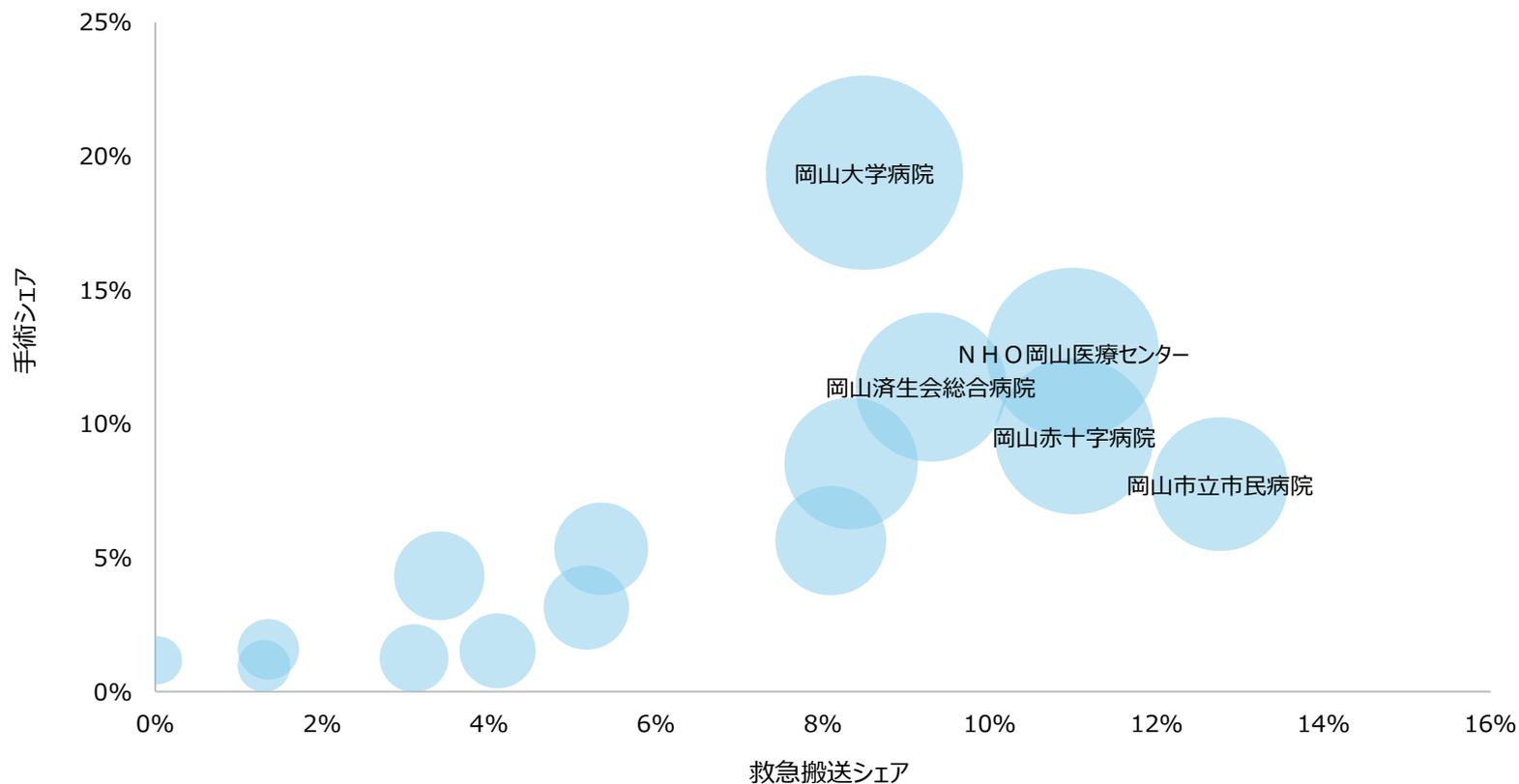
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

## DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

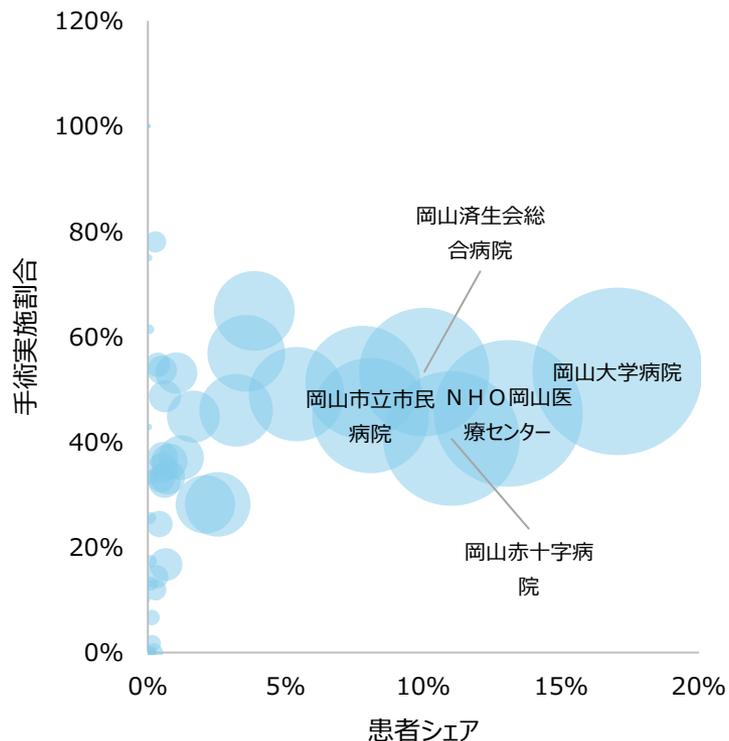


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

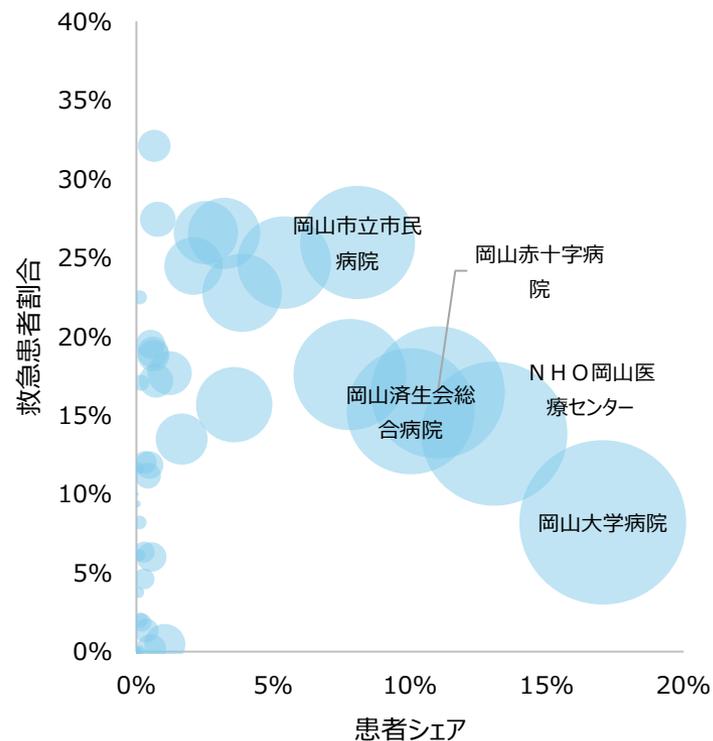
# 県南東部医療圏 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

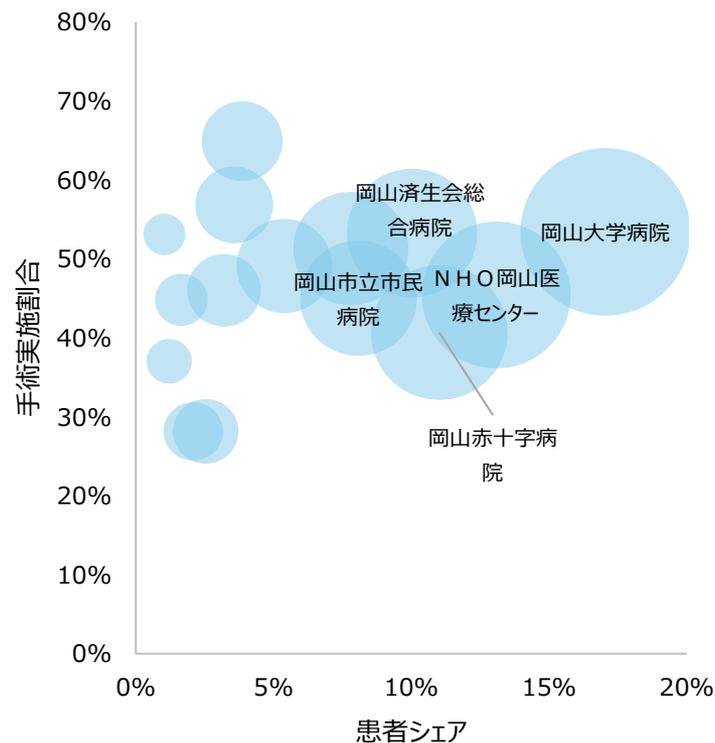


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

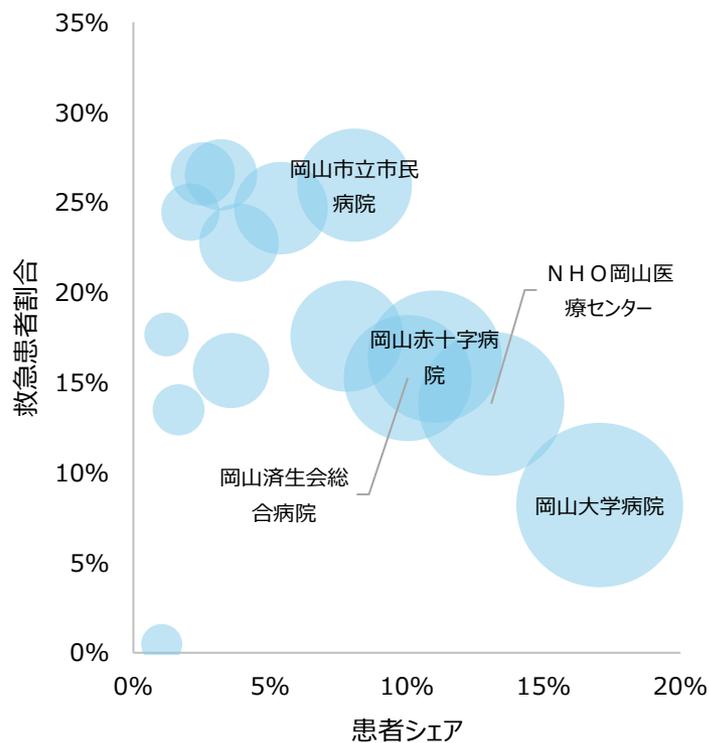
## DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア（退院患者数1000人以上の病院）

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

### 手術実施割合×患者シェア



### 救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。  
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」